From Kobe 2021　2021年 四季折々【20】　kobe2021.pdf

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2020

fkobeR03

【神戸で 思いつくまま From Kobe 2021 】

社会・暮らしの大変革 ポストコロナの新時代の入口に

令和の産業革命といわれる過酷な大変革の始まり 暮らしはどうなるのか

コロナ禍の中での厳しい時代 スクラム組んでこの危機をのりこえよう!!

また、神戸籠りの中 四季折々 周りの景色の変化が心を慰めてくれました





◆ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建 みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍

◆ 巨大自然災害・地球暴走の歯止め 世界がこぞって舵を切る カーボン ニュートラル 50 実現は切実な願い



「持続可能な開発目標（SDGs・「カーボン イーブン50」の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
最近は産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表化が相次いでいる







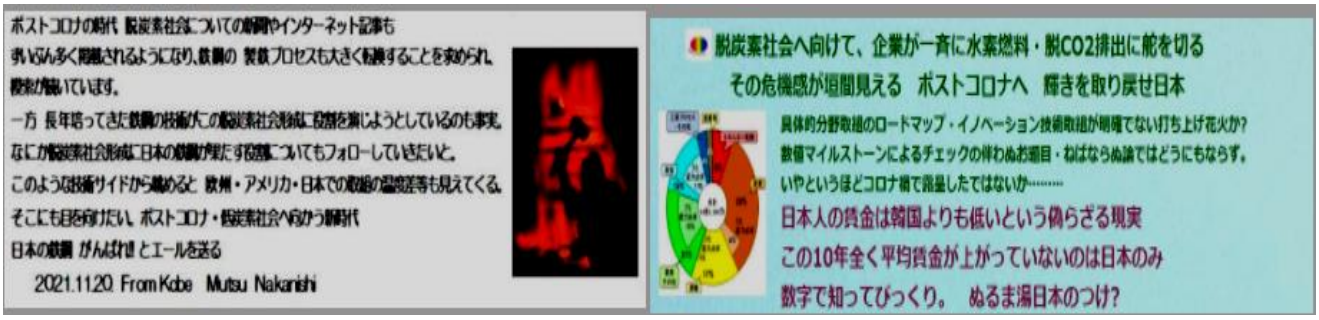
By Mutsu Nakanishi

fkobeR03

From Kobe 2021

四季折々・ From Kobe 2021 年を振り返って

社会・暮らしの大変革 ポストコロナの新時代 令和の産業革命といわれる過酷な大変革の始まり 暮らしはどうなるのか



◆ **コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建 みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍**

◆ **巨大自然災害・地球暴走の歯止め 世界がこぞって舵を切る カーボン ニュートラル 50 実現は切実な願い**



「持続可能な開発目標（SDGs・「カーボン イーブン50」の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
最近は産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表化が相次いでいる



新型コロナ蔓延 新型コロナ・オブシロン株の大流行へ

みんながみんなわが身の危険を身近に感じ、かつ行動自己節制・ワクチン接種も進んだが、いまだに収束が見えず。

感染者・医療従事者のみならず、日々の暮らし・経済・雇用・人と人とのつながり・格差の増大等々社会はずたずた。

日本が疲弊しきった状態に。

でも 外から見ると日本は「心地よいぬるま湯のヒキガエル」。みんな置かれている状況に全く気が付いていないという。

情報過多とも言える掛け声とは裏腹 日本だけが世界から取り残されている状況がここかしこに垣間見える。

ワクチンの接種に危機的状況からの希望が見始めた状況ですが、語られ始めたポストコロナの時代の中身を考えると、

本当に厳しい状況。垣間見えるのは令和の大産業革命の入口。不安いっぱいの時代へ

断片的な刹那の情報しか入らぬ日本 コロナ禍の先行き不安の厳しい状況が次々とわが身に。

出口が見通せぬそんなコロナの状況を記す四季折々・ From Kobe 掲載記事の数々。

高齢で迎える我々の行く先は…。 新しい状況に立ち向かわねばと右往左往の姿がありあり。

さあ 日本はどこへ向かうのでしょうか…。

ポストコロナで迎える新時代 激変過酷な厳しい時代だと皆が言う。

「コロナ対策と経済・雇用の回復への暮らし・雇用・経済の復興」に並行して

もう待ったなし「人類の危機地球温暖化の歯止め止め 低炭素社会への大転換」

「令和の産業大革命 社会・経済の激烈な再編」誰もが避けられぬ経験したことのない時代へのターニングポイント

評論ばかりしていても仕方なし。しっかり立ち位置を見出し、前向いて 頑張らねば・・・・と。

四季折々・ From Kobe の記事を見直しながら、「ぶつぶつ」戸惑いの中にいるわが身が見える。

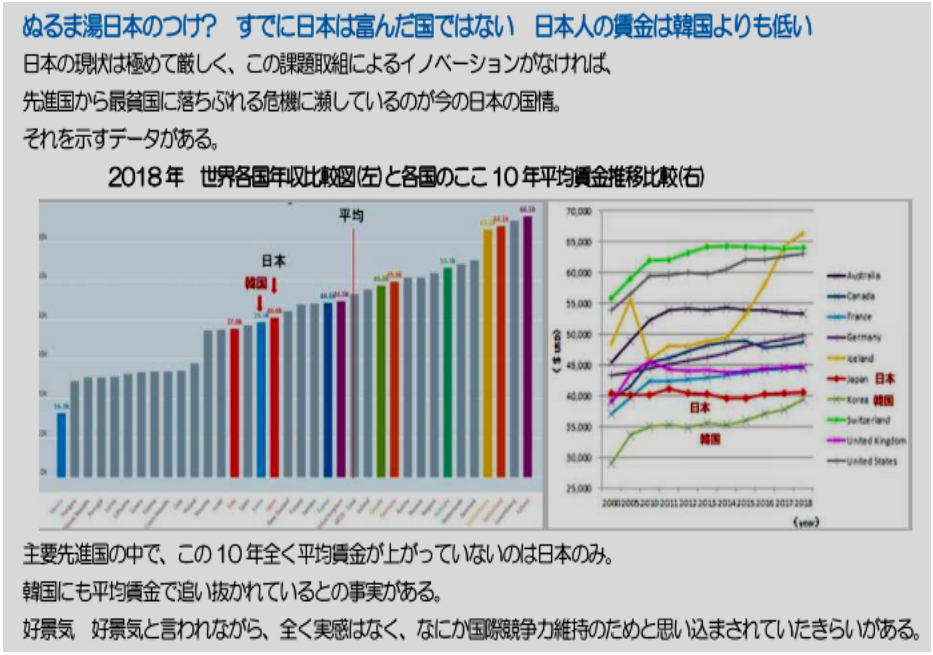
「感染は軽いから、自分で守れ」と感染者は自宅待機という。

コロナ医療がら切り捨てられた人の多さ 明日は我が身か・・・

そして、もう労働人口の３０％近い多数の非正規労働やシングル家族・フリーランス・そしてアルバイトの学生たち等々
数多くの国の平均所得が大きく伸びるこの１０年、日本のみが所得が伸びず、韓国・盗難アジアにも抜かれるありさま。
大阪難波の外国日本訪問者のすごい人の群れに　うすうす感じていたことの現実　ショックでした。
現実はあまりにも厳しすぎる　あまりスポットが当たらぬ人たちの現実にも目を向けよう

勝手な愚痴もしれませんが、政治・
掲載を引っ張る老獪リーダーたちの
だらしなさ。
コロナ禍がもたらした個々の対応の
厳しさ。人任せにはできぬ現実には
っと気が付き、いい勉強になり、身
の引き締まる思いです。

情報過多の中で　何一つ現実直視を
せぬ年寄りリーダーたち　相互寄り
かかり志向ではどうにもならぬ。
もう「干上がってしまう」　そんな
日が迫っていると。
でも　幾多の困難を乗り越えてきた
日本の底力　これからの新時代をリ
ードする若い力に期待一杯です。



厳しい時代を生き抜くすべを　みんなで出し合って。
おりしもそんな力で乗り切ってきた２つの大地震　1.17.　3.11.の記念日が迫っている
もう後ろから寿命を考える年になっていますが、がんばらねばと、
神戸の片隅から・・・・・・・



仲間の元気は　みんなの応援歌 !!　　頑張りすぎず、時には声をあげて !!
お互いスクラム組んで　助け合ってこの難局を乗り越えましょう
ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば
まだまた厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか　無理せず、
元気に前向いてお過ごしください
また連絡ください　　God Be With You!!



２０２１年の　From Kobe を読み返しつつ。
From Kobe　　Mutsu Nakanishi

fkobeR03

From Kobe 2021

四季折々 【From Kobe・思いつくまま 神戸便り 】 目 次

コロナ禍 神戸籠もりの中で 疲弊する暮らしに想いをよせつつ 8件

1【From Kobe 1月 年賀】 2021年 迎春 年の初め 2021.1.1.

まだ見通せぬコロナ禍の中で 新しい年に思いをはせて 笑顔が取り戻せるよう

明日への思いを託して みんなでスクラム組んでがんばろう!

◎和鉄の故郷 Iron Road 鉄の惑星地球 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて

2.【From Kobe2月 春の足音】 春の足音春迎え 春はもうすぐそこに 20212.5.

収録 2050年カーボンニュートラル またぞろ外国頼みの周回遅れをたどるのか…

3.【From Kobe 弥生3月】須磨の春 春の訪れ うまい空気を胸一杯

収録 ■ポストコロナへ 輝きを取り戻せ日本 ぬるま湯日本のつけ?

■最近の新聞記事より これでいいのか?日本

4【 From Kobe 4月春爛漫】神戸の春 桜便り

収録 コロナ禍の中で 久し振りに野球とバスケの話題

神戸新聞正平調に田辺聖子さんのトラキチファンの話が取り上げられ、懐かしく

5【From Kobe 新緑の5月】新緑の神戸の春便り 新型コロナ蔓延 神戸籠りの中で とにかく元気です

収録 コロナ禍の中で どうなる日本

1. 大音響約800mの五輪PR隊 聖火ランナーは脇役か?

2. .ポストコロナの日本 元京大総長 山際寿一氏のオピニオン

3.. 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体

6【From Kobe 6月梅雨】6月梅雨時の神戸便り コロナ禍の中で迎えた梅雨の絶景 2021.6.5.

神戸籠りの中 風来坊 勝手な梅雨時のPhoto 記録ですが 心やすめになれば

収録 大坂なおみさんの会見拒否に縄文の世界遺産登録を重ねて 最近の気になった新聞記事より

今人が人として一番大事なことを思い起させてくれた コロナ禍の中で

参考1.【2014.6月From Kobe】「利他的精神」について 朝日新聞天声人語より

競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では

参考2.<NHK取材班「Human」 視聴・購読メモ> 「なぜヒトは人間になれたのか」

1. 視聴・購読メモ 「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」

2. 補足メモ 人間を人間たらしめているもの「分かち合う心・通わせる心

7.【 From Kobe 深まりゆく秋】 10月 新型コロナも収束の兆し

HP3ヶ月ぶりの更新 神戸の秋便り 2021秋迎え 稔りの里を飾る秋の草花 2021.10.5.

収録 コロナ禍の中で 追悼経済評論家 内橋克人さんご逝去

行き過ぎた市場経済主義に警鐘 ブレることなく人重視を貫く

参考 ■【2021年10月 From Kobe】

内橋克人さん逝去に想いをつのらせて 想いだすままに by Mutsu Nakanishi

添付「和鉄の道- from Kobe」に掲載紹介してきた 内橋克人氏の記事リスト

8. 【 From Kobe 11月 & 師走へ】 深まり行く秋から冬へ神戸の便り 2021.11.1.-11.20.

ま真っ赤に色づいた街 コロナ禍の中 やっと収束の兆し ポストコロナの新時代

ポストコロナを見据えて いろんな事がありました

「何も変わらぬこの閉塞感と不安感。心地よい、ゆでガエル状態」

今一度2019年3月に掲載した小林喜光氏の指摘に耳を傾けよう

収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています

我々一人一人 今何をすべきなのか・・・・・

9. 【From Kobe 師走 2021年本年の締め】Merry Christmas!! 一年ありがとうございました

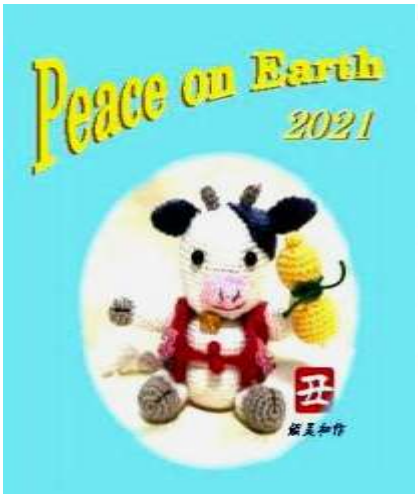
ポストコロナ 低炭素社会構築へ 大変革とコロナからの復興へ 激変の時代を前向いて

fkobeR03
nenga01.pdf

2021年 四季折々

From Kobe　2021

【 From Kobe：令和３年１月　年の初めに】







新しい年を迎え、コロナ終息へ向けて　もうひと頑張り
みんながみんな笑顔で暮らせる日が取り戻せますよう願っています。
また一年 よろしくお願いします
2021.1.1.　from Kobe　by　Mutsu Nakanishi

2021年和鉄の故郷　Iron Road　未だ収束が見通せぬ　コロナ禍の中で





地球46億年　「鉄」が幾多の困難を切り開き、今の時代へと続いている。
鉄の惑星地球の上で　幾多の生物とともに生命をつないできた我々
必ずや「鉄」が窮地を乗り越える道を示してくれるだろうと。
「鉄鋼は剛柔にして、時に応じて態を変える。先人の知恵に学べ」「歴史・時代の流れをみよ」と
鉄屋の負け惜しみかもしれませんが、教えられました。。

鉄の黒光りとまばゆい輝き　「鉄の肌光と閃光」
炒鋼の美しい輝きにも魅せられ、俺たちも頑張ろうと

私がなにを思ってきたか　それがいまの私をつくっている
あなたがなにを考えてきたか　それがいまのあなたそのもの
世界はみんなのこころで決まる　世界はみんなのこころで変わる
谷川俊太郎　「こころの色」より

コロナの災禍　　終息はまだ道半ば　新春の気分も吹っ飛んで
人類の危機「私だけは・・・」は通用せぬ「明日は我が身」の厳しい現実
みんなでスクラム組んで　がんばろう!
笑顔が取り戻せるよう　明日への思いを託して

■　和鉄の故郷　Iron Road

未だ終息が見通せぬコロナ禍の中で　新しい年に思いをはせて

2020 年 home page 和鉄の道・Iron Road を振り返りつつ





大晦日の早朝　一面銀世界　東の高取山の頂上には　光輝く太陽

一日早いのですが、新しい年を迎える贈り物かと

鉄の惑星「地球」36 億年　絶滅を繰り返してきた多くの生物の中で　幾多の困難を乗り越えて人類が生き延びてきた道は「鉄」と共に人類だけが唯一持ち合わせた「相手を思う心」「ヒューマン」にあった。
過酷な今の時代に人々が忘れ、捨てようとしていることが唯一人類が生き延びてきた道。
コロナ禍で壊れた社会の再建にそんな視点が無視されぬよう今声を上げねば……と感じています。

「鉄の惑星地球」 産業の側面ばかりが強調されますが、時代時代の中で人の営む社会に欠かせなかった「鉄」
そんな視点で見れば、新しい時代感がみえるかもとコロナ禍の中で、そんな思いを広く伝えたいと。
また、重厚長大から情報・通信への時代変化と共に産業・社会を支えた鉄の影が随分薄くなっている。
でも、華やかな重厚長大高度成長時代の中で生きた我々にとって、今の閉そく感　いきぐるしさ　先が見えぬ不安な社会現状。　一体何が違ってしまったのだろうか…

最近は高度成長期の社会の負の側面ばかりが強調されるが、ほんとうにそうだろうか?
厳しい社会の中で「仲間がいた」「見たり　聞いたり　試したり」「まず　やってみなはれという先輩たち」
そして、その後の阪神大震災の真っ暗な広場に何とはなしに集まってきて焚火を囲んだ一体感

厳しい人減らし競争の情報社会の始まりが、みんな置き去り壊してしまったのではないか…
最近こんな話を耳にした。

強欲資本主義と呼ばれる今の高度情報化社会が価値として追及してきたものは本当に「価値」と言えるのか?
追及したものはただの「タイム短縮」。新しい価値と言えるものはないのではないか?
人が社会が生き延びてゆくのに必要なのは「新しい価値」ではないか?
今もてはやされている IT・ AI も人が生き延びる道具・補助手段　それをいくら追及しても億年のスパンから見れば一瞬たと。新しい価値　今追及すべきは何か?
また、新しい価値は　常に平等と不平等の両方を伴う。それをうまく分配することで新しい価値として生きる。
今の IT・AI・情報・通信が金融と同様に新しい価値になりえないのは強欲で分配を成しえないからだと。
投資を物作りからマネーゲームに変更集中して今に至る強欲資本主義　高度情報化社会の現状だという。

はっと気が付く確かにそうだと。
今の GAFA が国を越え独り勝ち。世界を支配下に。日本もみな小 GAFA が顔を出し、それがまた GAFA に牛耳られている。新しい価値にはならず、価値の再配分もないただ時間短縮のために・・・・。
本当に人類が生き延びてゆくのに GAFA は必要なのか…・
こんな視点が生まれている。
逆にいま効率の悪い循環型経済や分散化の波が唯一人類にとって新しい価値を生む芽?と。
コロナ禍でめちゃめちゃになった社会を建て直す旗手は誰か?　その方向・視点原理はなにか?

いずれにせよ　コロナ終息を待ち望む一方　必ずやってくる新しい社会の担い手に期待と注目。
いまこそ　どの方向に時代が向かっても、　老獪リーダーたちは退場し「出でよ!! 若者たち!」!
高度成長期の始まりに若者たちが経験させてもらったごとくに。
そんな時代到来を期待し、また見守りたい。

また、このポストコロナの新しい時代に　必ずや「鉄」は新しい顔を見せ、
新しい社会・産業を生む原動力になるに違いないと期待している。
そんな鉄の姿も追ってみたいが、 老化が日に日にひしひしと迫り、頭も何もかも回らぬ身。
home page 「Iron Road・和鉄の道」に終止を打つことも視野に入れながらの色々考えたコロナ禍の中での一年でした。でもまだ好奇心だけは健在。
何はともあれ、近々の課題　早く収束の出口を見たい。
ワクチン開発が今一つ希望の出口。これもみんなに行き渡るようにと期待しています。

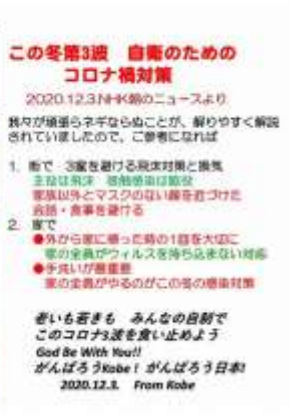
勝手なことをぶつぶつ　他意なく好奇心のままにつづっています。お許しください。。
もともと我慢が苦手。　ますますわがままに。心せねば……とは思っていますが・・・・・。
「変えよう　変わろう　でも変えてはならぬこともしっかりと」
　健康でいることに感謝しつつ、知恵と判断力と行動力そして好奇心　この思いを失わぬようと。
　本当に有難うございました。本年も引き続き、ご指導のほどお願いします。
とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いて。
また、困難の中にある仲間に思いを馳せつつ　エールを送ります
仲間がいる　仲間の元気はみんなの応援歌
みんなでスクラム組んで　元気に今を
　　新しい年に思いをはせて　　God Be With You!!
　　2021.1.1.　　From Kobe　Mutsu Nakanishi

新型コロナウィルス終息の道はみんなの願い　でも　巷でいうほど楽観的ではない厳しい現実に目を向けよう
「自分だけは・・・」は通用せぬ「明日は我が身」の現実に。
今一度「第一波」の時の緊張感と対応を思い返して人類の危機に　共に寄り添いあって頑張ろう
医療従事者の皆さんの寝食をいとわぬ対応に感謝いっぱいです。
医療現場の皆さんへ　ありがとう　御身も大切に!!　がんばろう!!
コロナ収束はまだ道半ば　高齢者の劇症化　命の危機が我が身に迫る
密閉　・密接・　密集の「３つの密を意識した自制の実践」
「うつらない　うつさない」 マスク・手洗い・三密空間に近づかない
出会えぬ仲間に　思いを馳せています









2021.1.1.　From Kobe　　Mutsu Nakanishi

fkobeR03
02.pdf

From Kobe 2021

【From Kobe ２月】　２月　春の足音　春迎え　　2021.2.1.

■収録　2050 年カーボンニュートラル　政府　脱炭素社会を目指す 14 重点項目策定



2021 早春2月 春迎え
春の足音　もうすぐ 春ハ～ルですねぇ
梅の花・菜の花 そして サクラソウ
春の草花が咲き始めました

















毎日 walk　梅の花が咲き始めた須磨離宮公園梅林で　　2020.1.29.

澄み渡る須磨の空　神戸の街・大阪湾がくっきりと
庭先には春の草花　そして梅の花も咲きだし待ち焦がれた春がもうすぐそこまで。
でも街には　いまだコロナ禍の猛威が終息せず、緊急自体宣言発令中。
「３密」自己行動規制の神戸籠りが続く。
感染のスピードは収まりつつあるものの予断許さず
希望の光　ワクチン投与の準備も始まりましたが　高齢者感染・医療崩壊の切迫した状態は継続中。
なにはともあれ、頑張りぬいて収束の出口へ
高齢者には厳しい状況ですが　体調変化に留意して、我が身を守りましょう
また今は我慢せず　声を上げよう!!　ホッと一息したいのですが、もう少し
お互いスクラム組んで　前向いて
コロナ終息はみんなの願い　　もうすぐ春　神戸の春の足音を届けます

from Kobe　　by Mutsu Nakanishi





2020.1.15.　神戸沖をゆく帆船　2隻と練習船

春霞で沿岸の景色は見えぬが神戸沖を行く帆船はくっきり。
船体のブルーラインが2本なのが海王丸　1本が日本丸でも判然とせず。
春霞・スモッグというより、デジカメの腕前のせいかも?

コロナ禍の影響で大阪湾を渡る飛行機の数が極端に少なく、姿や音が全くないのが寂しい。







須磨の春迎え　　1月19日多井畑厄神　1月20日・21日須磨寺のお大師さん
いつもほどの人出ではありませんが、街に人影　コロナ終息のおねがいもしてほっと一息



春の草花　そして梅の花も咲きだし 野鳥のさえずりも　春も　すぐそこに



水ぬるむ須磨の海に須磨名産　須磨海苔の筏
まもなく　船が横付けされて　摘み取りが始まる
春を呼ぶイカナゴ　今年も大不漁だというがどうだろうか
須磨の海もどんどん変化しているようだ
コロナばかりか、地球温暖化対応ももう待ったなし。
季節感が年々なくなってゆく。スーパーのデジ袋だけでなく、
本当に地球施簿を意識せねばならぬ時代になりました。



コロナ・コロナの掲載はみんなを暗くする。　もうやめ…と思いつつですが・・・
コロナ緊急宣言発令中で毎年のラグビー観戦もだめ　節分のイベント行事もみんな中止。
「同窓会から春が来る」と心待ちする同窓会も昨年に続いて中止に。仲間と会えぬのは本当につらい。
でも　もう少し頑張って、コロナ感染の恐怖からだっしたいと。
毎日の楽しみは周辺を好奇心いっぱいで歩くこと
。今まで以上にいろんな発見があって、面白い。
でも　やっぱり愛するべき鬼の話が２月できないのは寂しい。
ふと頭に浮かんだのは清酒「鬼ころし」。
いろんな全国のメーカが出していて、「鬼も酔いづぶれるほどうまいこだわりの酒」とお客さんに訴える酒だそうだ。
これも日本の各地で「愛される鬼」なんだ。



そんな「鬼ころし」の酒蔵の郷を巡るともっと面白い鬼に出あえるかも。愛すべき鬼に今年も出会えて満足。
コロナ禍のなかで　日本の社会・経済・政治が良くも悪くもコロナ終息後大きく変わると感じた一年。
若い人たちの手で新しい時代が始まり、この令和の新しい時代感が構築されてゆくことへの期待を大きくふくらませた一年。　若者の応援団　どんな時代に変わってゆくのか・・・・
老いも若きも　みんながみんな明るく平和な社会になってほしいなぁ。
ともあれ、コロナ終息がみんなの一番の願い
どうか　今までと同様に「3 密」行動自己節制をしつつ、我が身をお守りください。
ありがとう　ございます。　God be with You !!



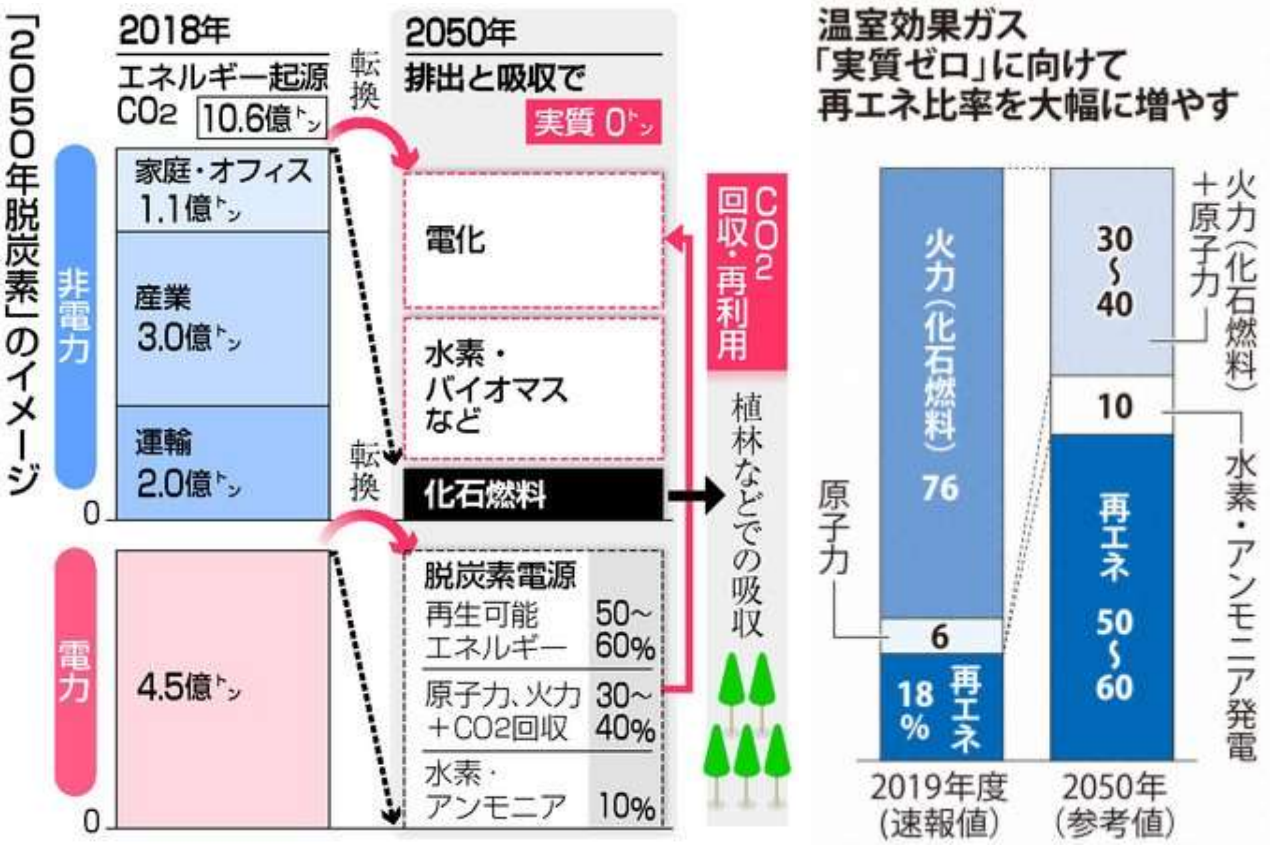




老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
いつも困難の中にある仲間にも思いをはせています
仲間の笑顔を活力に!!　　スクラム組んで　今を元気に!!.

「2050年カーボンニュートラル 政府脱炭素社会を目指す14重点項目策定」

年の初めから炭酸ガスを出さぬ水素エネルギー・水素　水素の大大合唱
でも　スローガン倒れ　腰の据わらぬ日本　またぞろ外国頼みの周回遅れをたどるのか…
2021.2.5.　by Mutsu Nakanishi



グリーン成長戦略の骨子

- 2050年の脱炭素社会に向け、実行計画で14の重点分野を設けて目標年限や支援策を明記
- 成長戦略による経済効果を30年に年約90兆円、50年に年約190兆円に上ると試算
- 乗用車は30年代半ばまでに、新車販売の全てを電気自動車（ＥＶ）やハイブリッド車（ＨＶ）など電動車に
- 50年の電源構成は、参考値として再生可能エネルギーを５～６割に設定。水素や原発も活用
- 洋上風力発電を再生エネの要とし、40年の発電能力の目標を最大4500万キロワットに

グリーン成長戦略の主な目標

洋上風力	2040年までに最大4500万キロワット導入。部品などの国内調達率を40年に60%に
燃料アンモニア	30年に向けて、火力発電の燃料として実用化
水素	導入量を50年に2000万トン程度に
原子力	着実な原発再稼働。海外で新型小型炉の開発と量産体制確立
自動車・蓄電池	30年代半ばに乗用車の新車販売を電動車100%、ガソリン車ゼロ。10年間は電気自動車（EV）導入を強力に進め、車載用電池の大幅なコスト低減を図る
半導体・情報通信	電力を効率よく動力に変換する「パワー半導体」の開発推進
航空機	電動化の推進と、水素を燃料とした航空機の開発促進
カーボンリサイクル	高効率な二酸化炭素（CO_2）分離回収技術の開発

2050 年カーボン　ニュートラル　脱炭素社会を目指す 14 重点項目策定の目的

洋上風力・電動車に本腰、政府 50 年脱炭素社会へ重点 14 分野。

インターネットから拾った報道記事より取りまとめ

グリーン成長戦略では温暖化への対応を制約やコストではなく、経済成長の機会と捉え、成長が期待される住宅・建築物産業、ライフスタイル関連産業など 14 の重要分野ごとに課題や行動計画を示した。

国として可能な限り具体的な見通しを示し、高い目標を掲げて、民間企業が挑戦しやすい環境を作ることで大胆な投資を行い、イノベーションを起こすといった民間企業の前向きな挑戦を全力で支援する。

「2050 年カーボンニュートラル」への挑戦を、「経済と環境の好循環」につなげることで、2030 年で年額 90 兆円、2050 年で年額 190 兆円程度の経済効果を見込む。

■　2050 年、電力需要の 5~6 割を再エネに

グリーン成長戦略では 2050 年のカーボンニュートラル達成に向け、電力部門の脱炭素化を大前提とした。

この為　再生可能エネルギーを最大限導入する。

系統を整備し、コストを低減しながら、周辺環境との調和を図りつつ、変動する出力を調整するために蓄電池を活用していくことを踏まえて、**洋上風力産業と蓄電池産業を成長戦略として育成**していく。

2050 年の電力需要は、産業・運輸・家庭部門の電化によって、現状の 30~50%増加すると見込むが、すべての需要を再生可能エネルギーで賄うのは困難とし、**発電量に占める再生可能エネルギーの割合を 50 年に 50~60%とすることとし、今後の議論を深めていくための参考値として設定した。**

化石燃料による火力発電については、脱炭素化を実現するため、発電所から CO2 を大気に放散する前に回収して地中などで**貯留する CCUS/カーボンリサイクルなどを活用することで、オフセット**にすることが求められる。

ただ、化石燃料+CCUS は、既存の火力発電がそのまま使える一方、適地や用途拡大の課題が存在する。

CCUS/カーボンリサイクル実装に向け、技術や適地の開発、用途拡大、コスト低減などに取り組み、2050 年に確立した脱炭素電源として、**安全性を大前提に一定規模の活用を目指す原子力と併せて、発電電力量の約 3~4 割を賄う案を提示した。**

新しい年が始まってのっけから「クリーンエネルギー水素」「自動車はガソリンエンジンから水素発電・燃料電池車へ」と「水素・水素」のオンパレード。昨年秋　政府が発表した 2050 年新規炭素排出量ゼロの社会を目指す 14 重点項目を発表して世の中は一機にクリーンエネルギー社会実現の大合唱キャンペーン。

でもちょっとまって。掛け声ばかりで、またいつもの通り。

実行部隊企業の話のない解説ばかりで、ほとんどクリーンエネルギーを利用を進める企業の話だけ。

特に今の発電・クリーンエネルギー供給側に位置する企業の生の声　実行アプローチは見えない。

本当にこれから 30 年で炭酸ガスの新規増加をゼロにまで食い止めできるのか？ …

それでなくても　原発事故から発電は火力発電に頼りの日本。

自然エネルギー・再生可能エネルギーによる発電は少し進んできたもののその速度は遅く、ストップしている施設も多い。規模そのものが今の電力業界に対抗できる位置にない。

こんな今までを考えるとインパクトのある推進がなければとん挫する。

また、発電・エネルギー業界とともに石炭燃料による高炉操業が主の鉄鋼業界

鉄鋼にいた私には鉄鋼の事情は少し位分かる。

忘れ去られたのか無理やと置き去りにされたのか、ほとんど記述がない。

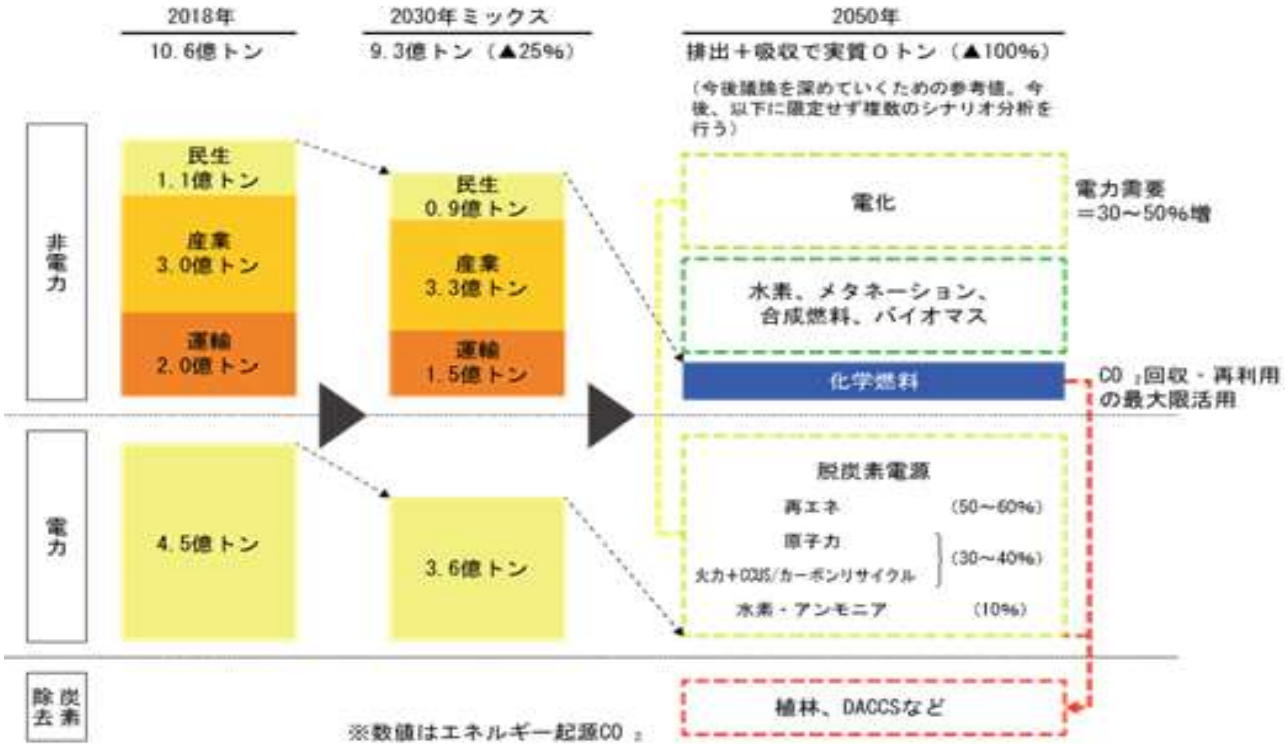
もっとも早くから　いろんな取り組みが行われてきたが、進んでいるとみるのか?

でも大量の炭酸ガス排出処理を この 30 年でゼロ達成?　無理やなぁ・・・・と悲観的。

製造プロセス転換? それとも巨大量の炭酸ガス封じ込め? 鉄鋼の業態転換・企業存続の危機だ。

このカーボンニュートラルの取組こそ　コロナ後の大技術革新・イノベーションがもたらす新社会????
鉄鋼ばかりでなく今の日本の屋台骨自動車産業につながるサプライチェーンもみな大変革。
日本の産業構造　日本社会を根本から揺るがす大革新を展開せねばならぬ。
コロナ禍終息後の大社会変革・日本の暮らしを根本から揺るがす新モノづくり革命の時代へ。
でも　政府にも民間業界にもそんな大イノベーション時代の熱気はない。
みんな　今の業態から緩やかな変化で時代が変わりゆくとみているのか…・
それこそ「なんでやねん」　絵にかいた餅に。

鉄鋼業にとって炭酸ガス排出量ゼロは悲願の目標。業態を揺るがす大課題
数々の取組があり、今も続く。
炭酸ガスを大量に放出する熱源　コークス(石炭)のクリーン熱源への転換　天然ガスそして水素等々。
また高炉操業から大型電気炉操業への転換も一部実証が始まっているが、一億トンに近い鉄鋼生産を一機に変換するプロセス展開である。電力がクリーンでなければ意味がなく、自前のクリーン発電所群も頭に。
炭酸ガスの地中封じ込め、再利用の可能性
パイプラインに通じた鉄鋼では海外の大油田で原油増産の炭酸ガスインジェクションとして　よく知られた技術の先にある。すでに実証実験が日本で行われているが、大量封じ込めの適地をすぐに見つけることは容易でない。　８０万キロワット級発電所で１億トンの炭酸ガスを貯蔵する規模がいるという
大量の水素燃料の確保
今騒いでいる水素にしても、大量の水素製造技術として確立されているのは水素と同時に炭酸ガスを発生する褐炭・石炭のガス化処理プロセス。海外立地に頼らざるを得ない。
また、天然ガス・原油等の分留・分解の副産物として水素を作る技術はあっても、水の電気分解で、低コストに水素を大量量産する技術はまだない。日本ではバイオマスや自然エネルギーが頼りである。
みんなが「水素」「水素」と騒いでも、社会変革をもたらすイノベーション規模の水素製造技術はいまだはっきり見えてこない。それこそ今の天然ガスと同様海外輸入に頼らざるを得ないのが現状。
今日本・オーストラリア共同で大量の水分を含む褐炭からの水素取り出しプロジェクトが始まる端緒。水素エネルギー供給のサプライチェーン構築もまた端緒についたばかり。
そんなことを頭に思い浮かべながら、政府が打ち出したカーボンニュートラル 14 項目の資料を眺める。
またぞろ 藪にらみの目　日本の政治・官僚の弱点が丸見えに。
見えた思いのままを書き綴りました。



政府自らが強力に推し進める根幹の行動理念がまったくない。行動がすべて丸投げするようだ。

1. クローズアップする水素エネルギーの製造・供給のサプライチェーン構築の理念が見えない
2. 原子力依存が色濃く　自然エネルギー再生エネルギー推進の理念が見えない
   うまく廻らなかったら原子力増強へ舵を切るとの意図に見える
   原子力維持のための隠れ蓑に　政府によってこの脱炭素社会構築が持ち出されたとも見える。
   欧米が目指す脱炭素社会の理念と全く違うようだ。
   欧米が舵を切り、強力に実績を積むカーボンニュートラル
3. 既存の技術展開　この 30 年でなんとしても新たに獲得すべき技術が見えない

一方　産業界はこの重点 14 項目をどう見ているか?　NHK の面白い調査がある。

産業界は　ほとんどが**「政府の援助があれば　カーボンニュートラルは可能」**としている。
誰も　積極的に実現の方向に動くとはしていない。
政府も民間もどちらももたれあいの日本の弱点が見て取れる。
それこそ　この 30 年　海外技術依存　海外から押し寄せる技術イノベーションに飲み込まれてゆくのかと心配になる。

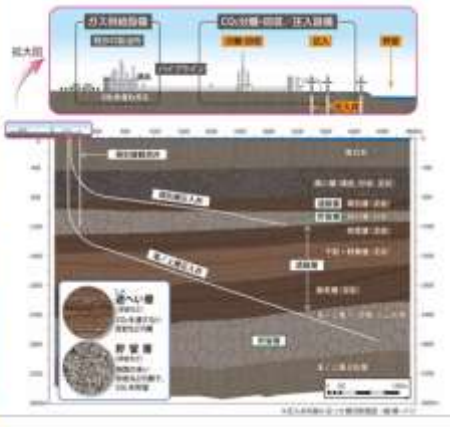


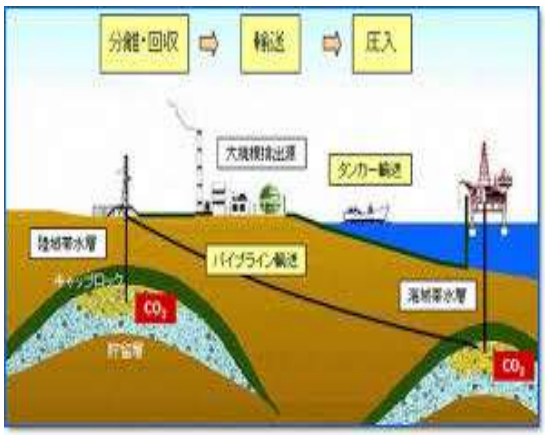
２０５０年　脱炭素「達成できる」７割以上 企業 100 社アンケート｜NHK ニュース

■　苫小牧における CCS 大規模実証試

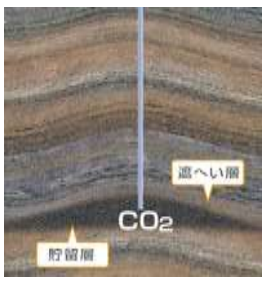








苫小牧では、日本初となる CCS の大規模実証試験（CO2 の分離・回収、圧入、貯留、モニタリング）が国家プロジェクトとして実施されています。
2012 年度から 2015 年度は、実証試験設備の設計・建設・試運転等が行われ、2016 年度から地中への CO_2 圧入が開始されました。2019 年 11 月 22 日には、目標である累計 30 万トンの CO_2 圧入が達成され、現在は圧入を停止しモニタリングが行われています。
また、国等において、本実証試験設備を活用したカーボンリサイクル事業の実施に向けた検討が行われており、2020 年度は実現可能性調査が実施されています。



一点だけ、私が理解していなかった日本の先端性を保有する原子力技術がある。

原子力「高温ガス炉」自己安定性を有し、、水の熱分解での水素製造が可能な９００℃以上の高温ガス

Ocean Green　http://oceangreen.jp/Arikata/140723-KouonGasRo-RitenMondaiten.html

いま　日本が最も進んだ技術を有し、実用炉に一番近い位置にあるという。
大型には厳しいと聞くが、炉心構造材に黒鉛を使い２０００℃以上の高温に耐えるので、冷却システムが機能しなくなっても自己安定性を有し、また核分裂物質の封じ込めも可能で暴走しないとされる。
また、水の熱分解での水素製造が可能な９００℃以上の高温ガスがえられるので、
水やメタンを原料としてクリーンな水素製造が可能となる。
弱点は大型化できないことと空気突入で火災事故になるこという。
インターネットで得た知識で、専門家たちが今どんな評価をしているか不明ですが、
原子炉の暴走を食い止められ、実用性があるとすれば魅力である。
先の１４項目の中にある原子力がこのガス炉を意味するのであれば、一つの有望選択子の一つ。
鉄鋼の熱源として水素を復活できるかもしれぬと…・。

■黒鉛減速ヘリウム冷却型の実験用原子炉

HTTR (High Temperature engineering Test Reactor

900℃超の高温ヘリウムガスを発生することを目的として設計され、茨城県大洗町の日本原子力研究開発機構に建設された。建設は 1991 年に建設が始まり、1998 年に初臨界を達成した。2004 年に原子炉出口におけるヘリウム温度 950℃を達成した。現在は高温ガス炉の固有安全性に関する開発研究等が行われている。



図1a　HTTRの建屋鳥瞰図
HTTRの画像検索結果より転載

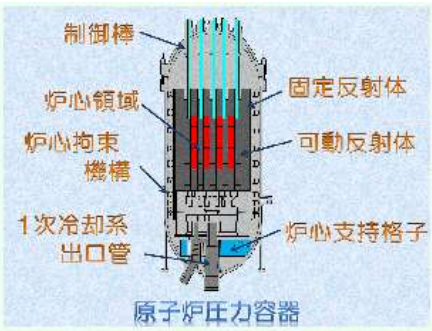


図1b　HTTRの原子炉圧力容器
HTTRの画像検索結果より転載

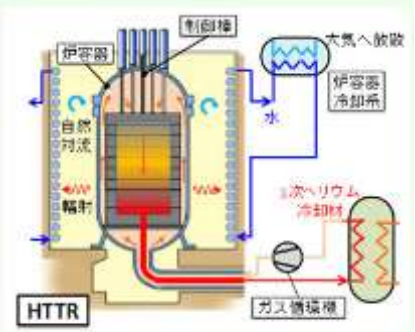


図2　HTTRのシステム模式図
日本原子力研究開発機構のプレス発表から抜粋

原子炉格納容器の中央に原子炉容器が置かれ、その中に核燃料や黒鉛の中性子反射体が納められている。原子炉容器の中はヘリウムガスで満たされ、ヘリウムガスは炉心と熱交換器の間を循環する。炉心で発生した熱の一部は原子炉容器の壁から格納容器に向かって対流と輻射によって流れる。格納容器の壁は水冷され、冷却水の熱は大気に放散される。

以上　あまりにもバラ色の水素・水素とさわぎまわる TV や新聞等の報道に何か通信・IT 業界とおなじく、政府の企業誘導の匂いを感じ、またかつて身を置いた鉄鋼業界に思いをはせながら、インターネットの掲載記事を拾って今自分の感じていることをまとめました。
まだまだ知識不足の点もありますが、コロナ禍の後の大変革　技術イノベーションにつながる道だと取りまとめました。
知識不足　理解不足など論点もおかしいのかもしれませんが許しを

2021.2.1.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

fkobeR03
03. pdf

From Kobe 2021

【弥生３月　春の訪れ　From Kobe 】３月　須磨の春　春の訪れのしあわせ

収録１．その輝きを取り戻せ日本ポストコロナへ　　危機感が垣間見える

収録２．最近の新聞より　コロナ禍の中で露呈した硬直化した日本が見えてきた　これでよいのか?




春の訪れ　陽光にキラキラ光る須磨の海　2021.2.16.




2021 弥生３月 春の訪れ きらきら光る須磨の海 心配されたいかなご新子漁も始まった
梅の花・菜の花 そして サクラソウ 野鳥たちも訪れ、華やぐ春に
マスクをはずして戸外へとびだした～い
丘一面を黄色に染める菜の花は一遍にみんなを明るくする　春の幸せ






なんとなくほっとして　気持ちを明るくしてくれる　　春到来のぬくもりです





コロナ禍が始まって一年余りやっと終息の兆し　みんながよく頑張った証 でも もう少しがんばらねば・・・
青い空にキラキラ光る海　丘一面を黄色に染める菜の花の運動公園では開幕を告げる
ラグビー子供たちや歓声が風に乗って聞こえてくる]
不漁と言われた今年のいかなご新子漁も無事始まって西神戸に春
浮かれてはいられないが、西神戸にうれしい春の到来
もうお雛さん済すんで、梅・菜の花からサクラへ　気は焦れども頭廻らず　遅れに遅れた春便りです
コロナ終息　新しい時代への希望・期待　みんな笑顔がとりもどせますよう　今一度スクラム組んで

God be with You !!　2021.3.10. From Kobe　Mutsu Nakanishi

収録 1. その輝きを取り戻せ日本ポストコロナへ　　危機感が垣間見える

脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱 CO2 排出に舵を切る

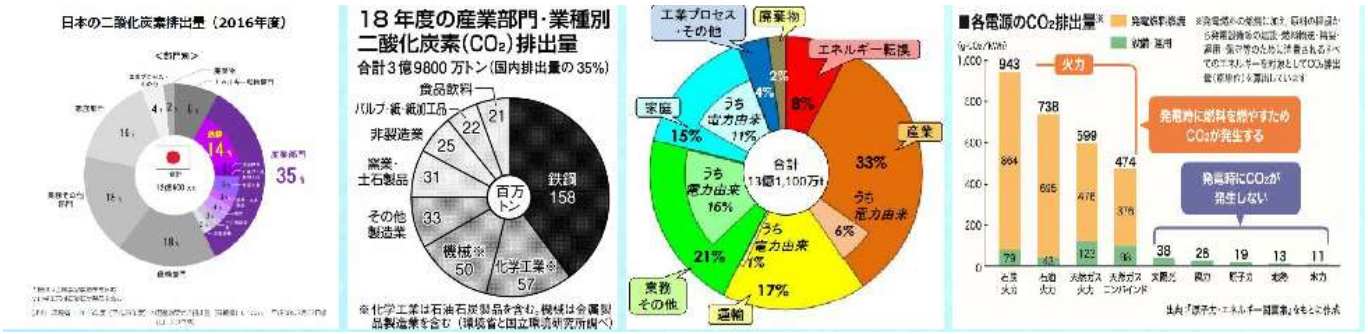
日本人の賃金は韓国よりも低いという偽らざる現実

この 10 年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ

数字で知ってびっくり。　ぬるま湯日本のつけか?

2050 年脱酸素カーボンニュートラル　全体のアクションロードマップ





2050 年脱炭素カーボンニュートラルを宣言した政府。一機に日本も脱炭素社会に向けての動きが活発になった。

コロナ禍の中で、日本の弱体化が嫌というほど見えて、その立て直しには新しい産業の創生が待ったなしの事情もある。

でも　またぞろ政治家の人気取り丸投げ政策の花火に終わるかもしれぬと。

カーボンニュートラル宣言目標の 2050 年。

初めて 2050 年カーボンニュートラルへ向けての数値目標付きロードマップがある取り組みが提示されてはいるが、

それを達成する技術イノベーションのロードマップはどうなのだろうか…・

個々の分野技術イノベーションの積み上げロードマップと全体とが有機的に結びついているのだろうか…・

またぞろそこのところが有識者会議だの専門家会議など一番の推進力の頂点　統率力を発揮すべき政府の関与の仕方があいまいに。官僚たちがキャスティングボートを確保する知恵なのでしょうか…・

それが一番日本の政治をダメにしていると見えるのですが……・

新しい技術イノベーションを明確にし、目標達成へ大きな展開過程へステップアップしてゆく記述がよく見えない。

いつものごとく、仲間内ではあるのかもしれませんが…・絵に描いた餅になりかねない。

カーボンニュウトラル達成のための主要技術 14 項目各ロードマップの実行指揮官も明確でない。

　実行推進指揮官が政治家ではどうにもならぬ。政治家と対等に立ち回る実行部隊

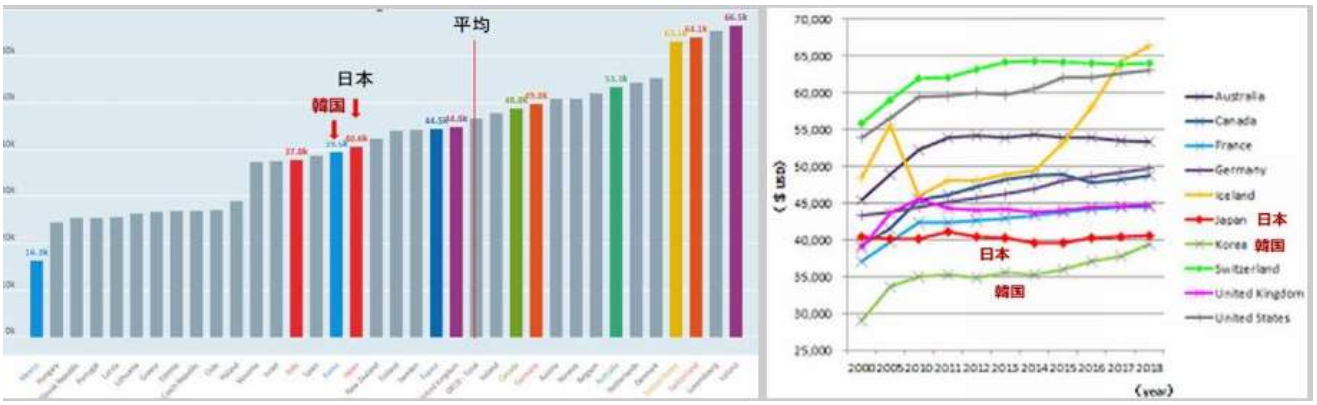
モノづくりイノベーションを武器にあの「はやぶさ」プロジェクトに見られた流れにいつステップアップできるのだろうか・・・・　　楽しみでもあり、開発プロジェクトのだいご味

応援したいと切に思う。

ぬるま湯日本のつけ？　すでに日本は富んだ国ではない　日本人の賃金は韓国よりも低い

日本の現状は極めて厳しく、この課題取組によるイノベーションがなければ、
先進国から最貧国に落ちぶれる危機に瀕しているのが今の日本の国情。
それを示すデータがある。

2018 年　世界各国年収比較図(左)と各国のここ 10 年平均賃金推移比較(右)



主要先進国の中で、この 10 年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ。
韓国にも平均賃金で追い抜かれているとの事実がある。
好景気　好景気と言われながら、全く実感はなく、なにか国際競争力維持のためと思い込まされていたきらいがある。

2018 年の年収データ図では、日本は発展途上国も含め世界的にみると給料の高い国ですが、
先進国の中では給料の少ない国だと言える。
この図ではまだ韓国の平均賃金より日本が少し上回っている図になっていますが、平均賃金ではすでに韓国以下。
2019 年における日本人の平均賃金（年収）は３万 8617 ドル、米国は６万 5836 ドル、ドイツは５万 3638 ドルと大きな差。
それだけではない。かつては途上国というイメージの強かった韓国ですら、４ 万 2285 ドルとすでに日本を追い抜いている。日本人の賃金は米国の６割程度しかなく、韓国よりも低いというのが偽らざる現実である。

大阪の難波周辺を歩くアジアの観光客の群れを見ていて、日本の方が富んでるとはとても思えず、
不思議がっていたのですが、これが今の現実。
またこの 10 年の平均賃金推移をみると先進主要国の中で、唯一日本だけが全く平均賃金が上がっていない。
好景気　好景気が持続と言いながら…である。
これも思い当たる節がある。　この 10 年働き方改革等ともてはやしながら、モノづくり投資をせず、
非正規雇用の拡大がこの図の裏にあるとみる。
正規労働者の約 1/3 に迫る勢いで、非正規労働者が増え、このコロナ禍の中で雇い度目の目にあっている。
こんな国は日本だけたという現実。
日本は裕福な国というのはもうはるか昔の現実なのだ。
コロナ禍で垣間見える疑問がこの数字に端的に表れている。
もうかつての富んだ国は幻想。　韓国にも抜かれている現実。

コロナ禍の経済立て直しと掛け声ばかりの日本。
現実は新しい成長産業を自らの手で編み出さないとますます日本は最貧国に落ちぶれる危機にある。
TV やマスコミがあおる裕福な国でない。
国民みんなが考えること行動することを忘れ、頂点同調に追従してきた結果がこれである。
「まさにぬるま湯　日本」である。若者型の新しいリーダーが必要な理由もここにある。
お題目を並べ、ねばならぬ・べきである論を振りかざしてもどうにもならない。
きっちりとした組立てと着実な実践履行を進める指導者が出ない限り、ますます世界と日本の差は広がるだろう。

世界はしっかりとした未来のロードマップをえがき、その中に達成チェックの数値目標マイルストーンを置いて、
推進を図ってきた。どんぶり勘定　頂点同調の日本が一番苦手なことである。

このコロナ禍の中で、経済がメチャメチャな今こそ、日本再生するチャンス。
低炭素社会到達・カーボンニュートラルの達成はそんな日本再生の取組ととらえたい。

モノづくり企業やその周辺ではすでに、その存続の危機感とともにそれを感じ動き始めた。
でも　日本の中心たる政治家・政治　それを取り巻く官僚機構にはその覇気が見えない。
いくら大きな声で宣言・べき論を打っても世界には響かない。
きっちりとした立案　そしてロードマップを持て自ら実践成果に裏付けられた推進が図られなければ絵にかいた餅。
2050 年カーヘボンニュートラル宣言と政府脱炭素社会を目指す 14 重点項目策定だけが
お題目として民間任せではそれこそ絵に描いた餅。

それにはなんとしても若い発想を持ったニューリーダーの指導性が必要ではないだろうか…・
高度成長期　多くのリーダーが「やってみなはれ　みたり　聞いたり　ためしたり」と
若いリーダーを育て、技術イノベーションの連鎖により、
モノづくり革命が進行して日本の繁栄がもたらされたように。
いまこそ　頂点同調・ぬるま湯日本からの脱皮が必要か…・　頑張れ日本。
2021.3 月　　コロナ禍後の経済再生・脱炭素社会の構築に向けて
2021.3.10.　Mutsu　Nakanishi

■　参考【From Kobe 2 月】
「2050 年カーボンニュートラル　政府脱炭素社会を目指す 14 重点項目策定　」2021.2.5.
https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0302carbonnewtral.pdf

---





力と力がぶつかりあう　声は出せぬが、　こぶしをカいっぱい握りしめ　2021.2.28.
コロナ禍が始まって一年余りやっと終息の兆し　みんながよく頑張った証　　でももう少し　がんばらねば・・・・・
でも　青い空にキラキラ光る海　山は芽吹いて　梅の香り　丘一面を黄色に染める菜の花の運動公園では開幕を告げる
ラグビー子供たちや歓声が風に乗って聞こえてくる
不漁と言われた今年のいかなご新子漁も無事始まって西神戸に春
浮かれてはいられないが、西神戸にうれしい春の到来
　マスクをはずして　おいしい空気を胸一杯　戸外へとびだした～い　でも　もう少し
もうお雛さん済すんで、梅・菜の花からサクラへ　気は焦れども頭廻らず　遅れに遅れた春便りです
コロナ終息　新しい時代への希望・期待
みんな笑顔がとりもどせますよう　今一度スクラム組んで
God be with You !!　2021.3.10. From Kobe　Mutsu Nakanishi

収録２



コロナ禍の中で露呈した硬直化した日本が見えてきた　これでよいのか?

自分で考え行動することを放棄した島国日本の村社会にみえる
頂点同調を振りかざすリーダーとそれに同調するインターネット・
マスコミそして若者たち。私だけが感じているのかと思っていたら、
仲間からもそんなことを聞く機会が　ふえました。

もう頭も回らなくなり、なかなかまとめる今期も続かずだし、ぶつぶついうのも何の助けにならず。
最近の新聞やニュースから　気にかかった記事を拾い、掲載することでお許しを。
でも好奇心は健在　手足は動くし仲間もいる　元気出して出して前向いて
God Be with You!!　とわか道を行く　　2021.弥生３月　Mutsu Nakanishi

◆　保坂正康氏「消えてしまった風刺の精神」神戸新聞 2021.3.2.　弥生の随想より

文化

弥生の随想

消えてしまった風刺の精神

保阪正康

日本社会から風刺や抵抗の精神が失われてきたのではないか。風刺や抵抗を何も批判という意味で用いるのではない。現実のゆがんだ姿を一歩引いて客観的に見るのである。風刺や抵抗は一服の清涼剤になるとも言えようか。

もともと日本人は風刺の精神にあふれていた。「いろはかるた」は江戸物にしても、上方物にしても庶民の側からの風刺と抵抗の内容である。「ぬかにくぎ」「亭主の好きな赤烏帽子」「論より証拠」などは、現実を巧みに皮肉っている。こうしたかるたは、子供の遊びにも取り入れられて、風刺の意味をかぎとっていったように思う。「泣く子と地頭には勝てぬ」といったことわざも含め、風刺は生きる知恵にもなったのである。

江戸時代の川柳には「役人の子はにぎにぎをよく覚え」がある。にぎにぎは、賄賂をもらうことを指すのだが、幼年期からその準備をしているという意味だ。「やぶ医者の友は遠方より来る」というのもある。人の評判は遠くまで及んでいないから、真実はなかなか伝わらないという皮肉になるか。川柳はまさに庶民の憂さ晴らしでもあったということであろう。

幕末、維新の風刺は「はやり唄」で確かめてみると含蓄に富むことがわかる。明治初期には壮士や書生などの間で歌われた唄、あるいは座敷で歌われた唄などに、時代への風刺や新時代にはしゃぐ人間像が、的確に描かれている。

例えば「官員唄」というはやり唄には「攘夷攘夷と騒いで置いて　今ちや異人と雑魚寝する」「髪をはやして官員ならば　猫や鼠は皆官員」と変わり身の早さや新政府の役人が威張ることへの皮肉を歌っている（岩波文庫の倉田喜弘編「近代はやり唄集」）。

「書生節」というのもあるが「書生書生と軽蔑するなフランスナポレオンも元書生」という歌詞である。

こうした史実を俯瞰してみると、日本人は役人を皮肉ったり、要領の良い生き方に鋭い反感を持ったりしていることがわかってくる。野にあって社会の変化や人間の処世を的確に見ている人たちの風刺の精神は、きわめてレベルが高かったと言えるのではないだろうか。つまりそれぞれの時代で、日本社会には風刺の精神が健全に働いていたことになるのではないかと、私には思える。

それなのに、というべきだろうが、この何年かこうした風刺の精神が泡沫のように消えてしまった。この精神がどの分野でも衰弱してしまった。政治家、官僚が現在ほどルールを踏み外している時代はないと思うのに、風刺、抵抗の言論は消えてしまった。自戒を含めての言になるが「どうした日本人！　先達に恥ずかしいぞ」と私もつぶやいているのである。

（ノンフィクション作家）



絵・王培





ほさか・まさやす　1939年札幌市生まれ。編集者を経て作家に。「昭和史を語り継ぐ会」を主宰し、延べ4千人の肉声を記録。2004年に一連の昭和史研究で菊池寛賞（「隠蔽の日本近現代史」）を受賞。

2021.3.2.神戸新聞朝刊　文化面
「弥生の随想」より
保坂正康氏「消えてしまった風刺の精神」

◆ 評論　「森氏発言から見える課題」

識者評論

森氏発言から見える課題

閣達な議論、問答 ためらうな

日本オリンピック委員会理事　山口 香氏



例えば、日本の会議は本当に機能しているのだろうか。「話が長い」「わきまえている」という森さんの言葉に象徴されるように、会議であるにもかかわらず、出席者は自由闊達な議論そのものを否定されているようにも感じてしまう。

私は、特に提案に異を唱えるときは一瞬迷う。多くの人も、疑問を感じたとしてもあえて質問する必要があるのかと手を引っ込めた経験はないだろうか。

1回、2回と質問をのみ込んだ後は、組織の流れにのみ込まれていってしまう。大きな問題が起こると「なぜ、誰も気が付かなかったのか」となるが、小さな疑問をのみ込んだ結果に違いない。

全豪オープンテニスでの大坂なおみさんの優勝スピーチは、決勝を戦った選手をたたえる言葉からだった。スポーツや五輪が見せてくれるのは、競い合うことは敵ではなく良きライバル、友をつくるということ。競い合う相手がいるから、自分が成長できる。この精神こそスポーツから社会が学ぶべき点だろう。

意見を戦わせて良き方向を目指すことにためらう必要はない。議論はボールを打ち合うこと。際どいコースを狙えばより精度の高い返球が来て好試合になるように、議題の目標到達につながる。

議論は嫌いだが、邪魔されずに話すのが好きな人は多い。持ち上げられて気持ち良く話している時に失言がある。多くの場合、指摘されるまでは失言とは全く気付かず、「笑いもあり、上々だった」と良い話をしてやったぐらいに感じている。

これからは、長くありがたいお話が終わったら質疑応答の時間を必ず設けるのが良いかもしれない。「気が付いたけれど質問できなかった」とは言えなくなるし、話す方にも多少の緊張感が生まれる。

日本の人材不足を指摘する声がある。柔道の創始者である嘉納治五郎は、修行方法の一つを「問答」としている。上に立つ者が相手の質問を受け止め議論することが、互いの成長につながる。偉くなって裸の王様になりがちなのは、「なぜ」と問われなくなるからだ。不評だった森さんの謝罪会見にも、問答がなかった。

組織委の橋本聖子会長は日本オリンピック委員会（JOC）選手強化本部長時代に「人間力なくして競技力向上なし」と、スポーツは人づくりであると強調した。

五輪開催に向けては、積極的な国民との「問答」に期待したい。

やまぐち・かおり　1964年東京都生まれ。筑波大大学院修了。柔道女子の元世界王者。2011年からJOC理事。18年筑波大教授。

神戸新聞　文化面　評論より


春の幸せ
2021.3.4.　神戸総合運動公園　コスモスの丘で


2021. 3. 4.　神戸総合運動公園コスモスの丘で


春の幸せ　2021.3.4.　神戸総合運動公園　コスモスの丘で


2021菜の花畑　2021.3.4.　神戸総合公園コスモスの丘で


2021. 3. 4.　神戸総合運動公園コスモスの丘で


2021. 3. 4.　神戸総合運動公園コスモスの丘で


2021. 3. 4.　神戸総合運動公園コスモスの丘で


2021. 3. 4.　神戸総合運動公園コスモスの丘で

【From Kobe 4月　春爛漫】　コロナ禍の中で迎えた春爛漫　2021.4.7.

神戸の桜便り　元気出してゆこう!!

収録　　新聞のコラムより　コロナ禍の中で　久し振りに野球とバスケの話題







みんなの「3密」行動節制と医療関係者の献身的努力で
収束するかに見えたコロナ禍ですが、一向に収束せぬコロナ禍　第4波が始まった
もう飽き飽きですが、コロナに「かからない・うつさない」
マスクと手洗い　&「三密」の行動節制　今少し　頑張りましょう







4月になって春爛漫　いかがでしょうか
周りの山は芽吹　里では桜満開　新生の息吹き
気分も新たにコロナ克服へ　元気出していきましょう





マスクをはずして　おいしい空気を胸一杯　戸外へとびだした～い
でも　周りをながめれば、神戸の春がここかしこ
コロナ終息　新しい時代への希望・期待に胸膨らませ　気分も新た
みんな笑顔がとりもどせますよう　今一度スクラム組んで

God be with You !!　2021.4.7. From Kobe　Mutsu Nakanishi

神戸の春　桜便り　2021.4.7.





我が街　妙法寺　若草の丘　　周囲の山腹は芽吹き芽吹き　桜も満開　うれしい我が町の春景色です

今年も例年より１週間以上早い桜便り画家基地から届く。

４月の始まり、入学式にはもうどこも桜は散ってないだろうが、ヤッパリ桜満開で４月のページを飾りたいと。

３月初め　コロナ禍収束にぱっと明るくなった街。待ちゆく人たちもマスク姿ながらなんとなく明るく、待ちゆく学生たちの列にも微笑みが漏れる。　これでコロナ終息かとほっと一息。

４月の便り神戸の桜便りで明るく伝えたいと。野球根ラグビーも町での会食も。仲間と顔を合わして話せるのもうれしいと期待一杯。でも３月下旬からまた再流行　コロナ第４波が始まり、一機に新しい令和３年度の始まりの期待がしぼんでしまいました。

４月春爛漫　新しい出会いと出発の令和３年新年度の始まり。

明るく桜便りを送って、みんなと元気に前向いて頑張りたいと４月４日イースターのカードとともに神戸の桜便りを送ります。





３月末一機に街の桜が咲きだし、散歩道の街角には明るい春の草花　そしてモクレン・こぶしの花の香りがほのかに漂い、

ずっと探していた土筆も田圃のあぜでみつけた。　　春　新生の息吹き　芽吹いて若草色になった若草山　2021.4.5.

ふと山腹に眼をやるといつの間にモノトーンから変わったのか芽吹いて明るい春色に。そして春爛漫へ。

今年の春はラッキーなことにマスクのおかげか花粉症も軽い。街での会食はまだままならぬが、ワクチン接種もはじまり、ポストコロナ新時代への出発を伝えるニュースも数多く聞かれるようになりました。

高齢者には４月新たな出会いと出発といってももうピンとこない年になりましたが、

元気に前向いて、この春を乗り越えましょう。

みんなお互い連絡取り合って元気に前向いて　笑顔で今を。

また、困難の中にある仲間へ　思いをはせています。

どうか　一人で頑張らず、無理せず　今はみんなに　声あげて!!

仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌　God be with You!!

2021.4.7.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

神戸の春　桜便り　2021.4.7.







■　桜のトンネル　板宿　妙法寺川沿いの散歩道　2021.3.27.













2021.3.31. 神戸の春2021 妙法寺川の桜





■　宇治川が流れ下る丘の上　水の科学館　奥平野の舞桜　　2021.3.27.

神戸の街の中心部を見下ろす丘の「水の科学館」の南端の崖に立つ一本桜「奥平野の舞桜」



本年水の科学館の老朽化のため本閉館になって館内からは眺められなくなっているのは知っていたのですが、崖下まで優美に伸びていた枝も含め、きれいに切りそろえられていて、驚きました。
その優美な舞姿を崖の下から見上げるのが好き。毎年必ず出会いに行き、仲間にも自慢していた一本桜「奥平野の舞桜」。崖の端に立つ老木で無理がたたって勢いをなくしていたのでしょうか?
この丘の東端から南へ　街中の楠谷を宇治川が流れ出し、その土手にも市民に親しまれる桜並木が続いている。
その崖の下まで精一杯枝を伸ばした舞姿が本当に優美で好きだったのですが、今は見上げる丘の上にまっすぐ堂々と立つ姿に。
老木の痛々しさはまったくない、どっしりとした立ち姿。
これもよし。
ポストコロナの新時代の元気な象徴にになって、
神戸の街を見おろしてほしいなあ。
おもわず、がんばれよ!　また来年!
また、奥平野の舞桜の舞姿を本年のイースターカードに収めました。



■　桜並木　水の科学博物館下　楠谷　宇治川の堤
2021.3.27.



再度山楠谷を流れ下る宇治川の桜2021　2021.3.28.

収録　ちょっと気楽に　コロナ禍の中で　久し振りに野球とバスケの話題


正平調

プロ野球の阪神ファンには時としてとんでもない猛者がいると、作家の田辺聖子さんが書いている。お知り合いか「タイガースの負けっぷりに腹をたて、半年の間にテレビ二台、ラジオ三台、叩き壊した」方もおられたらしい◆こういうのに限って、ごひいき球団は、というと、へへ、一応阪神、なとどとつつましい」（「楽老抄」）。モノは壊さないまでも、ごみ箱ぐらいは蹴飛ばす。阪神ファンならばいよう、自慢されたし◆情けない、虚栄が一番元気なのは間違いあたりの今ごろかと新聞を広げるが、驚くところによれば、今春はいつにもまして応援がうるわしいのだとか。「オープン戦首位だよ」「期待の大型新人だよ」と声も弾む◆田辺さんは幾つかある好きな言葉の筆頭に「惚れた弱み」を挙げていた。「シャない。アレには弱い、というのがある人はまことに好もしい」と。他愛には頬笑まい。ひいきチームへの惚れ方ってそうだろう◆もう応援なんかやめやめ、と悪口をいながら、ついうっかり結果が気になってスポーツニュースを見てしまう。しかも勝っていたら、うれしい。ああ、惚れた弱みよ。自ら切ったほずのふをまた結び直している◆どうせまにいし、テレビ観戦といくかな。プロ野球が始まった。

２０２１.3.27.神戸新聞　「正平調」コラムに田辺聖子さんがタイガースファンについて書かれた文章が引用され記事が掲載されていた。

「阪神ファンは時としてとんでもない猛者がいる。タイガースの負けっぷりに腹をたて、販年の間にテレビ２台。ラジオ３台　叩き壊した人がいる。　交友のに限って　ごひいき球団はというと、へへ　一応阪神、なとどとつつましい。」と。

そしてこの正平調氏は「モノは壊さないまでもごみ箱ぐらいは蹴飛ばす。阪神ファンならばいよう。じちょうされたし」と。そして　今春の阪神の戦いにみんなごきげんうるわしいと。

また、「田辺さんはいくつかある好きな言葉の筆頭に「惚れた弱み」を挙げていた。「シァない。アレには弱い、というのがある人はまことに好もしい」と。この後も続くのですが・・・・・

久しぶりの田辺聖子さんの名言。

阪神が負けた時の電車　シュンとして　みんながみんな黙りこくっている車両。一方怒りまくって盛り上がっている人たちの車両もあり、おっかなびっくりで車両をかえたことも。。。。

今はコロナの中　みんな自重しているのだろうなぁ・・・・と。でも時代が変わっても気質は変わらず。。

田辺さんには 私の故郷尼崎の南の市場界隈の庶民を題材にした作品が幾つもあり、故郷の昔に触れることが多く、「いるいる　こんな人一杯いてた　会社にも」と思うのですが、今はどうでしょうか・・・

でも　尼崎の商店街は熱烈阪神ファンの商店街として今も有名。時折、そんな空気を吸いに行く。

田辺さんの話　きくのもひさしぶり　この空気　懐かしいなぁ・・・と。







左: 練習 ボールが５つ見える　　試合　とにかくスピード　飛び込んでゆく　３点シュートがすごい

また久し振りに近くで開かれたバスケットB-2リーグ西宮ストークス対奈良の試合を見た。昔バスケをしてた時代もあり、また日本リーグの試合を大阪まで見に行っていた時代もある。でも　もう３０年以上体育館に足をはこんだことがない。

こんなこと披露するのも、今のバスケットは昔の試合と全く会場の雰囲気も選手も何もかも違っている。

で会場に入ると何かラップの乗り。こりゃジャズライブの雰囲気。一緒に乗らな…とうれしくなる。

試合の流れも、雰囲気も随分違うが、一番びっくりしたのが試合前の練習。観客を前にコートに入った選手が開始前約１時間半動きばなし。動きが止まらぬよういつも５つ以上ボールが投げ入れられ、止まっている選手が一人もいない。これが試合前１．５時間。アップと体慣らしとは全く別物。びっくりでした。これで　試合に入るのか…と。全く運動量が違うのにびっくり。試合も本当に目まぐるしく変化。それこそ休む暇なし。この体力・運動量に試合前の練習理解。見てる方もすごいなあ・・声出されないが、休むことなし。チェアーガールも休む間がない。もうついて行けんが、面白い。大きく時代が変わっていることを身近に感じました。

きっちり整理・まとめできておらず、すみません。　とにかく元気にやっています。

コロナにかからぬよう　御身お守りください。　　2021.4.7.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

fkobeR03
05. pdf

From Kobe 2021

【From Kobe 2021 新緑の５月 】

2021 新緑 ５月の風　うまい空気を胸いっぱい　厳しい春を前向いて

神戸籠りの春　風来坊の Photo Album　心やすめになれば

収録 1 コロナ禍の中で 大音響の五輪PR隊 約800m 聖火ランナーは脇役か?

2. どうなるポストコロナの日本 元京大総長 山際寿一氏のオピニオンです

3. ポストコロナの社会構築理解のために 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体





新緑に包まれて　山は山は芽吹いて　今一番の春景色　吹き来る風も心地よし　2021.4.21.　但馬養父市　氷ノ山山麓で



菊水山から眺める西六甲縦走路の山々から明石海峡・淡路島へ
左から高取山・須磨アルプス・鉄拐山・鉢伏・旗振山



但馬　朝来市竹田城下　円山川沿い広がるレンゲ畑　2021.4.21





兵庫リレーカーニバル　2021.4.24.&25.

神戸総合運動公園　ユニバー競技場で

コロナ禍の中でどうなるかと思いましたが、

毎年春を呼び込むリレーカーニバル

いつもの歓声はないが、新緑に包まれ、

ツツジが美しい気競技場で　若者たちが快走　.

私はいつもの場外特等席　母校の後輩たちも元気に走っていました

ワクチン接種のめども立ったし、コロナ収束　みんなの願い　.

仲間に会いたいなぁと思いは募りますが、まだ自制がつつく

新緑の神戸須磨　神戸籠りが続きますが、

相変わらずの風来坊　春のアルバム届けます

どうか　まだまだ　高齢の身には厳し我日々　でも仲間もいる

無理せず体調変化に気を付けて　スクラム組んで　前向いて

God Be With Ypu!!

2021.5.5.　From Kobe　Mutsu Nakanishi







マスクをはずして　おいしい空気を胸一杯　戸外へとびだした～い
期待のワクチン接種も見通しが立ち始めた5月
コロナ終息　新しい時代への希望・期待に胸膨らませ　気分も新た
みんな笑顔がとりもどせますよう　今一度スクラム組んで

God be with You !! 2021.5.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



5月新緑の横尾山山腹　のじぎくの丘に翻るこいのぼり　　横尾道で　2021.4.27.



満開の桜が散ると野山は芽吹きから新緑へ　山腹の濃淡をだんだん増してゆく。
その中に山桜の薄ピンクそして、常緑の杉林がアクセントとなって、一日一日その化粧を変えてゆく。
山に入るともう三つ葉ツツジが満開。また　山から眺める景色も風にのって千変万化　いつ見ても飽きない。
今年はコロナで　春の妖精カタクリに出会いに行けず、またシャクナゲの花も見に行けなかったのですが、
毎日の散歩で楽しむ街歩き•里山歩き。楽しんでいます。
孫に教えてもらった山スタンプ歩きもうれしいし目的に。







庭では春の草花　門前では４月の末から背の高い薄ピンクのアグロステンマの花も咲きだして、
うれしい満開。　庭も我が家もパッと明るく華やかに。
風来坊とはいえ、一日一日　やることがあって、前向きにとらえられるのがいい。また、仲間に会えないのはつらいですが、古いアルバム整理や断捨離などしていると思わぬ掘り出し物や発見も。

自分の記憶がおぼろげになってゆく中で、歩いてきた道を見直すい機会にも。また、先に逝った仲間との思わぬ再開も。
独りよがりですが、記録しておくことは自分を正すい機会に。
どうせ　整理しても誰に残さねばならぬわけでもなしですが、
多くの出会いなど思い浮かべながらの整理も重要な生活の一部に。
コロナのワクチン接種の申し込みもぶつぶつありますが、何とか申し込み完了できてやれやれ。
今　また緊急事態宣言で子供たちや学生たちの姿が消え、街はまた火の消えたよう。
でも　もう少しとがんばらねば・・・・・・。
そんな　神戸ごもり　今日この頃です。

ついぞ見かけなくなったレンゲ畑。近くで田を見かけるたびに探すのですが、見つけられず。でも生野峠を越えて但馬にはいた円山川沿い竹田城下の田園で見つけました。　今年も蓮華畑に出会えて幸せ。
今月は何をともあれ、４月積み残した京都の桜見物　そして、４・５月の春の明るい息吹が伝えられたらと。
新緑の５月　コロナ禍の中　神戸の籠りの合間の風来坊　写真アルバムのかたちで、詳細は掲載記事で見ていただくことに。
コロナのこともいろいろあるが、愚痴は言うまい。
何はともあれ、コロナに負けぬよう。前向いて新しい時代へ　一歩　踏み出しましょう。
いつもありがとうございます。



■新型コロナ感染蔓延の神戸籠りの合間に この春出かけた近隣のマスクwalk
Photo Album とスライド動画にして楽しむ
<桜満開の京都 と東山不思議の狸谷不動院・瓜生山> 21.3.30. & 3.31.





老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
いつも困難の中にある仲間にも　思いをはせています
周りの山は芽吹いて　新生の息吹　５月の風
うまい空気を胸いっぱい
気分も新た　元気出していきましょう

高齢者にはまだまだ厳しいコロナ収束
仲間がいる　仲間の笑顔を活力に!!
無理せず、体調変化に留意して毎日を!!
がまんせず　時には声上げて スクラム組んで　今を元気に!!
2021.5.5　From Kobe　　Mutsu Nakanishi

【From Kobe 新緑の５月

収録１. ■　コロナ禍の中で　大音響の五輪 PR 隊　約 800m　聖火ランナーは脇役か?

下記にインターネットに掲載された写真と五輪聖火リレーに関する記事を示す。

垣間見える商業五輪の醜さ　スポンサーで成り立つ聖火リレー

2021 年５月３日 06 時 00 分　　東京新聞



聖火ランナーを先導するスポンサー企業の車列＝三重県伊賀市で

４７都道府県で人口が最も少なく、県内総生産も最小の鳥取県。

平井伸治知事（５９）が、首都東京の五輪の聖火リレーを「アメリカナイズされた大騒ぎ」と評している

◆派手な車列に大音量の音楽　東京基準は非合理的

聖火リレーは、約３０台の車列が約８００メートル続く。ランナーを先導するのは、大会スポンサーとなった企業の大型宣伝車。大音量で曲を流し、車上のＤＪ（ディスクジョッキー）が興奮を盛り上げる。

新型コロナウイルスの感染拡大のさなか、有名人ランナー目当てに集まる人々に企業がグッズを配り、群集の「密」も生じた。

４月、本紙のインタビューに応じた平井知事の口調は穏やかだが辛口だった。

東京・秋葉原で生まれ育ち「東京の感覚は分かる」とした上で、「全国のリレーを東京基準で作るというのは合理的ではないのではないか」「地域になじむやり方がある」「商業主義と五輪の理想の調和を保つべきだ」と説いた。

でもこんな風に五輪聖火リレーが行われているなどテレビにも大新聞には全くでていない。

特にNHKは　毎日聖火リレーの様子を報道するが、こんなどんちゃん騒ぎの隊列が延々800m も続くという。

まったくのホウカムリ。コメントもなにもなし。　何ででしょうか……・

聖火ランナーが聖火を粛々と 800m も後でまるでトカゲのしっぽが如くに走ってゆく。

オリンピックの理念も当初東京五輪の目的「復興五輪をテーマに日本を世界に示す」とした内容もまったく示されぬまま、大音響の隊列はお祭りもりあげ隊　自己宣伝隊。まるでカーニバルの隊列としか考えぬ大隊列が進んでゆく。

オリンピックの精神などそっちりけの隊列だという。いわゆるお上に逆らわぬ昔の大名行列のお通りだ。

これが令和の日本の現状だ。しかもコロナ感染が拡大するさなかである。

スローガンと行動が全くかけ離れた商業主義の隊列が行く。もうロあんぐり。こりゃ　誰もついてゆかんわと。

もう　五輪は中止したら・・・・・・・・と。　　2021.5.3　by　Mutsu Nakanishj

収録２　収まらぬコロナ禍の中で　どうなるポストコロナの日本

地球環境問題がいろいろ論議されている中で　あまりにも利己的な近視眼的視点が中心ではないか
現代人が忘れ去り、無視してきた豊かな自然都人との絆　　元京大総長　山際寿一氏のオピニオンです

2021.4.28.　神戸新聞　朝刊　13 面【オピニオン】言論より

豊かな自然と人との絆、故郷を選ぶ基準に

現論

GEN·RON

総合地球環境学研究所長

山極寿一



やまぎわ・じゅいち　1952年東京都生まれ。京都大大学院博士課程修了。アフリカ各地でゴリラの野外研究や保護活動に取り組む。国際霊長類学会会長、京都大学長、日本学術会議会長などを務め、4月から現職。著書に「家族進化論」、「ゴリラからの警告」など。

地球環境問題はますます深刻度を強めている。干ばつと異常な豪雨、山火事など、とりわけ日本は自然災害に見舞われやすい。その原因が地球の平均気温の上昇にあることは明らかで、日本もようやく重い腰を上げて、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを宣言した。

しかし、再生可能エネルギーへの転換や電力システム改革など、実現への道は険しい。プラスチックの利用規制や食品廃棄物の減少などの課題もある。これらを法や制度の規制だけで乗り切れるとはとても思えない。

消費と生産変える

唯一の解決策は、現代の大量生産・大量消費の傾向を変えることである。現代の自由主義経済と科学技術は個人の欲望を発揮させ、その能力を拡大する方向へ人々を導いてきた。その結果、個人はバラバラになって頼るべき人々の輪を失い、保険や社会保障制度などに頼るしか自分や家族を守れなくなっている。さらに、戦後ずっと人々の労働と暮らしを支えてきた企業が様変わりし、生涯にわたって身を預ける組織ではなくなってきた。

明治以来、立身出世を目指して都会に出てきた若者たちを引き受け、血縁も地縁も薄くなった人々をつなぎとめてきた社縁までも崩壊しようとしているのである。根無し草のようになった人々が自分の利益や安全しか考えず、互いに非難し合って生きていくようになれば、日本全体で環境倫理を推進していくような事業は不可能になる。いったい私たちはどこに自分のアイデンティティーを求め、何を指標に未来を構想したらいいのだろう。

この正月、久しぶりに山尾三省という詩人の「アニミズムという希望」という書を読み返してみた。1970年代に私が鹿児島県の屋久島でニホンザルの調査を始めたころ、インド放浪の旅を終えて家族で屋久島の山中に居を構え、畑を耕しながら詩作に励んだ人である。屋久島の自然と文化を未来へ残そうと一緒に勉強を始めた。

当時、三省さんは「部族」という団体を立ち上げ、自然と共生できる新たな暮らしを模索していた。この本は彼が亡くなる2年前の99年に、琉球大学で5日間にわたって行った講義の記録である。読んでみて、今の時代にぴったりのことが書かれているのに気づいた。

故郷となる場所

三省さんは、土とともに生きよ、と言う。土は地球そのものであり、生物が地球といっしょに作ってきた共同の財産でもある。そこに森羅万象が宿る。そのなかに自分の好きなものができたとき、それがカミである。美しいもの、喜びを与えてくれるもの、安心を与えてくれるもの、慰めを与えてくれるもの、畏敬の念を起こさせるもの、そういうものは何でもカミであり、現代においてもそれはいささかも変わらない。

それらのカミと自己とが調和して一つに融合した時に、まことの自分が現れる。それを見つけ出していくのが万物に魂が宿ると考えるアニミズムの新しい時代の形だと言うのである。

三省さんとかつて日本で活動をともにした米国の詩人ゲーリー・スナイダーは、その後、カリフォルニア州のシエラネバダ山中に住み、バイオリージョナリズム（生命地域主義）を実践し始めた。三省さんと同じように、好きな土地を決め、その土地を構成するすべての生き物と共生するコミュニティーをつくり上げようとする活動だ。

屋久島では三省さんの志を継いで暮らしている人たちがいるし、スナイダーもロサンゼルス郊外の河川流域に活動の輪を広げている。それは、これからの時代にこそ適した生き方かもしれない。

新型コロナウイルスによる感染症でこの1年、私たちは地域に籠って暮らしてきた。果たして、そこが自分の好きな場所であること、カミが宿る場所であることを確認できただろうか。

これからの時代は、人々が新たに自分の故郷となる場所を見つけ出すことになる。

労働条件や親族の絆だけが住む場所を決定する要件ではない。豊かな自然と安心を与えてくれる人々とのつながりが新しい基準となる。環境倫理はそれを求める過程で必然的に心に宿る。新しいアニミズムがその鍵を握っていると私は思う。

収録３.　ポストコロナの社会構築理解のために
胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体　よく知りませんでした。



テレビを見ていて、国会議員や財界の偉い人などが胸につけているカラフルなドーナツ状のバッチに目が留まり、なんだろうと。街でも見かけたことがある。
多分　東京五輪・パラリンピック関係か、ライオンズクラブやロータリークラブみたいな団体のバッジだろうと。それにしてもカラフルだ。こんなセンスなかなかないと思うのですが、それをつけている人物・・・・と。ところが、Amazon で売っているのをみつけ、また、ほかでも・・・・。
これはいったいなんと。



みんな知ってる「SDGs のバッジ」だそうだ。
また英語か…と。でも誰でも知っているという。
2015 年９月に国際連合加盟国が採択した
「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」
を指す「SDGs」のバッジだと知りました。
そんなふるくからあるのか?
最近コロナが流行しだし、政府が低酸素社会・持続可能型社会を目指すと言い出してから、急によく見かけるようになった。
小学生の孫たちがやってきて、「SDGs」のバッジやと呪文のように目的を唱える。学校でみんな習っているのだそうだ。
私だけがしらなかったのかもしりませんが・・・・・・・。
でも胸につけているえらい人たちはみんなバッジ１７色の色の意味を理解してるのだろうか・・・・・
「カラフルでええなぁ」だけではではいかんのですが・・・・・
これ知らなかった私の　負け惜しみです。
コロナ禍の中で、いろいろほころびが見えてきた日本。Post ポストコロナの新時代、日本の社会や働く現場を活力あるものにすることに、誰もが目を向けるべきヒントが持続可能な開発目標（SDGs）の中に数多く含まれていると。

国連広報センターや外務省のホームページには下記概要記述がありました。　ご参考まで

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」2015 年９月に国際連合加盟国が決議採択

- ■　持続可能な開発目標（SDGs）について
  https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html
- ■　持続可能な開発目標（SDGs）達成に 向けて日本が果たす役割
  ＳＤＧｓを通じて、豊かで活力ある未来を創る
  https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202103.pdf

インターネットの検索より



2015 年９月に国際連合加盟国が採択した
持続可能な開発目標　１７項目
（Sustainable Development Goals）」

【From Kobe 2021 ６月 梅雨】

fkobeR03 06. pdf

コロナ禍の中で迎えた神戸の梅雨　近況便り　2021. 6. 5.

コロナ禍の中で迎えた梅雨の絶景

神戸籠りの中　風来坊　勝手なPhoto 記録ですが　心やすめになれば

収録　最近の気になった新聞記事より

大坂ナオミさんの会見拒否に日本の縄文世界遺産登録を重ねて

今　人が人として　一番大事なことを思い起させてくれた

梅雨の田植え時　田に水が入った北神戸の田園の里でみられる絶景です　2021.6.1.　北神戸の里で







新型コロナが猛威を振るう関西　医療機関が崩壊してパンでミックス。本当に心配しましたが、やっと小康状態に。
自分の身の安全と共に家族・仲間のこと他いろんなこと頭の中を駆け巡る６月の始まりです。
おまけに早い梅雨入り。いろんなことがもうスピードで駆けてゆく６月の始まりです。
皆様のところはいかがでしょうか・・・・・




やっと６月１日第一回目のワクチン接種完了。
２回目の日も決まってなんとか一安心。ほっとしています。
でも　今の日本の状況　コロナ収束　ワクチン接種　経済
そして大問題のオリンピック等々
何一つ筋の通った具体的な行動論と見通し評価の話が聞こえてこない大変な状況。みんな目をきょろきょろ。
でも　何一つ先が見えない。
私たちにできることはないのか?、せめて頂点迎合はやめ、我が道を見つめなおす力と知恵をつけねば・・・・。
初と気が付けば取り残されてしまう。　今日本がそんな状況ではないでしょうか・・・・・
さしずめ、次の選挙には思いのたけをと・・・・・・・・・　相変わらずTV相手にブツブツ。
でも「しっかりコロナにはまけるな!!」と気力・体力維持に励む今日この頃です。

2021.6.5.　From Kobe　Mutsu Nakanishi





また、真紅のばらは気持ちを前向きにしてくれる　愚痴っていても始まらぬ　頑張りましょう







先が見えぬ厳しいコロナ禍　困難の中にある仲間に　思いをはせています。
どうか　一人で頑張らず、無理せず　今はみんなに声あげて!!　.
仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌
みんな互いに連絡取り合って　元気に前向いて　笑顔で今を。

God be with You!!
2021.6.5.　From Kobe　Mutsu　Nakanishi

紫陽花は雨どきに
そっと寄り添って咲く花

花言葉は花の色で変わるというが、
雨粒を葉に乗せて
静かで心優しき癒しの花

最近の気になった新聞記事より

収録　大坂ナオミさんの会見拒否に日本の縄文世界遺産登録を重ねて

今 人が人として一番大事なことを思い起させてくれた

2021.6.5.　by Mutsu Nakanishi

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ　諮問機関が登録勧告

5月28日（金曜日）神戸新聞朝刊「正平調」はこんなコラムで世界遺産決定を祝った

神戸新聞

2021年 5月28日 金曜日

正平調

人類は進歩なんかしていないーと芸術家、岡本太郎さんの語録にある。「縄文土器の凄さを見ろ。ラスコーの壁画だって、ツタンカーメンだって、いまの人類にあんなもの作れるか」◆言われてみれば、縄文土器には不可思議な形のものが多いし、確かに前衛的である。岡本さんはそこに狩猟民ならではの躍動する感性を見たのだろう。その人が手がけ、大阪万博のシンボルとなった「太陽の塔」もどこか縄文芸術の香りをまとっている◆いま再びの〝縄文ブーム〟を予感させるうれしいニュースが届いた。青森市の三内丸山遺跡などの「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されるという◆遺跡には、定住の痕跡があった。土器や土偶、アクセサリーも多く出土している。縄文人は獲物を追ってさすらっていたというこれまでの定説を覆し、世界の先史でもまれにみる豊かな文化を育んでいたらしい◆三内丸山遺跡から発見されたという樹皮で編まれた「ポシェット」の写真を、きのうの本紙で見た。腰にぶらさげ、クルミやクリを拾っていたのか、おしゃれな縄文人の暮らしが目に浮かんでくるようで心躍る◆縄文文化に衝撃を受けて語った岡本さんの言葉を、まねしてつぶやいてみる。「こんな日本があったのか」

2021・5・28

■ 大坂なおみさんに先頭を走る者たちの孤独を感じて

God be with You!!　健康を取り戻して　またトップを走ってほしいなぁ・・

神戸新聞

2021年 6月2日 水曜日

正平調

大坂なおみさんが豊かな表現力や強い意志を持ったテニス選手であることは、時にユーモアを、時に反差別の思いを発するその語り口からも知られるところだろう。それだけに全仏オープンでの会見拒否はやや唐突な印象だった◆深い理由を、できれば本人も公にはしたくなかったのではないかと今にして思う。3年前に全米オープンで初優勝し、一躍時の人となった頃から心の不調に悩んできたことを、大坂さんがツイッターで告白した◆会見拒否は自分を守るためだったと述べている。批判の声が聞かれても翻意できぬほど23歳の心は疲弊していたのか、騒動が広がると初戦突破していた全仏の棄権を決めた。しばらくコートを離れる意向という◆トップアスリートだって鋼の精神を持っているわけでない。重い問題提起にテニス界が揺れるなか、ある海外選手のメッセージが目にとまった。「あなたの傷つきやすさを尊敬する」。繊細でいいじゃないかと◆心すり減らした仲間をそっといたわる言葉に触れ、小熊秀雄の詩が浮かぶ。〈人間は心を洗う手はもたないが／心を洗う心はおたがいにもっている苦だ〉（「乾杯」）◆告白の最後に、みんなが元気でありますようにとつづった大坂さんである。優しき人の回復を祈っている。

2021・6・2

2021年6月2日神戸新聞「正平調」より

６月の更新時に神戸新聞に掲載された２つの記事のコラムに目が留まりました。

「大坂なおみさんの会見拒否と縄文の世界遺産登録」

全く異質な話題のようですが、「今　人が人として一番大事なことを思い起させてくれる」のではないかと。。。。

大坂なおみさんの語録「スポーツ選手である前に　一人の人間として大事なことがある」が今回の行動の根に

日本の縄文も同じことを教えてくれた。人が人である所以「他人を思いやる心」

いま日本が一番忘れ去ろうとしていることにゆっくり考えねば…・・と。

思い起こすと広く一般の人達の心をとらえた20年近くにわたる縄文遺跡の世界遺産登録運動

私もよく言う「心優しき縄文人のやさしさ　他人を思う心／他利・分かち合いの精神」。

素晴らしい多様な文化を育み、世界に類のない１万年の長きにわたる永続社会を築き上げた日本の縄文。

「日本人が狩猟採取の原始の生活『縄文』を学んでどうするねん。私たちの祖先は朝鮮半島から文化を持って渡ってきた渡来の弥生人」と言われ、教科書からも消えてしまった時代もありました。

でも遺跡発掘とともに、粘り強く縄文を学ぶ一般の人たちや学者たちの輪が広がる中で、縄文の素晴らしい文化が次々と解き明かされ、世界文明にも匹敵する世界に類のない森の文明であることも明らかになった縄文の社会。

狩猟採取の定住社会を解き明かした各地の縄文の居住跡やストーンサークルなどの遺跡遺構・遺物の数々。
青森三内丸山遺跡の出土も大きかった。また、大ブームを巻き起こしたヨーロッパや国立博物館等での縄文展もありました。
人類が幾多の困難を克服し、今に至るまで生き延びてきた道の根底にある精神文化を示してくれる遺物・遺構が今も数多く残っていて、現代の人々に問いかける日本の心の故郷が「縄文」である。
原点回帰　おりしも今　コロナ禍の大苦難の中で、それぞれに生きる道を問いかける貴重な遺産であろう。

一方　大坂なおみさんが全仏オープンの試合後の記者会見を拒否したことの是非が大きな話題になっている
「大坂なおみさんのテニス全仏オープンの会見拒否」
また、TV 他マスコミが勝手なつくり込みで騒ぐだろうなぁ。そして目をキョロキョロ「風を読む」
世論の論調に日和って、さも正論がごときに言うことをかえるだろうなあと。
こんな構図を何度みたことか・・・・
ことの是非はそれぞれの立場としての論があるだろう。
でも　大坂なおみさんにトップの孤独を見る。
みんな仲間と思っているのに後ろにだれ一人いない。　ただひとりで大きな権威に立ち向かわねばならぬ
聞こえてくる声は「みんなそうゆうゆうてるよ　右も左も目をきょろきょろ　空気をよまねば」との付和雷同派のいかに多いことか…。
トップが感じる孤独　トップの象徴的な姿に映る。負けるなよ!!
健康取り戻してまた、頑張ってほしいと。

かつて大坂ナオミさんが示した「選手である前に　ひとりの人間である」との姿勢の延長。譲れないのだ。
一方　すぐ頭に浮かぶのは「マイク片手に公器・正義や　みんなついている」とばかり、なんの思慮も頭も働かさず、どかどかと土足で踏み込むやからたち。「芸能人と報道の境がなくなってしまった日本。　世界もそうなのか…」
産業界・政治家・スポーツ界・産業界等々　一個人ではひとたまりもなし。
こんな構図　日本も世界も最近はますます多く、歯止めが利かぬ。
なんでもかんでも、根拠は「みんな　言うてるやん」と仲間に振り、その代表を標榜する。
一握りの権力者に握られ、なんの思慮もない取り巻きが上記のふるまい。
こんな古い体質には　本当におさらばして、若者たちにバトンを渡せ!!と。
いま、ちょうど日本の縄文が世界遺産になる。忘れてはならぬ人間のもつ本性「他人を思いやる心の優しさ」

思わずナオミさんへ　　God be with you !!
我が道を大切にと。　また、日本の縄文　世界遺産登録も今後、一大産業として牛耳られぬようにと祈る。
でも　まだまだ縄文を知らない人も多い。世界の人に縄文をもっとしってほしいと

参考 1. 【2014.　6 月　From Kobe 】「利他的精神」について　朝日新聞天声人語より
競争社会から成熟社会へ　日本に必要なのは「心の優しさ」では
https://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1406B.pdf

参考 2.　〈NHK 取材班「Human」　視聴・購読メモ「なぜヒトは人間になれたのか」〉
1. 視聴・購読メモ　「ヒューマン　なぜヒトは人間になれたのか」
2. 補足メモ 人間を人間たらしめているもの「分かち合う心・通わせる心
https://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron03.pdf

参考 3.　北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざして
公式ページ　北海道・北東北の縄文遺跡群 の世界遺産登録をめざして
http://jomon-japan.jp/

fkobeR03 07. pdf

【From Kobe ７月 】 ７月の便り by Mutsu Nakanishi 2021.7.18

恥ずかしいのですが、６月21日 踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院加療中の毎日。
やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心しています





やっと梅雨があけ、清清しい朝を迎えていますが、いかがでしょうか
新型コロナ蔓延急拡大の中で開かれるオリンピック　何か素直に喜べぬ大会に。
政府は何もかもええ加減で、コロナからわが身を守るのも　もう慣れ、疲れ果ててあきれはてる毎日
田中均氏によれば「説明しない　説得しない　責任取らない　3S 政治」というそうですが、
オリンピック後のポストコロナの日本がどうなるのか、心配な毎日です。
これから高齢者には厳しい夏を迎えますが、お互いスクラム組んで助け合いながら、
前向いて乗り越えましょう。

恥ずかしいのですが、６月21日 踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院加療中の毎日。
やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心していますが、地面に踵を付けられず車椅子での生活　まだあと１ヶ月程度かかる見込みと医者やリハビリの理学療法士さんから言われています。
片足が地面につけられぬのが、こんなに不便とは思いもよらず。
またコロナ禍の中なので、病院内面会もシャットアウトで完全な雪隠詰めの生活です。
もっとも加療といっても骨折箇所の自然治癒を待つ「日にち薬」。歩けず動かせない下肢全体の関節・筋力のトレーニングと歩くためのリハビリの毎日で、もっぱら病室・病院内観察の日々。
快適とは言えず、もう飽き飽きですが、いたって元気に過ごしています。
この７月の便りも暇に任せて持ち込んだ Book-PC で発信しています。
整形外科のリハビリ病棟　若く明るい看護師さんや理学療法士さんにかこまれていますが、患者はほぼみな後期高齢者大変です。ベットから眺める病院観察も手に取るよう。入院経験のない私には結構面白い。
緊急入院で隣に寝てた人が翌日昼過ぎ、服に着替えて退院すると出て行って大騒動。そのあと警察も来て、どうもコソ泥の類のようだ。また　さっきまで元気に気炎を上げていた爺さん　夜中胸が痛いと言い出し、心筋梗塞。救急隊もやってきて、専門病院へ移送。　こんなこともありました。
ワクチン摂取も完了　PCR 検査も陰性　血液検査も OK　足首骨折部のレントゲン・超音波・MRC検査での回復具合も順調。しいて言うなら食事　めちゃめちゃまずい。持ち込み差し入れももシャットアウトです。
まだまだ　色々目を白黒したことありますが、とりあえず、そんな中で元気に加療中です。
時間もたっぷりあり、暇に任せて「和鉄の道・Iron Road」HP を見返しながら手入れをしています。
添付は病院の中で整理した中から　７月の見聞録です
なお、こんな事情で今和鉄の道ホームページの更新ストップしていますが、お許しください。
これからオリンピック騒ぎの中でのコロナ禍　酷暑の夏を迎えますが、
どうか無理せず御身大切にお過ごしください。
８月末までには退院でき、また　和鉄の道・Iron Road HP の発信できると思いますので
それまでお許しください。

God Be With You!!

2021.7.18.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

リハビリ加療の合間に　病室で暇に任せて整理した６・７月　From Kobe 見聞録の資料
特に何もなく私的なものばかりですが、お暇なときにどうぞ。

◎　和鉄の道Home Page Top　６月更新のままで　現在ストップしています　お許しください
https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/

【交信記録資料】ダイレクト配信資料　インターネットファイルとして記録保存しています

1.　和鉄の道・Iron Road 「鉄の惑星地球」　鉄はどんな金属・・・どうして作るの?　2021.7.10
永田和宏著「人はどのように鉄を作ってきたか　４０００年の歴史と製鉄の原理」2章　抜き書き
https://www.infokkkna.com/ironroad/tatara/Tetsu-donnakinzoku.pdf
鉄について　わかりやすい解説をされていた永田和宏先生のBookを見つけ、その中の鉄の歴史の部分を抜き書き掲載させていただきました

2.　新型コロナ蔓延の梅雨時　From Kobe　Mutsu Nakanishi 踵骨折加療中日記　より
インターネットで見つけた６・７月新聞インターネットの記事より
https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/2021mutsu/fkobeR0307-Toubyouki.pdf

2.1.コロナ禍に　心に響く金子みすゞの詩　ひさしぶりの山口県長門仙崎の街と金子みすゞの詩
NHK ウイークエンド関西　2021.6.26.朝放送より

2.2.　夏の京都を襲う「丹波」「山城」「比叡」の3兄弟とは?
2021.7.11.　辻　智也　京都新聞 & まいどなニュース　より

2.3.　コロナ禍の話題　　桂文珍　落語見聞録【1】【2】
神戸新聞　文化面　2021.6.10.& 2021.7.2021.7.14　より

2.4.　コロナ禍の中で「阪急と阪神」定期券客の減少率を調べて分かった!
2021.7.4.　まいどなにゅース　　新田浩之　　より

2.5.【現代ビジネス】日本にはコピペで盗めぬOnly ONE 技術がある
日本の「お家芸　製造業」実はここへきて「圧倒的な世界１位」になっていた
大原博(国際投資アナリスト)　2,021.7.　１１　インターネット配信

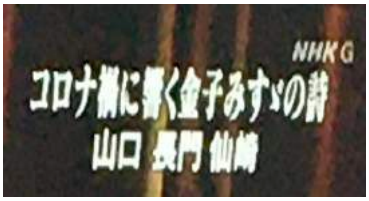
2.6.　崩れだした日本の民主主義統治　選挙が最後の砦!!
田中均　毎日新聞「政治プレミアム」2021.7.14.　より

やっと梅雨があけ、清清しい朝を迎えていますが、いかがでしょうか
新型コロナ・酷暑・厳しい日々の生活　高齢者には厳しい夏を迎えます
仲間の元気はみんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声を上げて!!
お互いスクラム組んで助け合いながら、前向いて乗り越えましょう。
また　笑顔で会えるのを楽しみにしています
God Be With YOU!!
2021. 7. 18.　　Mutsu Nakanishi

返信・連絡は右記メールアドレスにお願いします　　zp4m-nkns@asahi-net.or.jp







久しぶりに見る山口県長門市仙崎の町の映像と
金子みすずの優しいまなざしの詩が映像で
2021.6.26. 07:45　NHK ウイークエンド関西で

コロナ禍のアメリカで　大きな反響を呼んでいる
金子みすゞの詩「積もった雪」　　2021.6.26.



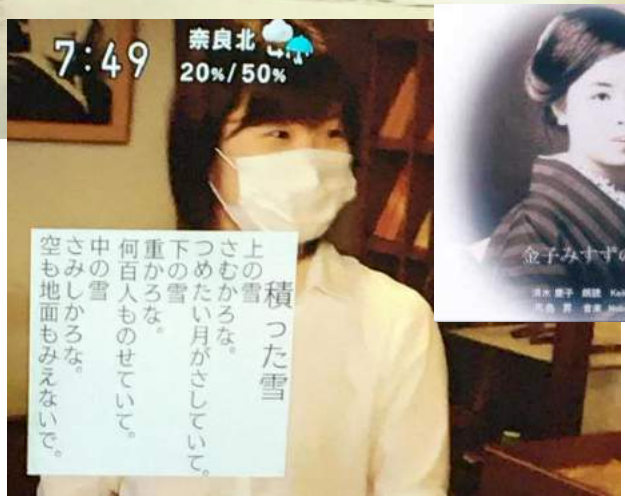
積もった雪　　金子みすず

上の雪
さむかろな。
つめたい月がさしていて。

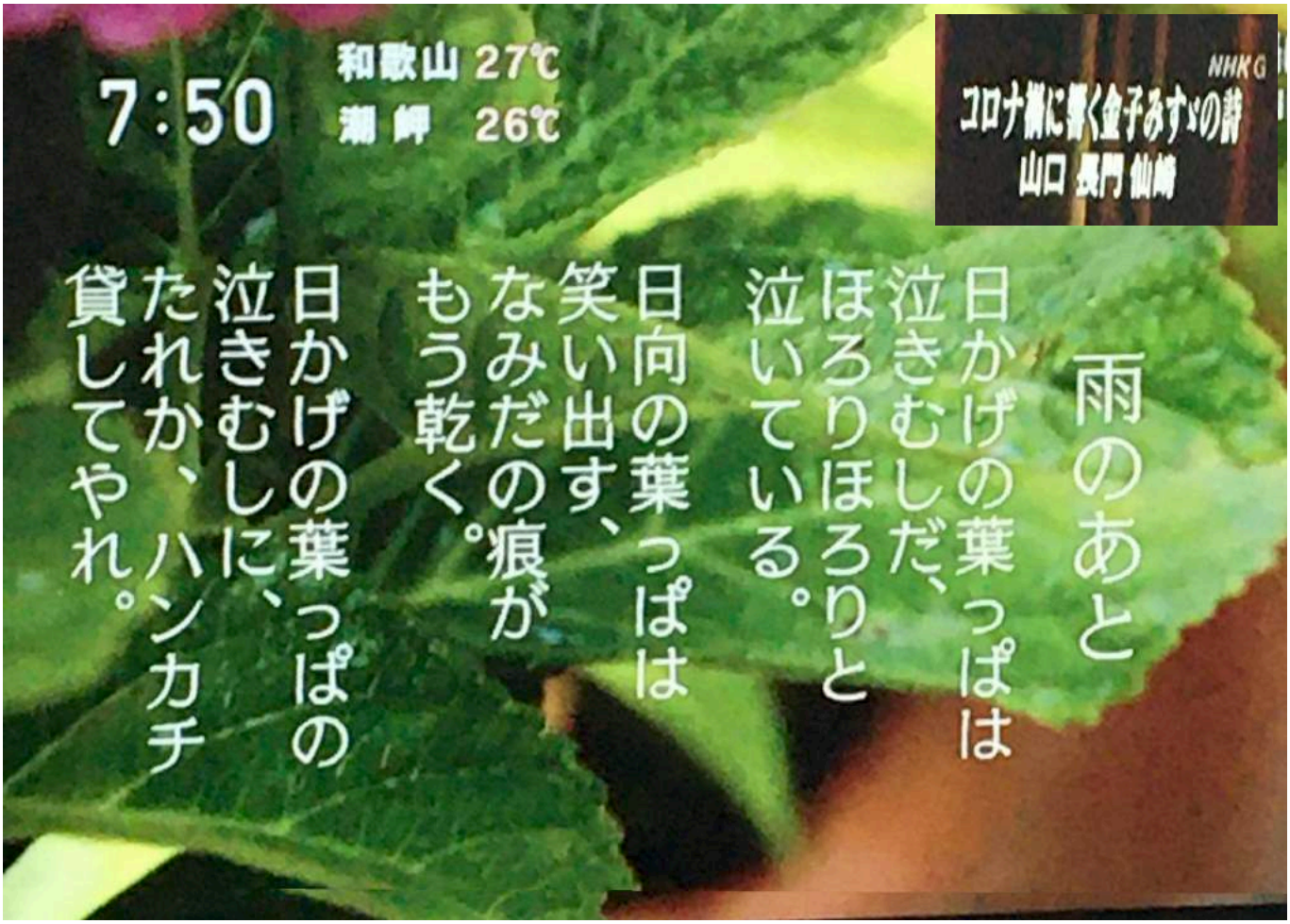
下の雪
重かろな。
何百人ものせていて。

中の雪
さみしかろな。
空も地面もみえないで。









コロナ禍の中で、金子みすゞのこんな詩も紹介されていました



NHK ウイークエンド関西　2021.6.26.朝
コロナ禍に響く金子みすずの詩　を聞いて

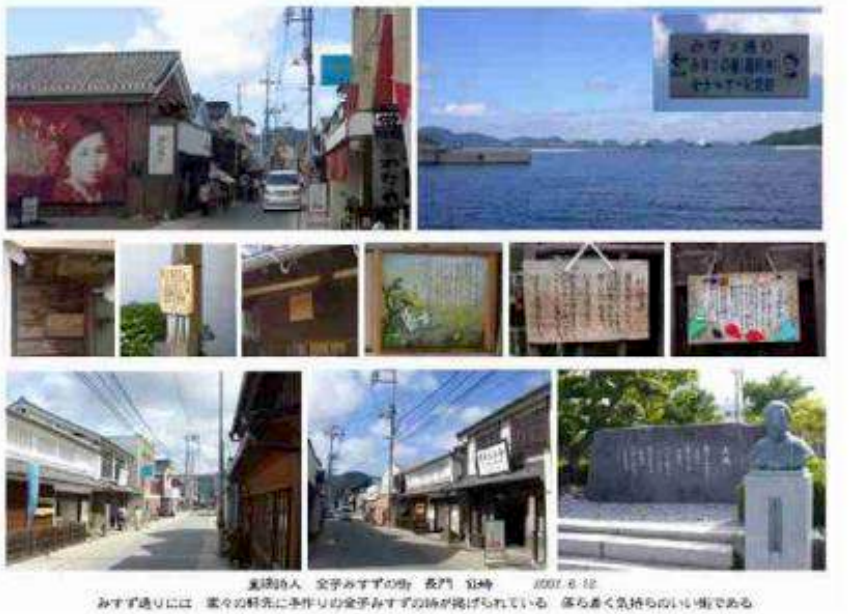
かつて山口県の内陸ど真ん中美祢に約6年間赴任。美祢のすぐ北隣の日本海長門
日本海の美しい景色と共に、漁師町長門仙崎に生まれた詩人金子みすゞの詩の
優しいまなざしとその詩を書いた札を門前に飾る「長門市仙崎」の町に感激して
よく通いました。
コロナ禍のアメリカで　金子みすゞの詩「積もった雪」が公共放送で放映紹介され、
大きな話題になっているという
金子みすゞの優しいまなざしがあふれている「積もった雪」の紹介もインターネットで
見つけましたので合わせて紹介　その理由の視点が実に詩にマッチして優しい。

「上の雪、下の雪、中の雪、それぞれに、さむかろな、重かろな、さみしかろな」と。
上の雪には　つめたい月が差しているから、寒いだろう。、
何百人も乗せているから、一番下は重いだろう。
真ん中はといえば、空も見えないし、地面も見えないから、さみしいだろうなぁ。
そして　先駆けで降る雪は、一番下で支えてくれている、

真ん中の人たちは、精神的にけっこうきつく　地面も空も見えないから、
初心を忘れてしまいやすいし、上に下へと人間関係が一番キツイのではないだろうか。
そして、一番最後に降って来た新米者はいつも吹きっさらしの風、
昼は太陽の熱にさらされ真っ先に解けていくさだめ。
雪を擬人化して、ここまで優しく描けるみすゞの世界・
子どもから大人まで無垢になれる精
神に満ちている」と　栗原まゆみさんブログ
ILOVE　THE WORLD & APAN　金子みすゞの世界「3」　積もった雪　より

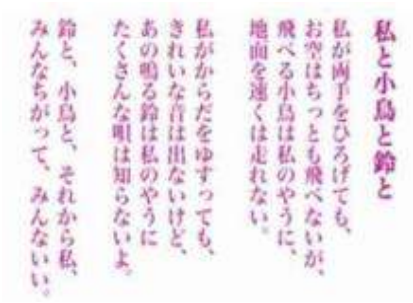














積った雪

上の雪
さむかろな。
つめたい月がさしていて。

下の雪
重かろな。
何百人ものせていて。

中の雪
さみしかろな。
空も地面もみえないで。

こんな詩もあるんです。

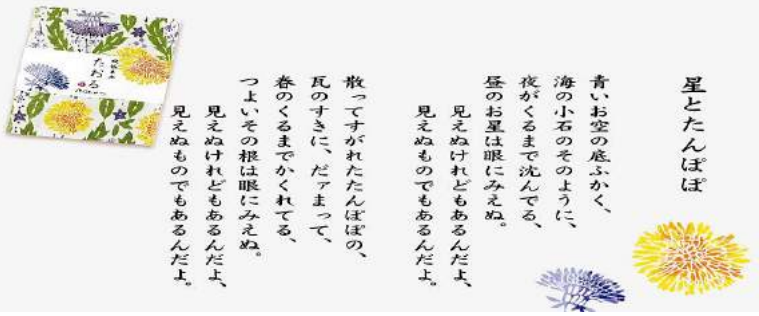
『ふしぎ』

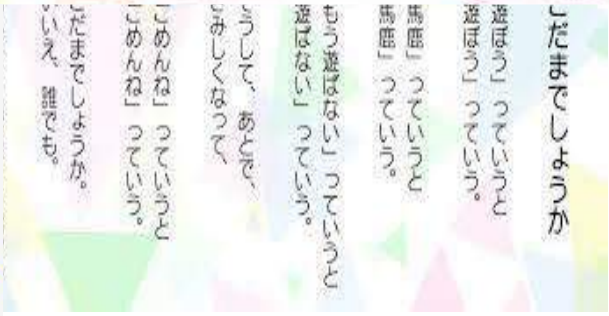
わたしはふしぎでたまらない、
黒い雲からふる雨が、銀にひかっていることが。
わたしはふしぎでたまらない、
青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが。
わたしはふしぎでたまらない、
たれもいじらぬ夕顔が、ひとりでばらりと開くのが。
わたしはふしぎでたまらない、
たれにきいてもわらってて、あたりまえだ、ということが

詩の中に見る金子みすゞのまなざし



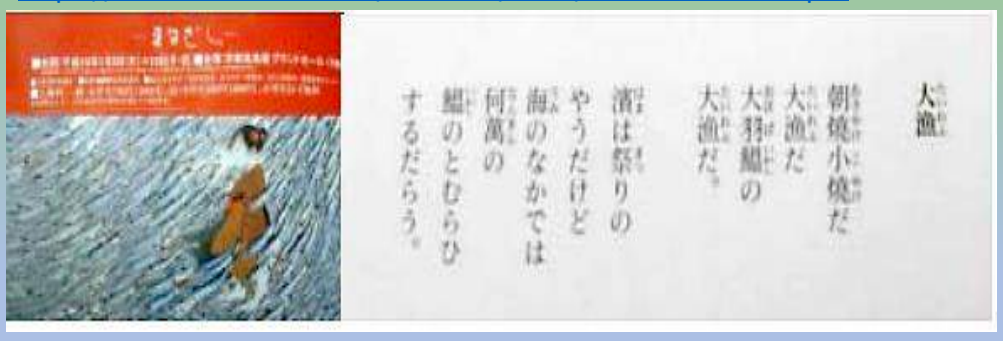






参考まで　「風来坊　Country walk」　【山口・美祢・長門の四季】
長門市仙崎　金子みす鈴の街　掲載記事記録
by　Mutsu Nakanishi　2021.6.26.

1. 久しぶりに童謡詩人「金子みすず」の街　長門市仙崎を訪ねました　2007.6.
   https://www.infokkkna.com/ironroad/dock/walk/5mine02.pdf
2. 【写真アルバム】久しぶりに京都のお寺の中をゆっくりと　2012. 2.21. & 2.22.
   清水寺奉納　46枚襖絵　風の画家中島潔が描く「生命の無常と輝き」展
   https://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/2012walk/12walk02.pdf
3. 2003. 2 月 From M. Nakanishi 2003.2.1.
   2.3.　中島潔 童画展「 金子みすず －まなざし－」を見る
   山口県長門 仙崎 不遇の詩人 金子みすず　2003.1.4. 京都にて
   https://www.infokkkna.com/ironroad/book/bookmutsu2003.pdf　P7



4. from kobe 2010. 9月　なにか　日本がおかしい　P2.金子みすず の詩
   https://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1009.pdf P2

〈 まいどなニュース 〉 https://maidonanews.jp/article/14390505

夏の京都を襲う「丹波」「山城」「比叡」の３兄弟とは
近年は都市化でさらに弟が２人増！？

2021.07.11(Sun) 辻 智也　京都新聞



積乱雲による局地的な豪雨に見舞われる京都市街。この日は、比叡山付近で積乱雲が発達し、左京区北部で大雨となった（２０２１年6月２３日、京都市中京区の京都新聞社屋上から北東方向を撮影）



京都をめがけてやってくる積乱雲の5兄弟。近年は都市化で「四郎」「五郎」が登場しているとい

京都市は、全国的に見ても夏の雷が多い。古くから「丹波太郎」「山城次郎」「比叡三郎」と呼んで、突然の雷雨に注意を促している。

「積乱雲３兄弟」はそれぞれ、名前の方角から京都をめがけて来襲し、激しいゲリラ豪雨をもたらす。

丹波太郎たちは、真夏の日差しと上空の寒気によって生まれる。まず、強い日射で地面近くの空気が暖められ、上昇気流が発生する。このとき上空に寒気があると、「軽い暖気」と「重い冷気」が激しく対流を起こし、積乱雲の卵ができる。複雑な地形の方が対流は起こりやすいため、丹波太郎の故郷は兵庫県北部の山地、山城次郎は奈良県北部の山地が多い。

なぜ、それぞれ京都市をめがけてくるのか。]

京都の積乱雲を長年調べている気象予報士で光泉カトリック高（草津市）講師の村山保さんは「上空の風向きが行き先を左右している」と説明する。

夏の太平洋高気圧が西日本に強く張り出すと、京都府の上空５千メートル付近は西～北西の風になる。丹波太郎はこの風に乗り、発達しながら福知山市や南丹市などを経て京都市に向かう。標高が低い亀岡盆地で一時衰えるが、愛宕山（924 メートル）を越えるときに再上昇して勢いを取り戻し、京都市街は激しい雷雨になる。

一番高い山を越えてくる長男の丹波太郎が威力も一番激しい。京都盆地で衰えず、大津市まで進んで豪雨をもたらすこともある。 一方、山城次郎と比叡三郎は、夏の高気圧が張り出し、かつ東シナ海付近に低気圧がある時にやってくる。このとき、上空５千メートル付近は南～南東の風が吹き、奈良県北部や滋賀県南部で発生した積乱雲が流れてくるという。

近年、３兄弟に弟２人が誕生している。

“四男”の「桃山四郎」は、２年前まで村山さんが顧問を務めた桃山高（京都市伏見区）グローバルサイエンス部の生徒たちが存在を確認した。丹波方面から来た積乱雲の卵が、京都市街の都市熱によって徐々に発達し、伏見区桃山付近で積乱雲となり雨を降らせ始める。

３ 兄弟に比べて出現頻度は低い。しかし、いったん現れると次々に同じ場所で発生する特徴があり、兄たちより長く雨を降らせ、京都市南部や宇治市で浸水害の恐れが高まる。

　また、大阪から淀川沿いに京都へ向かう「田辺五郎」という“五男”も気象関係者の間で認識されている。む大阪市や近郊の都市熱で発達しているとみられる。「現代っ子」の積乱雲も、夏の新たな脅威となっている。

コロナ禍の話題　2021.6.10.　桂文珍　落語的見聞録【1】
ワクチンも ”毒見 “してから





落語的見聞録

桂文珍

ワクチンも”毒味”してから?

緊急事態宣言がまた延長された。記者会見でも国会の答弁でも「専門家の意見を聞きながら対処して参りたいと思います」と聞かされる方はウンザリ。政治のリーダーシップはどないなっとんねん！と思っているのは私だけではないと思う。

いよいよオリンピックがほど大変かと思う。選手全員に金メダルをあげてほしいくらいだ。

そのワクチン、ついに私のところにも接種の案内が来た。高齢者にはインターネットでの申し込みが難しい。どうするのかと思っていたら、接種申し込みお助け隊なるものがあると知り、早速、区役所に出掛けたら、実に親切に学生のアルバイトらしき若者が、タブレットでサクサク、予約を取ってくれた。その指の動きの速さ、驚いた。私のような年齢になると指が乾燥してタブレットが反応しないことがある。素晴らしい！

そしてペンを持って、場所と時間を用紙に書いてくれたが、これが字がマルイ、小さい、下手。やってもらって申し訳ないが…。きっとメールばかりしているから字を書くこともないのかも…。時代を感じた。

妻も予約に行ったが、私より数日後らしい。何でも、私に副反応がないのを確認してから自分も打つ、とのたまう。参ったなあー。

落語「河豚鍋」。旦那がフグを手に入れたが、別名をテッポウというぐらいよく当たると聞いてて、怖く食べられない。捨てるのは惜しいので、出入りの男に毒味をさせようと、フグだと隠して与える。様子を見に行くと、男はフグを食べ終えたらしく、腹いっぱいで居眠りをしている。これなら大丈夫と旦那、フグを食べると…これがうまい！鍋が空になるまで食べた時、出入りの男がやって来た。「旦那は先ほどのナベ食べましたか？」「食べた」「何ともなかった？」「うまかった」「じゃあ私も帰って食べよう」

やっぱり芸名、文珍やめてワクチンに変えようかなあ…。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は7月8日＝

神戸新聞　2021.6.10.朝刊より
文珍さんのこんなコラムにニコリ

今週から新開地「喜楽館」での昼席も再開されました。
新型コロナの収束はみんなの願い
ちょつと一服　頑張りましょう

コロナ禍の話題　2021.7.8.　桂文珍　落語的見聞録【2】

天災なら腹は立たぬ・・・コロナは?

桂文珍落語的見聞録

神戸新聞　7月8日朝刊 文化面

（第3種郵便物認可）

文化

落語的見聞録

桂文珍



「ワクチン打った?」があいさつになっている最近ついに、というか、やっと、というか私も指示された会場でのワクチン接種を終えた。会場に入るなり「わあー年寄りばっかりや」と口には出さず心でつぶやいた。

昔、老人ホームに入っているおじいさんが「ここは年寄りばっかりじゃ」とおっしゃっていたその時「アンタもや!」と心の中でツッコミを入れたことを思い出し、人は自分のことは見えないものなのだと改めて思うようなことだった。会場ではスタッフがテキパキと案内をしてくださり注射も痛みを感じることもなく、あっという間に終えた。二回目の接種の予約をして戻った。若い人たちは腕が上がりにくいということもあるようだが、私は何ともなかった。やはり高齢者なのだ。家に戻ると、家内が「どやった?」と聞くので「年をとっているせいか、何ともないで…君も…」と言いかけて二、三の言葉を飲み込んだ。言葉選びは難しい。

天災なら腹は立たぬ…コロナは?

後日、毎年恒例になっている独演会の記者発表をした。今年は8月8日でなんと39回目、こんなに続いている独演会はないだろう。今年のサブタイトルは「笑いの集団接種」。ファイザー文珍、ゲストはついに先輩のモデルナ文枝の混合接種で大いなる抗体をつくっていただき、免疫力を高めていただこうという狙いだ。まるでゴジラ対キングコングの映画のようで強力な2人、副反応はマスクの中で口角が上がり、電車の中で思い出し笑いをする、などと発表をしたら記者さんが「2人での落語会は初めてですか?」の質問。私「もちろん、初めて。お会いするのも初めてです!」の答えに記者さん笑ってくださった。それにしてもワクチンで集団免疫がつけば、世の中の流れも変わってくるのでは、と期待をしている。

落語「天災」は気が短くてけんかばかりしている男が主人公。自分の母親までに手を上げるようではいかんというので、ご隠居さんから、紅羅坊奈丸先生のところへ行って心学を教わってきなさい、と言われ行く。「短気は損気」「ならぬ堪忍、するが堪忍」「何事も天災とあきらめれば腹は立たぬ」と教えられ「そうか天災か」と感心して帰る。すると隣の梅やんが女房と別れた前の女房の3人でもめている。仲裁に入った短気な男。「何事も天災とあきらめろ」「何を言う!今、もめているのは先妻だ!」と分かりやすい喩。果たしてコロナは天災か?

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は8月13日＝

コロナ禍の中でちょっと一息

2021.7.10.



神戸新聞7月7日夕刊

イイミミ

(078)360・5533

◆やっと予約できたのに



ショックです。新型コロナワクチン接種の予約をした病院から「ワクチンがないので、12日以降の予約は取り消すよう市から言われた」と電話があって。5月の連休明けから3、4日電話をかけ続け、ようやく予約できて今月14日に1回目の予定だったのに。えーっ!ですよね。私は80歳前、主人は75歳の後期高齢者夫婦です。今後いつ打てるか分からず、また新たに申し込むようにとのこと。大きい会場に行くのは不便やから、次もかかりつけ医で予約したいんで「お助け隊」に頼もうかと。それにしても、この日本のやり方、どうなんですかね。（神戸・西、主婦、79）

From kobe　７月　　インターネットを眺めていて　コロナ禍の中で

〈まいどなニュース〉より　「阪急と阪神」定期券客の減少率を調べて分かった！

テレワークの影響が出やすい路線・出にくい路線　　2021.7.4.　新田 浩之

コロナ禍　山手を走る阪急と海岸近く古い下町の中を走る阪神電車の特徴が出ています

https://maidonanews.jp/article/14383417



阪急神戸本線沿線には住宅地が広がる



工業地帯と古い街並みの中を縫って走る阪神電車

コロナ禍になり「テレワーク」や「ステイホーム」が日常語として定着し、様々な影響を与えています。特に鉄道会社はテレワークの普及により、定期券客の減少に頭を悩ませていますが、定期客の減少率を見ると鉄道会社の間で差があることもわかります。なぜ差が生まれるのか、その原因を並行して大阪―神戸間を走る阪急神戸本線、阪神本線の沿線環境から考えたいと思います

阪急電鉄も阪神電気鉄道もコロナ禍により、定期客は大幅に減少しています。2020 年度の阪急の定期客は 27 万 7068 人となり、前年比－19.6%です。一方、阪神の定期客は 10 万 7336 人となり、前年比－15.9%。大手私鉄 16 社の中では「マシ」といえます。

定期券客の減少率が少ない方を上位とすると、何と阪神は 1 位、阪急は 6 位です。

参考までに最も減少率が大きかったのは東急電鉄となり、前年比－33.7%でした。

定期客の 2020 年の減少前年比　阪神　-15.9%　　阪急　-19.6%　東京都心を走る東急　-33.7%

一方、定期券外客を比べると話しは変わります。

阪急は前年比－33.0%、阪神は前年比－35.7%となり、定期券客よりも減少率が大きいことがわかります

バラツキが見られる業種別テレワーク普及率

ところでテレワークはどのような業種で進んでいるのでしょうか。

総務省が 6 月 18 日に発表した「令和 2 年通信動向利用調査」による産業別のテレワーク導入状況（2020 年 8 月末時点）は　情報通信業 92.7%、不動産業 68.1%、金融・保険業 67.6%、製造業 56.1%、運輸・郵便業 30.4%となっています。

総務省「令和 2 年通信動向利用調査」　産業別のテレワーク導入状況（2020 年 8 月末時点）

情報通信業 92.7%、不動産業 68.1%、金融・保険業 67.6%、製造業 56.1%、運輸・郵便業 30.4%

やはり現場の仕事が多い製造業や運輸・郵便業は情報通信業や不動産業と比べると遅れをとっていることがわかります。

また資本金規模別に見ると 50 億円以上が 83.7%に対し、1000 万円未満は 19.1%にとどまっています。

この記事の筆者は阪急・阪神の通勤定期券乗客の増減をこの時期のコロナ禍対策として取られたテレワークの実施と関連ずけて、下町を走る阪神　山手を走る阪急の性格が出ているとみる。

また、モノづくりや運輸産業や中小企業ではテレワークの実用が難しいことも見えてくる。

鬼の首を取ったようにテレワーク　テレワーク　働き方改革という政府・官僚たち。
彼らには日本を支えるモノづくり企業や運輸など日本そして企業を支える現場　そして大企業にしか見えないようだ。
今その日本の大企業群の没落がだれの目にも見える時代に。
ポストコロナの時代を支える日本の産業群をどう考えるか・・・・・
そんなものも見え隠れしているように思える。
野球ではないが、阪神も阪急もそしてその沿線に暮らす人と街。
何がポストコロナの時代を支えてゆくのか　みんな頑張ろう。

2021.7.15.　From Kobe Mutsu nakanishi

<まいどなニュース>より

つり革を持っていないと、加速でこけてしまいそう！？
40 年選手…まだまだがんばる昭和版「ジェットカー」
阪神電車の地元密着　オンリーワンの技術　阪神の普通電車通称「ジェットカー」

https://maidonanews.jp/article/14127516

大阪と神戸を結ぶ阪神電気鉄道には加速にすぐれる普通電車があります。
地元では「ジェットカー」という名称で知られ、現在も元気に活躍しています。
40 年選手、昭和版「ジェットカー」5001 形の魅力に迫ります。

体が横から押されてしまう普通電車？

5001 形は 1977 年にデビューし、阪神本線（大阪梅田駅～元町駅）の普通電車を中心に活躍してきた通称「ジェットカー」。2021 年 1 月時点においても新型車両に交じり、阪神本線で元気に活躍しています。



1977 年にデビューした「ジェットカー」5001 形

5001 形は「普通の電車」に見えますが、実は加速・減速にすぐれたすごい電車で、「ジェットカー」と呼ばれてきました。5001 形の加速度は 4.5km/h/s、つまり 1 秒間に速度が 4.5km/h 上がります。
一般の通勤電車の加速度は約 3.0km/h/s なので、5001 形は 1.5 倍も加速力が高いです。
始発駅の高速神戸駅から 5001 形に乗ってみました。加速すると体が横に押されるような感覚に。
つり革を持っていない状態で立っていると、バランスを崩してこけてしまうかもしれません。
5001 形の加速の良さは実際に乗車するとすぐにわかるので、ぜひお試しください。
なお新型「ジェットカー」は乗り心地が改善されているため、体が横に押される感じはあまりありません。

なぜ阪神電車は「ジェットカー」を走らせているのでしょうか？

大阪～神戸間には JR 神戸線と阪急神戸線が走っていますが、答えは駅が多いことにあります。
JR 神戸線は大阪～三ノ宮駅間約 30 キロに 15 駅、阪急神戸線は大阪梅田～神戸三宮駅間約 32 キロに 16 駅
一方、阪神本線（大阪梅田駅～神戸三宮駅間約 31 キロ）には倍の 32 駅
駅間の平均距離は約 1 キロしかありません。しかも阪神本線には特急や快速急行などの速い電車が走っているため、普通電車がノロノロ走ることはできません。
普通電車は少しでも速く走り、主要駅で特急や快速急行に道を譲る必要があります。
そのため阪神の普通電車には「ジェットカー」と呼ばれる加速・減速性能がすぐれた電車が投入されているのです。

昭和な阪神電車を感じられる 5001 形

5001 形の魅力は単に加速・減速がすぐれているだけではありません。今となっては懐かしい「昭和な阪神電車」を感じられる電車です

まずはクリーム色と青色の塗装に注目しましょう。かつての阪神電車は特急などに使われる急行系車両は赤色とクリーム色、普通系車両は青色とクリーム色となっており、それぞれ「赤胴車」「青胴車」と呼ばれていました。

しかしリニューアル工事や新型車両の登場により次々とモダンな新塗装に。気がつけば昭和時代から続く「青胴車」は 5001 形のみとなりました。

首都圏ではなかなか見かけなくなった方向幕も健在です。

2019 年 10 月に「梅田駅」から「大阪梅田駅」になりましたが、方向幕は「梅田」のままです。

車内は座席の色は変わったものの、基本的にデビュー当時の姿です。若草色の壁がかつての阪神電車の標準仕様。新型車両とは異なる落ち着いた雰囲気を醸し出しています。

車端には日章旗を入れる金具、アナログ気温計、「禁煙」プレートの３点が昭和ムードを高めます。阪神電車は現在でも祝日なると車端部に日章旗を掲げます。窓も開くので換気もばっちり！　これだけしっかりと窓が開いていると、混雑した車内でも少しは不安が取り除かれるのではないでしょうか。



青色とクリーム色の塗装も 5001 形のみに



関西私鉄でも方向幕は少なくなりつつある



若草色が車内を落ち着いた雰囲気に



車端部は昭和レトロなアイテムが目につく

引退が迫る 5001 形

阪神電車の資料によると、5001 形は 2023 年度までに新型車両に置き換わる予定になっています。2021 年 1 月現在、何本かやり過ごすと 5001 形に出会えるので、車内で横に押される体験をしたければぜひお試し乗車してくださいね。

昔、TV に出演して、道路と線路が並走するセンタープール前駅周辺で　１００m 走の覇者カールルイスの人形「おカール君」とジェットカーが競争して走ったのも懐かしい。

2021.7.14.　Mutsu Nakanishi



窓も開くので換気もばっちりだ

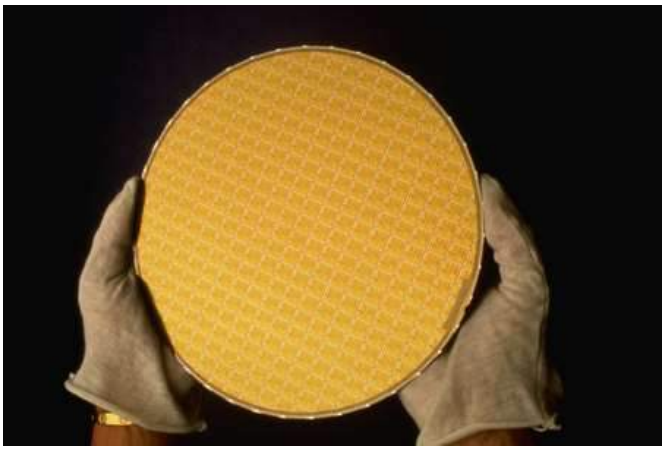
【現代ビジネス】　日本には コピペで盗めぬ only one 技術がある

日本の「お家芸」製造業、じつはここへきて「圧倒的な世界１位」になっていた！

大原 浩（国際投資アナリスト）　7/11 日８：02 配信

https://news.yahoo.co.jp/articles/64b8a4f4c258baa37616b57095ce15fe9010dca?page=1

日本の製造業「悲観論」を信じていいのか…？



写真：現代ビジネス

「日本の製造業が衰退している」ということが、ここ最近言われている。

確かに、４月28日の「東芝、マクドナルド、日産…日本企業をぶっ壊す『プロ経営者』たちのヤバい実態」、2019年８月６日の「従業員の不信を引きずったパナソニックに復活はあるのか？」で触れた、東芝、日産、パナソニックを始め、2012年に破たんしたエルピーダメモリ、シャープなどを見ると、高度成長・バブル時代に日本経済をけん引していた製造業は「いったいどうしたんだ？」と感じても不思議ではない。

大企業の主流を占める最終製品を製造する「み立て業」組において、日本企業の力が衰えているのは否定できない事実だと思う。 しかし、先端技術を駆使した製造業において最も大事なのは「組み立て」ではない。「材料」、「部品」、さらには「組み立て」を行ったり部品を製造したりするのに必要な「製造装置」である。この分野では、日本が世界を席巻していると言っても過言ではない。

だから、実のところ世界の製造業を牛耳っているのは日本だと言えるのだ。

分かりやすいのが、ひところ大量に流れた「インテル入っている」というCMだ。

当時は、現在よりもさらに多くのパソコン(組み立て)メーカーが雨後の竹の子のようにあふれていたが、殆どが過当競争と低収益に悩んでいた。　それも当然だ。最近では少なくなったが、黎明期には秋葉原にパーツを買いに行って「パソコンを自作」することは、少々の知識があればだれでもできた。

つまり、個人のパソコンメーカーを立ち上げることさえ簡単なのである。

それに対して、CPUなどの部品を自作するなどという話は聞いたことがない(天才技術者なら可能かもしれないが……)。

つまりパソコンの技術の核心は部品であるCPUにあるのだ。

「インテル入っている」という言葉も、「俺たちのCPUのおかげでこのパソコンは動いているんだぜ！」と聞こえなくもない……

日本企業は奥ゆかしいから、そのような大々的な宣伝はしないが、「日本がそっぽを向いたら」世界のどの国の製造業も成り立たないであろうことは、我々も良く理解するべきだと思う。

韓国への輸出管理規制の衝撃

2019年に、フッ化ポリイミド、レジスト、フッ化水素の３品目の韓国向け輸出管理規制が強化されたこと(参考:経済産業省「大韓民国向け輸出管理の運用の見直しについて」)に対して、韓国では「報復だあ！」と天地がひっくり返るほどの大騒ぎとなった。

もちろん、日本政府が韓国に対して輸出管理厳格化の措置を取ったのは「安全保障上の懸念」が存在したためで、それ以上の「報復」などの意味はない。左翼・文政権が、「共産主義中国の言いなりで、韓国に輸出した『高度製品』が、結果的に横流しされている」という疑念を、日本さらには米国政府が抱いたのは当然と言えよう。

重要なのは、「指でつつく程度」の輸出管理強化で、韓国があれほど大騒ぎしたことである。　2020年第４四半期のスマートフォン出荷台数の首位は数年ぶりに返り咲いたアップル。２位はサムスン、その後にXiaomi、OPPOと続き、５位は米国から厳しい制裁を受け大幅にシェアを減らしたファーウェイだ。アップルを除けば、中韓勢が圧倒的で日本勢の姿は無い。 しかし、彼らがスマホを製造(組み立て)するために必要な、前記、輸出管理規制強化３品目の世界

シェアは、日本勢が70～90%程度と圧倒的だ。中韓勢の「組み立てたスマホ」のシェアをはるかに凌駕する。
確かに「スマホの組み立て」では日本勢は中韓の後塵を拝しているかもしれないが、それらの製品は「ニッポン入ってる」であり、やろうと思えば(そのようなことをしないのが日本の奥ゆかしさだが……)中韓「スマホ組み立てメーカー」の息の根を止めることなど簡単なのである。
製造装置もシリコンウエハーも……
もちろん、日本の圧倒的なシェアは前記３品目だけではない。半導体製造に欠かせないシリコンウエハーメーカーの世界１位は信越化学工業、２位がSUMCO(旧・三菱住友シリコン)であり、この２社だけで世界シェアの半分程度を占めていると見積もられる。　ちなみに、３位は台湾のグローバルウエハーズ、４位はシルトロニック(ドイツの化学メーカーのワッカー・ケミーの子会社)、５位にようやく韓国のSKシルトロンが入る。
また、半導体製造装置メーカートップ10のうち、日本企業は東京エレクトロン、アドバンテスト、SCREENホールディングス、日立ハイテクの４社。トップ15社のうち日本企業は、この４社に加えてKokusai Electric(日立国債電気から2018年に独立、KKRファンド傘下)、ニコン、ダイフクの計７社である。
半導体を製造するメーカーの主要企業15社のおおよそ半分を日本勢が占めているわけだが、その他もほとんどが欧米系であり、中韓勢はほとんど見かけない。
さらにミライアルは、先端のプロセッサーやメモリーに使う直径300ミリの大口径ウエハー向けでシェア４割を握る。同社の出荷容器はポリカーボネート製で、特殊な音楽用CDケースに見えなくもないのだが、ナノレベルの水準で製造を行っている半導体にとっては、ごくわずかの埃(微粒子)でも大きな問題になる。
そのため、流通に使用されるシリコンウエハーのケースでさえ高い品質が要求されるのである。

高度なソフトは高性能なハードの上でしか動かない

我々が、普段パソコンやスマホなどを操作するときに接するのはソフトウエアである。
ソフトウエアのアイコンをクリックしたり、アルファベットや数字を入力したりするわけだ。また、その時に目にしているのは、パソコンやスマホなどの「箱」であり、それらを構成する部品ではない。ましてや部品の材料や製造技術でもない。
だから、我々がIT産業をイメージするときにはソフトウエアの比重が大きく、ハードと言っても「組み立てられた完成品=箱」程度しか思い浮かばないのはある意味自然だ。
ただし、それは「事実とは違う」ということをよく理解すべきだと考える。
インテル創業者の１人であるゴードン・ムーアが、1965年に自らの論文上で唱えた「半導体の集積率は18か月で２倍になる」という半導体業界の経験則=「ムーアの法則」に従って「ハード」が劇的に進化したからこそ、現在のIT産業全盛の時代がやってきたのである。　いくら高性能なソフトウエアが生まれても、そのソフトに対応する演算処理能力を持つハードがなければ、そのソフトは無用の長物にしか過ぎない。

ソフトウエアのようにコピペできないハードウエア

デジタルデータは簡単にコピペできる。誰もが簡単にマネができるからこそ、世界中に急速な勢いで広がった。　しかし、「ハードを製造する技術」は全く異なる。以前、富士重工からJAXA(宇宙航空研究開発機構)に出向していたことがある知人が、「製造業は、理屈通りにいかないから、試行錯誤の繰り返しだ」と言っていた。
デジタルは、組まれたプログラムのとおりに動くのが当たり前だが、製造業においては「理屈通りに製造しようとしても大概うまくいかない」からその数限りない失敗をフィードバックしながら完成に近づける「アナログ的」な手法が重要だということだ。
真空中であっても、厳密に言えば物質が生まれたり消えたりしているし、宇宙線は我々の体を常に通り抜けている。ましてや工場の環境の中で、純粋な物理学や化学の理論通りに物事が運ぶわけではない。 だから、工場の環境の中でどこまで「理論を実現できるか」が勝負なのである。
現在の製造業は、ステラケミファなどのフッ化水素の12N(99.9999999999%)以上の高純度精製化や、
「ナノスケール」の半導体製造に代表されるように「高純度化・微細化」が大きな流れだ。
ちなみに、原子や分子のサイズがおおむね「ナノスケール」である。つまり、ナノレベルの製造技術というのは、分子・原子１個を扱うことに匹敵する精度なのだ。このような微細な技術は日本のお家芸である。
なおかつこの「アナログ技術」をコピペで盗むことはできない。

世界は追いつけない

ソフトウエアであれば、１人の技術者にデータを持ち出されてしまえば一貫の終わりだ。

しかし、アナログの製造技術は、製造工程そのものという大きなアナログの枠の中に存在するので、技術者を１人２人引き抜いても簡単には追いつけない。

５月５日公開の「菅政権が『邪魔』ばかりするから『トヨタが日本を捨てる日』がやってくる…って本当か？」で述べた「ガソリンエンジン」で諸外国が日本にいつけないのもアナログ技術だからである。

また「水素エンジン」がにわかに脚光(同じ水素を使用する燃料電池車=「FCV」とは原理がまったく異なる)を浴びている。ガソリンエンジンの技術を応用できるので、いわゆる環境車でも日本勢が席巻する可能性がある。

このような実情を見ると、世界の製造業を仕切っているのが実は日本であることが分かる。

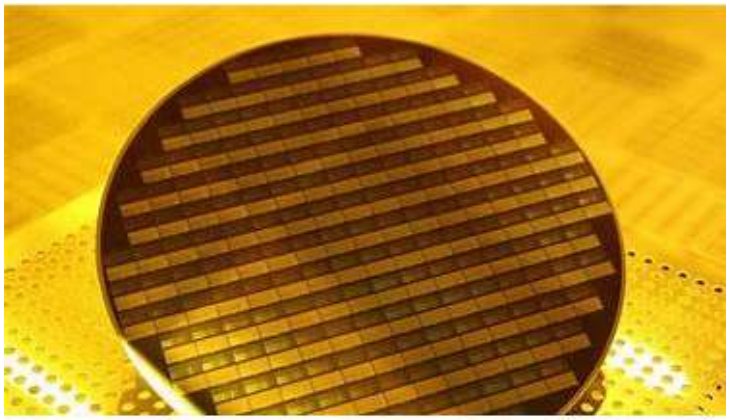
共産主義中国が繰り返すレアアースの輸出規制によって、かえって日本企業が代替方法を見つけ出すことを後押しした。同じように、日本が韓国に対して行ったような輸出管理強化を乱発すれば(安全保障上の懸念があれば致し方ないが……)、諸外国が日本製品の使用に警戒感を持ってしまうから、あくまで黒子に徹してシェアを広げるのは賢い戦略だ。

結局、日本はいつでも抜ける「伝家の宝刀」を持っているから、日本の製造業全体の将来について悲観的になる必要はないと考える。

大原 浩（国際投資アナリスト）

2021.7.12　インターネットより.採録　by Mutsu Nakanishi

【参考】世界に誇る only one へ　　半導体用の直径 300 ミリメートルシリコンウエハーの生産



信越化学が300mmウエハー増産へ、新工場も視野（ニュース...

信越化学工業は、2023 年以降に半導体用の直径 300 ミリメートルシリコンウエハーの生産能力拡大を検討していることを明らかにした。顧客各社と中長期の販売量について交渉しており、需要を精査した上で場所や生産量などを決定する。

【関連記事】

SUMCO が直径 300 ミリメートルウエハーの生産能力増強を決めた！

韓国部品で iPhone 不良発生、やっぱりフッ化水素の国産化は困難

自動車部品世界最大手のボッシュがシリコンウエハーの製造開始のワケ

ウエハー切断幅５分の１に、パナソニックと東京精密の連携技術がスゴい！

5G で半導体材料好調、需要拡大で化学各社が設備投資

崩れだした日本の民主主義統治 選挙が最後の砦 ||

日本総合研究所国際戦略研究所理事長　田中均｜毎日新聞「政治プレミア」　2021.7.14.

https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20210713/pol/00m/010/002000c



田中均氏＝根岸基弘撮影

今日の政治の特色は 3S だ。
3S とは「説明しない」「説得しない」「責任をとらない」という三つの S で始まる言葉で、今日の政治の問題点を表してみた（YouTube チャンネル「田中均の国際政治塾」より「長期政権で露呈した後手後手の“3S 政治”」）。

権力者が説明し、説得し、結果責任をとるというのは民主主義的統治の大原則だ。
安倍晋三前首相は、森友問題や加計問題、そして桜を見る会などで疑惑を持たれ、国会質疑で虚偽答弁をし、説明責任を果たすことなく辞任したが、その後、体調を回復し本格的に政治の表舞台に復帰したと伝えられる。しかし、説明責任を果たす考えはないようだ。

今日まで森友・加計・桜を見る会に加え、吉川貴盛元農相の収賄事件、河井克行元法相・河井案里元参院議員・菅原一秀前経済産業相の選挙違反事件など、政治の信頼を損ねる事件が頻発した。
　しかし、再発防止に取り組む動きも見られず、河井夫妻選挙違反事件に関連して選挙費用として党から配分された 1.5 億円にも上る多額の資金の問題も闇の中のままだ。自民党の中から批判の声が上がることもなく、自民党の自浄能力はないに等しいという事か。
強力な政権がもたらした弊害なぜこうなったのか。
答えは簡単である。自民党は国会で圧倒的多数の議席を持ち、政権は党内で多数の支持を得ていた。

田中均

日本総合研究所国際戦略研究所理事長

1947年生まれ。69年京都大学法学部卒業後、外務省入省。オックスフォード大学修士課程修了。北米局審議官、在サンフランシスコ日本国総領事、経済局長、アジア大洋州局長を経て、2002年より政務担当外務審議官を務め、05年8月退官。同年9月より（公財）日本国際交流センターシニア・フェロー、10年10月に（株）日本総合研究所国際戦略研究所理事長に就任。06年4月より18年3月まで東大公共政策大学院客員教授。著書に『見えない戦争』（中公新書ラクレ、19年）、『日本外交の挑戦』（角川新書、15年）、『プロフェショナルの交渉力』（講談社、09年）、『外交の力』（日本経済新聞出版社、09年）など。2021年3月よりTwitter開始(@TanakaDiplomat)。毎日リアルタイムで発信中。YouTubeチャンネル(@田中均の国際政治塾)。

崩れだした日本の民主主義統治 選挙が最後の砦 ||

日本総合研究所国際戦略研究所理事長　田中均｜毎日新聞「政治プレミア」　2021.7.14.

https://news.yahoo.co.jp/articles/8b5e7aa52a7ac952b3108ca52de6767aa6f11c82
https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20210713/pol/00m/010/002000c

今日の政治の特色は３Ｓだ。
3S とは「説明しない」「説得しない」「責任をとらない」という三つのＳで始まる言葉で
今日の政治の問題点を表してみた
（YouTube チャンネル「田中均の国際政治塾」より「長期政権で露呈した後手後手の“3S 政治”」）。

権力者が説明し、説得し、結果責任をとるというのは民主主義的統治の大原則だ。

安倍晋三前首相は、森友問題や加計問題、そして桜を見る会などで疑惑を持たれ、国会質疑で虚偽答弁をし、説明責任を果たすことなく辞任したが、その後、体調を回復し本格的に政治の表舞台に復帰したと伝えられる。しかし、説明責任を果たす考えはないようだ。

今日まで森友・加計・桜を見る会に加え、吉川貴盛元農相の収賄事件、河井克行元法相・河井案里元参院議員・菅原一秀前経済産業相の選挙違反事件など、政治の信頼を損ねる事件が頻発した。

しかし、再発防止に取り組む動きも見られず、河井夫妻選挙違反事件に関連して選挙費用として党から配分された１.５億円にも上る多額の資金の問題も闇の中のままだ。自民党の中から批判の声が上がることもなく、自民党の自浄能力はないに等しいという事か。

強力な政権がもたらした弊害なぜこうなったのか。答えは簡単である。自民党は国会で圧倒的多数の議席を持ち、政権は党内で多数の支持を得ていた。



田中均氏＝根岸基弘撮影

田中均
日本総合研究所国際戦略研究所理事長

1947年生まれ。69年京都大学法学部卒業後、外務省入省。オックスフォード大学修士課程修了。北米局審議官、在サンフランシスコ日本国総領事、経済局長、アジア大洋州局長を経て、2002年より政務担当外務審議官を務め、05年8月退官。同年9月より（公財）日本国際交流センターシニア・フェロー、10年10月に（株）日本総合研究所国際戦略研究所理事長に就任。06年4月より18年3月まで東大公共政策大学院客員教授。著書に『見えない戦争』（中公新書ラクレ、19年）、『日本外交の挑戦』（角川新書、15年）、『プロフェショナルの交渉力』（講談社、09年）、『外交の力』（日本経済新聞出版社、09年）など。2021年3月よりTwitter開始(@TanakaDiplomat)。毎日リアルタイムで発信中。YouTubeチャンネル(@田中均の国際政治塾)。

・・・・・・・・・・・・・・・・・

元外務審議官の田中均氏は毎日新聞政治プレミアに寄稿
「権力者が説明し、説得し、結果責任をとるというのは民主主義的統治の大原則だ」とし、今の政治は「説明しない、説得しない、責任をとらない」と批判した。

田中氏は「国民に大きな犠牲を強いる緊急事態宣言を何度も発出するにあたっては、首相は国民に対して多くの疑問について真摯に説明し、国民に負担を強いざるを得ないと説得する態度を示すことを国民は期待している」としたうえで、「しかし、菅政権は、コロナ対処や五輪を巡る国会質疑、記者会見においても、疑問に対して真正面から答えようとせず、緊急事態宣言の実効性を確保することについて国民を必死で説得するという気配は見えない」と指摘する。

また、自民党についても、「菅政権のコロナ対策や五輪強硬姿勢の是非という観点からの真剣な党内議論が起こっているようには見えず、政権維持のため一蓮托生（たくしょう）的な雰囲気すら感じられる」と語った。

（Yahoo ニュースの配信記事より）

【2021.年 8月 酷暑の夏 From Kobe】

8月 酷暑の夏 神戸便り 2021.8.3. From Kobe by Mutsu Nakanishi



暑中お見舞い申し上げます 神戸中西 この厳しい酷暑 コロナ禍を元気で



コロナ蔓延に厳しい酷暑が追い打ちをかける今年の夏
いかがでしょうか
高齢者には過酷な先の見えぬ自制の毎日 厳しいですが、
声かけあって この夏を乗り切りましょう

仲間の元気はみんなの応援歌
God be with You!! もロ癖に
どうか お互い無理せず、我が身大切に
また お会いするのを楽しみにしています

2021.8.3. From Kobe Mutsu Nakanishi






酷暑・コロナ禍の中で迎えた２０２１年盛夏
毎日夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔
厳しい夏の朝の楽しみ
我が家の庭の朝顔
リハビリ中の身、毎朝送られてくる朝顔便りを楽しみにしています
2021.8.3. from Kobe Mutsu Nakanishi


我が家の庭の朝顔
リハビリ中の身、毎朝送られてくる朝顔便りを楽しみにしています
2021.8.8. from Kobe Mutsu Nakanishi

fkobeR03
09.pdf

From Kobe　2021

【2021年9月 From Kobe】　９月夏から初秋へ季節の便り

2021.9.1.　From Kobe by Mutsu Nakanishi

コロナ禍で雪隠詰めの車いす・リハビリ生活で全く身動き取れず、ご心配をかけました。
本年の梅雨時から盛夏をそっくり約２ヶ月の入院生活　８月１６日やっと退院することができました。
８月３０日の経過検診で「順調な回復状況で全快」と診断され、ほっと一息です。
９月になって　一機に夏から秋へ　青空が戻りましたが、新型コロナ禍の厳しい毎日
いかがでしょうか　　厳しい自己節制の日々が続きますが、御身大切にお守りください。




百日紅（さるすべり）の花


千日紅の花そして朝顔

約2ケ月　無事退院できました
ご心配かけ、ありがとうございます

初秋を告げる百日紅（さるすべり）と千日紅（せんにちこう）そして朝顔

足の踵骨折で約2ヶ月入院、８月１６日に退院。
ようやく帰った門先でお帰り!!と
百日紅や千日紅の花そして朝顔が出迎えてくれた。入院した梅雨時には、どれも咲いていませんでしたが　嬉しいお出迎え。　もう夏から初秋へ　長かった。

8月30日退院10日後のレントゲン検診で、オールOK 全快に。
さぁ　がんばるぞと気分も新た
いろいろ　ご心配いただき、ありがとうございました。
まだ　足はぎこちない歩行ですが、
まぁ　なんとかなると。
また元気な笑顔の再会も期待。やれやれです。
片足が地に付けられぬことがどんなに大変かと高齢者になると何が起こるかわかりません。
どうか十分ご注意ください。
2021.9.1.From Kobe　Mutsu Nakanishi

私のメールアドレス帳にある皆様にこのメールを配信しています。重複してお送りしていれば、お許しください。
高齢者にはまだまだ厳しい初秋９月の始まり夏から秋へ　何かのお役に立てばと。



厳しい入院生活で　「地に足を付けぬきびしさが、こんなにたいへんなのか・・・・」と身に沁みました。
すぐ帰れるとおもっていましたが、思いと身の動きとのギャップ　足の踵は大変だと。また、コロナの検査はおかげさまで陰性での入院でしたが、入院中家族とも顔を見合わせぬしんどさ。
何とかスマホ・LINE で外とつながることもできて、仲間のありがたさ身に染みています。本当に感謝　ありがとうございました。
まだまだ歩行もまだギコチナイですが、元気に新しいスタートと。

家に帰ってみれば、感染爆発で、いまだに見通しの立たぬ日々。
「自分の身は自分で守る」一番いやな言葉ですが、そんな覚悟もまた必要な時節。
自制・節制の徹底も必要かと。頑張らねばと。
でも　何とか仲間・世間とつながっていないと・・・・・・
特に何もないのですが、２ケ月近く、身動きとれぬ状況の入院から解放され、
元気に動き始めた報告もかねて、２つの私信資料添付で
この「９月夏から秋への便り」を配信させていただきます。

◎　夏の朝を爽やかにしてくれた毎朝の朝顔便り　2021 朝顔帳

















■　和鉄の道　今月のHP掲載記事　リスト　2021.9.1.

1.　PDF Photo Album　夏から初秋へ ９月　季節の便り(私信)

「百日紅・千日紅そして朝顔　やっと退院できました」

今真っ盛りの百日紅と千日紅そして夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔を Photo Album に

2.　8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事の PDF 切り抜き整理

8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事　幼い頃の断片的な記憶がふつふつと。

記事添付しましたので、ご興味あれば…。



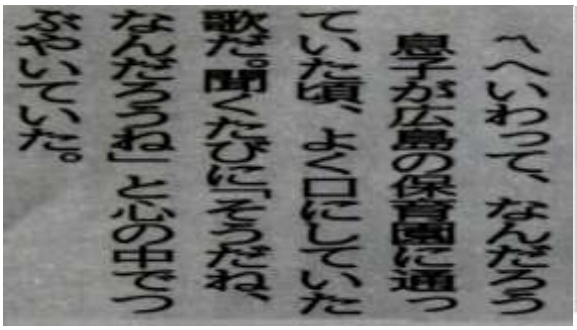
3.　絵文字で描いた兵庫県全図　今インターネットで絵文字の場所探しが人気に

一番の人気はお城の絵文字で描かれた尼崎だと…ほかにもいろいろ場所探しにはまっています。

小森文美さんがデザイン「絵文字で描いた兵庫県図 」

https://maidonanews.jp/article/14428775

4.　PDF File　from Kobe　９月　平和ってなんだろう　コロナ禍の中で





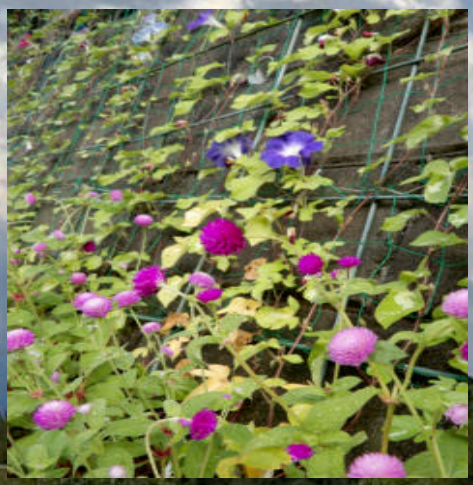
今　青空を背にピンクの百日紅(さるすべり)と千日紅(せんにちこう)の花が素晴らしい。
夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔　毎日の朝顔便りが楽しみに　また、夜は真っ暗の中に虫の声
仲間の元気は　みんなの応援歌 !!　　頑張りすぎず、時には声をあげて !!
お互い　スクラム組んで　助け合ってこの難局を乗り越えましょう
笑顔で逢えるのを　楽しみにしています
まだまた厳しい自己規制の日々が続きますが、どうか　無理せず、元気に前向いてお過ごしください
また連絡ください
God Be With You!!　2021.9.1.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

1. Photo Album 9月夏から初秋へ　季節の便りと2021朝顔帳

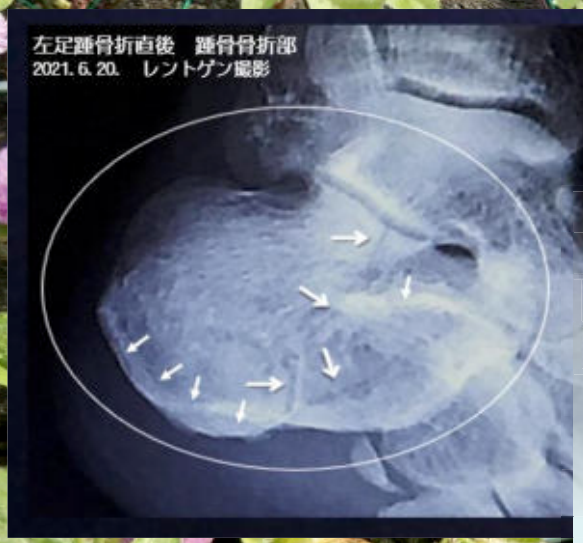
青空が戻りましたが、厳しい暑さと新型コロナ禍の中
夏から秋へ　ピンクの朝顔と千日紅の花が　朝の門先を飾っています
高齢者には　まだまだ厳しい初秋9月の始まり
いかがでしょうか・・・・

仲間の元気は　みんなの応援歌 !!
頑張りすぎず、時には声をあげて !!
お互い　スクラム組んで　助け合って
乗り越えましょう

また　笑顔で逢えるのを楽しみにしています
God Be With You!!　2021.9.1.
from Kobe　Mutsu Nakanishi



千日紅　（センニチコウ）
花言葉は「色あせぬ愛」



足の踵骨折で約2ヶ月入院、
８月１６日に退院
8月30日退院10日後のレントゲン検診で
オールOK 全快に。
さぁ　がんばるぞと気分も新た

いろいろ　ご心配いただき、感謝です
ありがとうございました。
2021.9.1.　Mutsu Nakanishi

夏から秋への朝　朝顔と千日紅　我が家の門先で



百日紅（さるすべり）の花



千日紅の花そして朝顔

約2ケ月　無事退院できました
ご心配かけ、ありがとうございます

初秋を告げる百日紅（さるすべり）と千日紅（せんにちこう）そして朝顔

足の踵骨折で約2ヶ月入院、８月１６日に退院。
ようやく帰った門先でお帰り!!と
百日紅や千日紅の花そして朝顔が出迎えてくれた。入院した梅雨時には、どれも咲いていませんでしたが　嬉しいお出迎え。　もう夏から初秋へ　長かった。

8月30日退院10日後のレントゲン検診で、オールOK 全快に。
さぁ　がんばるぞと気分も新た
いろいろ　ご心配いただき、ありがとうございました。
まだ　足はぎこちない歩行ですが、
まぁ　なんとかなると。
また元気な笑顔の再会も期待。やれやれです。
片足が地に付けられぬことがどんなに大変かと高齢者になると何が起こるかわかりません。
どうか十分ご注意ください。
　2021.9.1.From Kobe　Mutsu Nakanishi





夏から秋へ我が家の門先で　　2021.9.1.





毎朝届く朝顔便り　毎日が楽しみで　　ありがとう

今日も　夏の終わりを飾っています　我が家の門先で　　2021.9.1.



夏から秋へ我が家の門先で　2021.9.1.



夏から秋への朝　朝顔と千日紅　我が家の門先で　2021.9.1.



夏から秋への朝　朝顔と千日紅　我が家の門先で　　2021.9.1.





夏から秋への朝　朝顔と千日紅　我が家の門先で　　2021.9.1.

2021朝顔帳　夏の朝を爽やかに

今年も夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔の便り・朝顔帳
















毎朝届く朝顔便り　毎日が楽しみで　ありがとう
今日も　夏の終わりを飾っています　我が家の門先で
2021.9.1.


足の踵骨折で約2ヶ月入院、
８月１６日に退院
8月30日退院10日後のレントゲン検診で
オールOk、全快に。
さぁ　がんばるぞと気分も新た
いろいろ　ご心配いただき　感謝です
ありがとうございました。
夏から秋への　朝顔と千日紅　我が家の門先で

2. 8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事のPDF切り抜き整理

8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事　幼い頃の断片的な記憶がふつふつと。

空襲を受けた傷跡が残る故郷「尼崎　東難波　梅の里」　幼少の記憶を呼び起こしてくれた

神戸新聞　2021. 8. 17. 阪神空襲と米軍文書　　尼崎空襲の記事

2021. 8. 27. 採録　　Mutsu Nakanishi









B29爆撃機による阪神間の主な空襲

爆撃日	昼夜	作戦	目標	出撃機数	爆弾の投下量（米トン） 焼夷弾	高性能爆弾	その他
3月13～14日	夜	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	295	1732.6		
3月16～17日	夜	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	331	2308.7		19.4
6月1日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	509	2706.9		81.6
6月5日	昼	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	523	3006.3		72.8
6月9日	昼	精密爆撃エンパイア計画	川西航空機鳴尾製作所	46		263.5	
6月15日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪ー尼崎市街地	511	3157.3		
7月19日	夜	精密爆撃石油施設爆撃	日本石油関西製油所など	84		701.8	
7月24日	昼	精密爆撃エンパイア計画	川西航空機宝塚製作所	348		1154.5	
8月5～6日	夜	中小都市空襲	西宮ー御影市街地	261	1922.8	33.5	47.6

上左：尼崎市域が攻撃対象となった１９４５年６月１５日の空襲に関する米軍の「作戦任務報告」の写し

上中：1945年６月５日朝、Ｂ２９爆撃機の攻撃を受けて炎上する神戸の街（米軍撮影）　　上右：

上右：1945年８月６日の空襲で燃える西宮市街（多田克さん提供）

下左：B29爆撃機

下右:B29爆撃機による阪神間の主な空襲

神戸新聞 2021年8月15日　阪神空襲　　狙われた理由（１）阪神空襲と米軍文書　尼崎と西宮で異なる作戦より









左：１９４５年６月１５日の空襲体験を語る淀川トシ子さん＝尼崎市

中上：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」（国立国会図書館デジタルコレクションより）

中下：焼け野原となった１９４６年ごろの尼崎市の杭瀬商店街付近（故・中田寅一氏撮影、尼崎市立歴史博物館提供）

右：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」尼崎空襲概略図

新聞 2021年8月15日　阪神空襲　狙われた理由（２）阪神空襲と米軍文書　臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込みより

◇　　◇

神戸新聞 2021年8月17日　阪神空襲

狙われた理由（2）阪神空襲と米軍文書　臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込みより

１４５年6月午前8時半すぎ、爆撃機「Ｂ２９」の５１１機もの編隊が紀淡海峡を抜けて大阪湾に入り、兵庫県尼崎市に迫り来る。

当時１９歳の淀川トシ子さん（９５）は杭瀬地区で製鋼関連の軍需工場に出勤し、作業を始めたところだった。

空襲サイレンを聞き、「またか…」と工場敷地内の防空壕（ごう）に向かいながら、晴れ渡った空をあおいだ。

翼長４３メートル、全長３０メートルの銀色の要塞（ようさい）が、南の空にびっしりと張り付いている。

真っすぐこちらに向かってくるのを見て思った。

「この一帯に軍需工場はここしかない。間違いなく、狙ってくる」

8時４４分。米軍資料によると、計２８４６・３トンもの焼夷弾を２時間１０分にわたって投下していく。

淀川さんは防空壕の隙間から同僚たちと身を寄せて機体を見上げた。真上でまかれた焼夷弾はそれぞれ真っ青な空でバラバラにはじけ、ソフトボール大の黒い塊になって降ってくる。

しかし、それは工場敷地内に落ちず、北側に大きくそれていくように見えた。

「トシちゃんの家の方から火が上がってるよ！」誰かが大声で言った。

◆　　◆

淀川さんは軍需工場が無事だったのにもかかわらず、北約１キロ先にある自宅の一帯が焼け野原になったことを長らく「米軍の投下ミス」だと思い込んできた。　しかし、作戦は確実に遂行されていた。

米軍は、尼崎を中心に３カ所の攻撃点を設け、その一つが淀川さんの自宅もあった市街地の「直径２・４キロ地帯」だった。狙いは国鉄（現・ＪＲ）沿線にある国内随一のプロペラ工場「住友金属プロペラ製造所」だったのだ。

米軍指揮官だったカーティス・ルメイは１月の就任後、火災に弱いという日本建物の弱点に着目して「焼夷弾攻撃」を採用。３月から始めた尼崎空襲は当初、日本軍の対空砲火や空中戦に備えて夜間を狙ったが、日本側の戦闘力が低いと分かると、６月からは午前中に仕掛けるようになった。

この日、４回目となる尼崎空襲は大阪とのセットでなく、尼崎を集中的に狙った最初で最後の攻撃だ。

先頭を飛ぶ機体が工場向けの「結束焼夷弾」を落として炎上させ、後続機が延焼力の高い「油脂焼夷弾」を次々に放って大火災を引き起こした。

◆　　◆

では、なぜ淀川さんが働いた軍需工場は狙われなかったのか。それどころか、尼崎市内では「日本石油製油所」や「尼崎人造石油工場」「陸軍燃料廠（しょう）」など武庫川河口に広がる臨海工業地帯も無事だった。

その理由を、米軍文書はこう記す。

「区画が水路や空き地で区切られ、大規模な延焼が期待できない」。

つまり、川や海に近いと消火されやすく、作戦効率が悪いと判断された。

「尼崎は大阪の付随とみなされ、結果的に徹底した攻撃を免れた可能性がある」と、

市立歴史博物館職員の辻川敦氏は指摘する。

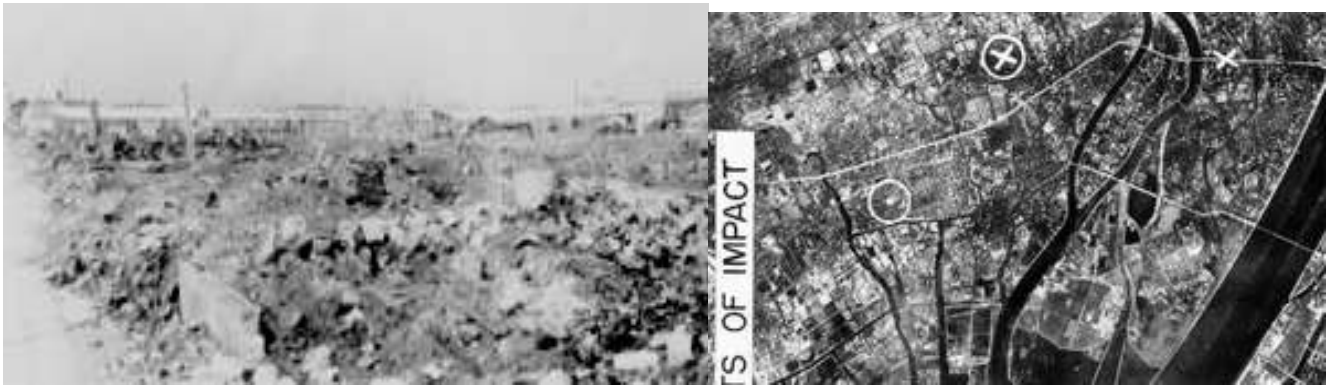
プロペラ工場は６６％が壊され、市内の建造物区域の１１％が焼き尽くされても、市史などに伝わる尼崎の死者は

４７９人で、同県西宮市の６３７人に比べて少ないのは、作戦の違いが影響しているという。

米軍はこの日の尼崎空襲をもって「５大都市空襲を完了」とし、

西宮をはじめとする中小都市への無差別攻撃に戦術を切り替えていく。

（竹本拓也、久保田麻依子）

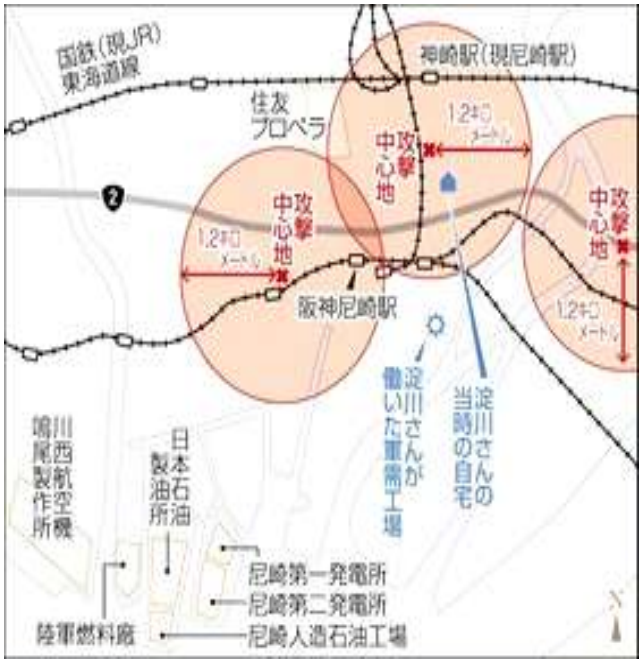


尼崎空襲を示す概略図には現在の JR 尼崎から南の港・大阪湾沿岸の工場地帯へ真っ直ぐ伸びる尼崎港線が伸びる尼崎市街地が空襲を受けた。

戦争の記憶はないのですが、私の生まれた東難波・梅の里周辺では、阪神尼崎から真っすぐ北に伸びる通称十間道路（五合橋線）が伸び、その両側には、空襲の痕跡を残す未使用地が点々と残る光景が、幼い遠いが一番古いき昔の記憶として頭にある。

また、記憶は本当に断片的ですが、この十間道路を通って、米軍に接収された旧住友プロペラ工場への道が整備され、米軍キャンプから甲子園へ軍用専用バス、また　当時十間道路を真っ直ぐ北に走る五合橋線を走る木炭バスにも記憶がある。

今の尼崎では想像もつかない姿。　もう接収された米軍キャンプを知る人もほとんどいなくなった。



　そんな尼崎の下町で育って、大学を卒業して就職したのが米軍に接収された旧プロペラ工場跡に建設された鉄鋼の住友金属中研。

研究所の門をくぐると正面に昔よく遊んだ広場と建物がそっくりそのまま残っていて、びっくり。

また配属された溶接の職場はピンクハウスと呼ばれていたかつてのプロペラ工場の頑丈なコンクリート造りの建物。

今は住金が日本製鐵に合併視され、近代的なモダンな低モノ軍に変わって、すっかり昔のおもかげもなくなってしまいましたが・・・・。



故郷尼崎の空襲時の姿

本当に思い出深い記憶を呼び起こしてくれた神戸新聞の記事。

幼い頃の記録や写真がほとんど泣く、しっかり記録にとどめておこうと切り抜き再録しました。

2021. 8. 25.

by　Mutsu Nakanishi

神戸新聞の記事。切り抜き再録

神戸新聞 2021 年夏の特集記事　阪神空襲

阪神空襲と米軍文書 - Bing

2021 年 8 月 15 日　狙われた理由(1)阪神空襲と米軍文書　尼崎と西宮で異なる作戦
2021 年 8月 17 日. 狙われた理由(2)阪神空襲と米軍文書　臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は
2021 年 8 月 19 日　狙われた理由(3)阪神空襲と米軍文書　同時攻撃で迎撃を分散
2021 年 8月 21 日. 狙われた理由(4)阪神空襲と米軍文書　西宮ー御影業火に包む

神戸新聞 2021 年 8 月 15 日　阪神空襲

■1.　狙われた理由(1)阪神空襲と米軍文書　尼崎と西宮で異なる作戦









B29爆撃機による阪神間の主な空襲

爆撃日	昼夜	作　戦	目　標	出撃機数	爆弾の投下量(米トン) 焼夷弾	高性能爆弾	その他
3月13～14日	夜	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	295	1732.6		
3月16～17日	夜	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	331	2308.7		19.4
6月1日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	509	2706.9		81.6
6月5日	昼	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	523	3006.3		72.8
6月9日	昼	精密爆撃エンパイア計画	川西航空機鳴尾製作所	46		263.5	
6月15日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪ー尼崎市街地	511	3157.3		
7月19日	夜	精密爆撃石油施設爆撃	日本石油関西製油所など	84		701.8	
7月24日	昼	精密爆撃エンパイア計画	川西航空機宝塚製作所	348		1154.5	
8月5～6日	夜	中小都市空襲	西宮ー御影市街地	261	1922.8	33.5	47.6

上左: 尼崎市域が攻撃対象となった１９４５年６月１５日の空襲に関する米軍の「作戦任務報告」の写し
上中: 1945 年６月５日朝、Ｂ２９爆撃機の攻撃を受けて炎上する神戸の街（米軍撮影）　　上右:
上右: 1945 年８月６日の空襲で燃える西宮市街（多田克さん提供）
下左: B29 爆撃機
下右:B29 爆撃機による阪神間の主な空襲

びっしりと英語で書き連ねられた資料の束がある。太平洋戦争で少なくとも１３５４人が亡くなったとされる阪神間の空襲で、米軍が攻撃目標や航空機の編隊を細かく記した公文書だ。表題は「作戦任務報告」と訳され、兵庫県に関する分だけで２千ページに上る。なぜ、人々は空から狙われたのか。市民の証言と共に、地域ごとに異なる作戦の意図を読み解きたい。(竹本拓也)

尼崎市　４７９人　　西宮市　６３７人　　芦屋市　１３９人　　伊丹市　６人
宝塚市　８３人　　川西市　少なくとも５人　　三田市　５人

これは市史などにある阪神間の空襲死者数だ。国の調査はなく、戦後７６年を経ても被害の全容は分からない。
一方で米軍は人を除く破壊については戦略と成果を詳細に記録していた。

１９４４年8月、サイパン、テニアン、グアムなどマリアナ諸島を攻略した米軍はここを拠点として、ついに日本本土のほぼすべてを爆撃可能圏内に収めた。
４５年１月に就任した指揮官は、陸軍少将のカーティス・ルメイ。「皆殺しのルメイ」の通称で日本人に恐れられ、後に起こるキューバ危機（６２年）で米空軍参謀総長として旧ソ連への先制核攻撃を大統領に進言し、広島型原爆４６万個分の爆弾投下を計画する人物だ。就任２カ月後の３月１３日、米軍は尼崎を最初に阪神間の攻撃を始める。人々が見上げた空には、あの大型爆撃機「Ｂ２９」があった。

◆　　◆

「阪神間はあらゆるタイプの攻撃を受けており、いわゆる『空襲の縮図』と言えるまちなんです」
膨大な米軍資料を読み込んだ尼崎市立歴史博物館の職員辻川敦氏はそう話し、ルメイが主に計画した四つの破壊目標を挙げる。一つは、西宮、宝塚市域にあった航空機工場。二つ目は尼崎市の武庫川河口に立ち並ぶ石油工場群だ。
そして、都市としての尼崎が三つ目、西宮が四つ目に当たると指摘する。実は隣り合うまちで、作戦の色合いは全く違っていたというのだ。米軍はターゲットにする都市を綿密に決めていた。
人口約３３万人だった尼崎は「５大都市」の一つ、大阪の付随とみなされた。
地続きに阪神工業地帯を形成するとして、米軍は戦略上の重要性をこう記す。
「神戸と大阪に電力を供給する大火力発電所群がある。工業の中心地であり、鉄鋼、電気製品、機械を生産し、南西には巨大な製油所がある」一方で当時人口約１３万人の西宮は「中小都市」と位置づけられた。
大都市破壊の後、工業地があるかどうかを問わずに全国１３７都市の市街地と住民を標的としたのだ。
作戦はドイツ空軍がスペイン内戦（３７年）で掲げた思想にならっていた。「一般市民を総力戦を担う敵とみなして攻撃することで継戦意思を奪う」

◆　　◆

戦前から尼崎市に暮らす関山光司さん（８５）は６月の空襲直後、疎開先から急いで自宅に戻った時の衝撃を今も忘れない。一部の神社や寺の門だけを残し、自宅を含めてすべての建物が焼き尽くされたまちに、丸焦げになった同級生の遺体を見た。　「なんでここだったのか…」と思わずにいられなかった。
地上にいた市民の目線と共に、空からの攻撃を再現する。

神戸新聞 2021 年 8 月 17 日　阪神空襲

■2.　狙われた理由（2）阪神空襲と米軍文書　臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込み









左：１９４５年6月１５日の空襲体験を語る淀川トシ子さん＝尼崎市
中上：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」（国立国会図書館デジタルコレクションより）
中下：焼け野原となった１９４６年ごろの尼崎市の杭瀬商店街付近（故・中田寅一氏撮影、尼崎市立歴史博物館提供）
右：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」尼崎空襲概略図

１４５年6月午前8時半すぎ、爆撃機「Ｂ２９」の５１１機もの編隊が紀淡海峡を抜けて大阪湾に入り、
兵庫県尼崎市に迫り来る。
当時１９歳の淀川トシ子さん（９５）は杭瀬地区で製鋼関連の軍需工場に出勤し、作業を始めたところだった。
空襲サイレンを聞き、「またか…」と工場敷地内の防空壕（ごう）に向かいながら、晴れ渡った空をあおいだ。
翼長４３メートル、全長３０メートルの銀色の要塞（ようさい）が、南の空にびっしりと張り付いている。
真っすぐこちらに向かってくるのを見て思った。
「この一帯に軍需工場はここしかない。間違いなく、狙ってくる」

8時４４分。米軍資料によると、計２８４６・３トンもの焼夷弾を2時間１０分にわたって投下していく。
淀川さんは防空壕の隙間から同僚たちと身を寄せて機体を見上げた。
真上でまかれた焼夷弾はそれぞれ真っ青な空でバラバラにはじけ、ソフトボール大の黒い塊になって降ってくる。
しかし、それは工場敷地内に落ちず、北側に大きくそれていくように見えた。
「トシちゃんの家の方から火が上がってるよ！」誰かが大声で言った。

◆　　◆

淀川さんは軍需工場が無事だったのにもかかわらず、北約１キロ先にある自宅の一帯が焼け野原になったことを長らく「米軍の投下ミス」だと思い込んできた。
しかし、作戦は確実に遂行されていた。
米軍は、尼崎を中心に３カ所の攻撃点を設け、その一つが淀川さんの自宅もあった市街地の「直径２・４キロ地帯」だった。狙いは国鉄（現・ＪＲ）沿線にある国内随一のプロペラ工場「住友金属プロペラ製造所」だったのだ。

米軍指揮官だったカーティス・ルメイは１月の就任後、火災に弱いという日本建物の弱点に着目して「焼夷弾攻撃」を採用。３月から始めた尼崎空襲は当初、日本軍の対空砲火や空中戦に備えて夜間を狙ったが、日本側の戦闘力が低いと分かると、６月からは午前中に仕掛けるようになった。
この日、４回目となる尼崎空襲は大阪とのセットでなく、尼崎を集中的に狙った最初で最後の攻撃だ。
先頭を飛ぶ機体が工場向けの「結束焼夷弾」を落として炎上させ、後続機が延焼力の高い「油脂焼夷弾」を次々に放って大火災を引き起こした。

◆　　◆

では、なぜ淀川さんが働いた軍需工場は狙われなかったのか。それどころか、尼崎市内では「日本石油製油所」や「尼崎人造石油工場」「陸軍燃料廠（しょう）」など武庫川河口に広がる臨海工業地帯も無事だった。
その理由を、米軍文書はこう記す。
「区画が水路や空き地で区切られ、大規模な延焼が期待できない」。
つまり、川や海に近いと消火されやすく、作戦効率が悪いと判断された。
「尼崎は大阪の付随とみなされ、結果的に徹底した攻撃を免れた可能性がある」と、
市立歴史博物館職員の辻川敦氏は指摘する。
プロペラ工場は６６％が壊され、市内の建造物区域の１１％が焼き尽くされても、市史などに伝わる尼崎の死者は４７９人で、同県西宮市の６３７人に比べて少ないのは、作戦の違いが影響しているという。

米軍はこの日の尼崎空襲をもって「５大都市空襲を完了」とし、
西宮をはじめとする中小都市への無差別攻撃に戦術を切り替えていく。

（竹本拓也、久保田麻依子）

■3.　2021年8月19日

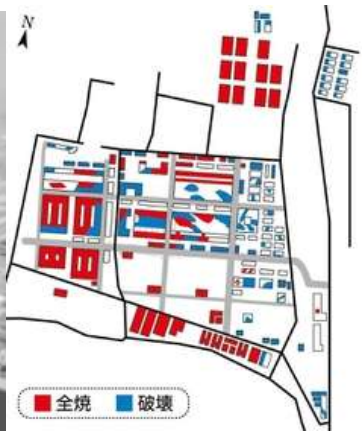
狙われた理由(3)阪神空襲と米軍文書　同時攻撃で迎撃を分散











上左: 川西航空機鳴尾製作所への爆撃後、米軍が撮影した写真（米国国立公文書館所蔵）

上右: １９４２年の鳴尾村を再現した鳥瞰（ちょうかん）図。競馬場の場所が鳴尾飛行場になる（「鳴尾村誌」より）

１９４２年の鳴尾村を再現した鳥瞰（ちょうかん）図。競馬場の場所が鳴尾飛行場になる（「鳴尾村誌」より）

下左: 米軍が撮影した川西航空機宝塚製作所への爆撃。右上は武庫川（米国国立公文書館所蔵）

下中: 鳴尾飛行場一帯。右は鳴尾川＝１９５９年

下右: 米軍が記録した川西航空機宝塚製作所の損害状況米軍が記録した川西航空機宝塚製作所の損害状況

激しい地響きと共に、少年少女らが暮らす５０棟の寮施設が次々と崩れ落ちた。

１９４５年7月２４日午前１０時半すぎ、兵庫県宝塚市域にあった航空機生産工場「川西航空機宝塚製作所」に、７７機のＢ２９が１千ポンド爆弾９０１発を集中投下した。

「ストライク」。そんな説明付きの写真を米軍兵が撮った真下で、製作所職員だった当時３９歳の男性Ｓさんは寮内の防空壕（ごう）にいて、がれきに埋もれた。動員された少年ら２００人の世話を寮でしていた。

病気の２人を両脇に抱いて壕からはい出ると、続く爆撃で吹き飛ばされた。その頃、どこからか対空砲火が放たれ、Ｂ２９の１機が墜落する。しかし、日本軍の戦闘機はほとんど現れず、空からの攻撃はやむことがなかった。

米軍の作戦は通称「エンパイア計画」。宝塚と大阪、名古屋市などの主要な重工業施設６カ所を同時に襲撃する。狙いの一つは、日本側の迎撃態勢を分散させることにあったのだ。倒壊した女子寮でＳさんは少女の頭を見たが、木材に挟まれて救えない。その奥で、少女８人が寮母に抱かれるように折り重なって息絶えているのが見えた。

「何故（なぜ）この様な子供まで犠牲にしなければならなかったのか」。Ｓさんは戦後、そう問い続け、惨状を手記に残して亡くなった。

◆　　◆

3月１６～１７日　神戸空襲　約２８０機　6月5日　神戸空襲約１５０機

6月9日　川西航空機の鳴尾製作所・川崎航空機の明石製作所への爆撃　　計約５０機

7月２４日　川西航空機の宝塚製作所への爆撃（エンパイア計画）　県外含めて２５～３０機

これは米軍文書に残る日本軍戦闘機の迎撃機数だ。６月の神戸空襲を米軍は「大阪ー名古屋地域で最も激しい抗戦」と記録。日本軍は戦闘機１５０機と高射砲で迎え撃ち、Ｂ２９は４７４機のうち１１機を失い、１７０機以上が損傷した。しかし、これを機に日本軍の戦闘機出動は激減する。そこで米軍は航空機の生産拠点を徹底的にたたいて戦闘力を弱める戦術を進めた。反撃されやすくとも命中率が高い昼に狙い、同時多発攻撃で迎撃リスクを避けたのがエンパイア計画だった。市史などによると鳴尾製作所では工場の６割以上が破壊・焼失され、付近住民を合わせ４８人が死亡。宝塚製作所は８割を焼き壊され、計１０６人が死亡したとされる。

◆　　◆

「日本の本土防衛には、わずかの戦闘機しか残っていないと考えられる」。計画遂行後、米軍文書はそう考察を記す。宝塚では日本の数機が飛来してきても、攻撃さえしてこなかった。

旧防衛庁資料によると、京阪神には伊丹、大正飛行場（現・伊丹、八尾空港）という二つの防空拠点があったが、部隊は４３年から外地に駆り出されて全滅を重ね、戦力を消耗していた。

それでも、尼崎市立歴史博物館職員の辻川敦氏はこう指摘する。「迎撃自体の効果が期待できず、残った戦闘機はできるだけ温存して避難させていたんです」

日本軍は本土決戦に向けて、体当たり攻撃などの奇襲に備えていた。米軍は交戦することなく空からの攻撃で終わらせようとしていた。標的は施設ではなく、人そのものへと移っていく。（竹本拓也）

2021年 8月21日.

■4.　狙われた理由(4)阪神空襲と米軍文書　西宮ー御影業火に包む









上左：阪神大空襲で家屋などが焼き壊された西宮神社付近

上右：１９４５年7月２７、３１日に米軍が西宮市上空からまいたビラ。
「爆弾には眼がありませんからどこに落ちるか分りません」などと記す

下左：「全国主要都市戦災概況図」にある西宮市の被災状況（国立公文書館デジタルアーカイブから）

下右：「空襲にも人の死にも慣れてしまっていたことが恐ろしい」と語る宮内宏さん＝西宮市

真っ暗な空から火の雨が降ろうとしていた。
１９４５年8月6日午前0時半ごろ、「ブワーン、ブワーン」と兵庫県西宮市松下町の住宅街に空襲警報が響きわたる。
当時7歳だった宮内宏さん（８２）は、夜空一面に小さくきらめく無数の火の玉を見て「きれいな星々だな」と思えた。

家族１０人と庭の防空壕（ごう）へと駆け込もうとした瞬間、焼夷（しょうい）弾が家々の壁や屋根に突き刺さり、あちこちで火柱が上がる。メキメキと焼けていく音を壕の中で聞いた。
「近くに軍需工場があるから狙われたんじゃないか、と幼心に思った」
その直後、西宮市域の南東部にあった鳴尾村（当時）でも住宅街に炎が広がる。
村には川西航空機鳴尾飛行場があり、住民たちは「戦闘機を松林に隠したから標的にされたんじゃないか」とうわさした。西宮市ー神戸市東灘区を業火に包んだ「阪神大空襲」。
米軍文書によると、２５５機のＢ２９が西宮市域の南西から飛来し、１時間３６分にわたり、北東へと波状的に１９２２・８トンもの焼夷弾を落とした。当時の西宮市域の約2割が焦土と化し、４８５人が命を落とした。
鳴尾村でも１８８人、芦屋市でも８９人が犠牲となったとされる。

◆　　◆

これまでの連載で、6月の尼崎空襲はプロペラ工場などが狙われ、7月には航空機工場が標的にされたことを書いてきた。ならば、阪神大空襲は何を目標としたのか。
米軍資料を調査する神戸大学地域連携センターの学術研究員佐々木和子氏は「それは単純かつ合理的なもの」としてこう解説する。
「住宅密集地。特定の軍事目標をたたくのではなく、狙ったエリアのすべてを無差別に攻撃する『じゅうたん爆撃（カーペット・ボミング）』です」
6月5日に「神戸」、6月１５日に尼崎を含む「大阪」を狙った「5大都市空襲」を完了させた米軍は、それ以外の中小都市を壊滅させる作戦に移る。
米軍資料によると、通常は一つの中小都市に一つの航空連隊１４０機程度で臨むところ、西宮ー御影間を1都市とする「阪神」には倍の2隊を向けていた。神戸、大阪の大都市に挟まれた「産業の後背地」としてとどめを刺したのだ。

実は1週間前、米軍は2度にわたり、西宮の空から大量のビラをまいていた。
「罪のない人達を傷つけたくはありませんですから裏に書いてある都市から避難して下さい」
無差別空襲の予告だった。米軍はこれを「フェアな警告戦法」とし、市民の戦意を喪失させつつ、米軍への信任を深めさせる狙いを込めていた。
しかし、「阪神大空襲は、市民の防火レベルを完全に超えている」と佐々木氏は話してこう指摘した。
「人々は結局、イライラ、じたばたしながら、待つしかなかったんです」
空襲を終えて6時間後、Ｂ２９は人類初の原子爆弾を広島の空から投下した。

◆　　◆

阪神間へのＢ２９による空襲は尼崎市で8回、西宮市で5回、芦屋市で4回を数えた。7月下旬からは中小都市に当たらないまちにも戦闘機で機銃掃射を加え、川西市で少なくとも5人、三田市でも児童ら5人の命を奪った。
8月１５日。戦争は終わった。（竹本拓也、村上貴浩）

2021.8.25.　　神戸新聞・　神戸新聞Next より採録
by　Mutsu Nakanishi

3. 絵文字で描いた兵庫県全図　いま　インターネットで絵文字の場所探しが人気に
一番の人気はお城の絵文字で描かれた尼崎だと…・ほかにもいろいろ場所探しにはまっています。



小森文美さんがデザイン「絵文字で描いた兵庫県図 」　https://maidonanews.jp/article/14428775

「絵文字で描いた兵庫県図 」　場所のシンボル絵文字ヒント抜粋

一番人気だという　私の故郷「尼崎」のシンボル絵文字　探せますか・・・・



絵文字57個で表現した「兵庫県」を拡大して見る（こもりあやみさん提供）

4. 平和って　なんだろう　　８月いつも思い起こす「命は宝」

コロナ禍の中で生活が脅かされる政治主導が全く方向を見失ってしまった日本の社会
神戸新聞に掲載された評論に惹かれました

2021年(令和3年)8月30日　月曜日　14版　総合　2　神戸新聞

針路21

平和主義の実践

子どもにどう教えれば

論説委員
直野　章子



「へいわって、なんだろう」。しかし、相手は3歳から6歳までの幼児である。いったいどうやって「平和」を教えているのか先生に尋ねてみると、みんなで仲良く暮らしたり命を大切にしたりすることが「平和」なのだと話しているとのことだった。

保育園では、「穏やかにやわらぐ」と「戦争がない状態」という、「平和」の二つの意味を共に学んでいるが、どちらかというと情景に重きを置いている。「平和な心」や「平和な暮らし」であれば、幼くてもつかむことができるからだろう。そのうえで、戦争で命や家族を奪われた子どもの話をすると、「戦争」や「原爆」は「平和」を壊すものだと、子どもたちにも伝わる。

こうして、それが何であるかは理解できなくとも、戦争や原爆は嫌だという気持ちが、子どもの心に芽生えるのだろう。

2面に続く

「へいわって、なんだろう」。息子が広島の保育園に通っていた頃、よく口にしていた歌だ。聞くたびに「そうだね、なんだろうね」と心の中でつぶやいていた。

平和主義の実践

1面から続く

戦後日本の平和教育や「戦争体験の継承」では、戦争がいかに悲惨な体験だったかを伝えることで、戦争を否定し、平和を尊ぶ心を育もうとしてきた。しかし、戦争体験を知ることで、平和の大切さが理解できたとしても、それが反戦や非武装といった平和主義の理念につながるとは限らない。

近代日本の戦争が「東洋の平和」を掲げて遂行されたように、「戦争」と「平和」は、必ずしも対立するわけではないし、「平和な暮らし」を守るためにこそ、武装する必要があると考えることもできるからだ。実際に、戦後日本の世論は、非武装主義を掲げた憲法を擁護する一方で、「力による平和」を暗に支えてきた。

敗戦から間もない時期、「戦争はもうこりごり」という感情が広く生じていたのは確かだろう。しかし、戦争や再軍備に反対する意見が主流であったかというと、そうではない。1950年代の世論調査をみると、条件付きで戦争を肯定する人の方が絶対反対という人よりも多かったし、54年の自衛隊発足までは、再軍備に賛成する人が反対の人よりも多かった。また、戦争に絶対反対、再軍備反対の意見が多数派になった60年代になっても、国防のための軍隊は必要という人は、不要という人を常に上回っていたし、自衛隊を肯定する意見も常に多数派だった。

針路21

暮らし脅かす権力にあらがう

敗戦後、侵略戦争と軍国主義は否定されたが、国を守るためには武装して有事に備える必要があると考える国家安全保障論は、自衛隊肯定という形で、世論に支持されてきたといえるのだ。

平和概念の意識と運動が、日本の核武装や軍事化に一定の歯止めをかけてきたと評価することはできる。しかし、たとえ自衛のための最低限の軍備であったとしても、武装を肯定するのであれば、戦後日本の平和擁護意識を平和主義と呼ぶことは難しい。

平和主義（パシフィズム）とは元来、非暴力の信念に基づいて戦争や戦争準備に不服従の態度を貫く抵抗運動であり、例えば、兵役義務への不服従という形をとる。国際政治学者の坂本義和が指摘したように、平和主義は、武力に訴えようとする国家権力に懐疑的にあらがう、個人の主体的選択や意思に支えられた思想なのであって、権力との緊張関係に立つことなく平和を謳歌する態度を、積極的な意味において平和主義と呼ぶことはできないのである。

確かに、戦争を繰り返してはならないという意識は、戦後の日本社会で定着した。平和運動や平和教育をはじめ、ジャーナリズムや文化、芸術などを様々な領域において戦争体験を記憶する努力が重ねられてきた結果であろう。しかし、体験者の「二度と戦争を起こさないで」「平和を大切に」との訴えを、実感を持って受けとめるのは難しい。「戦争と平和」は自明か ら遠く、じっくりと向き合う必然性を感じることがないからだ。

若い世代が、我が事として捉えるには、戦争の被害体験だけでなく、被爆者や沖縄戦被害者らが戦後をどう生きたのかを伝えることが重要なのではないだろうか。戦争で傷を負わされただけでなく、戦後においても、被害を耐え忍ぶよう強いられてきた人々は、被害をもたらした国家に対して償いを求めて立ち上がった。国家の責任を追及してきたその闘いは、戦争を体験していない世代にとっても、学ぶところが多い。平和のうたに生きる権利を侵害された時には、相手が国家であっても声をあげてあらがう。その姿は、私たちの手本となる。

新型コロナ感染が広がる中、五輪開催の意義を問われて、菅義偉首相は「平和の祭典」と応じた。東京五輪は強行され、感染拡大は止まらない。私たちの命と暮らしを脅かす決定を下しながら「平和」を口にする為政者に対して、平和のうちに生きる権利を掲げて抗議すること。それが、私たちの平和の実践であり、戦争体験から積み上げてきた平和意識を引き継ぎ、発展させることにつながるのである。

（なおの・あきこ＝京都大人文科学研究所准教授・歴史社会学）

◆このシリーズは、隔週掲載します。

fkobeR03
10. pdf

From Kobe 2021

【From Kobe 2021 年 10 月】　10 月 October　深まりゆく秋　神戸便り

厳しい新型コロナ蔓延もようやく収束の兆しも見えはじめましたが、油断は禁物

でも　秋の到来にほっと一息　気分も新た　頑張りましょう

収録　常に現場に立ち、自分の眼で確かめ、権威におもねず、

攻められる側に身を置く視点　「現場・人間主義」を貫いた巨星

「経済評論家　内橋克人氏　逝去」の訃報に接して 懐い出すままに

2021.9.5.　Mutsu Nakanishi



2021.9.18.　久しぶりに歩いた横尾道　なんとかロング゜歩行OK　秋の草花をみながらの散歩道　気分も随分楽になりました。



2021年10月　3ケ月ぶりの HP「和鉄の道•Iron Road」の更新

2021年10月　神戸便り　初秋から深まりゆく秋へ

6 月末足の踵骨折治療で入院　折しも新型コロナ蔓延で外部の人との接触アウトの雪隠詰めの足を地につけられぬ車椅子生活。今年の酷暑の夏を丸々病院で過ごし、退院した時はもう初秋。色々ご心配かけましたが、今は元気に活動をはじめています。ありがとうございました。

空白の 3 ケ月この間　ひしひしと時代が変わると感じた日々。　色々暇に任せて、メールや LINE で病院から発信してきたことなどを含め、10 月のホームページ更新として発信させていただきます。

もう　自分の時代ではないと感じる昨今ですが、まだまだ好奇心旺盛　気力もあり、足も復活。とぎれとぎれになりそうですが、元気に前向いて発信をと。

後期高齢者だからとは言えなくなった新型コロナへの戦い　そしてポストコロナの時代へ

みんなの一番の願いは穏やかな日常の社会生活を取り戻せること。

前向いてがんばりましょう

仲間の元気は　みんなの応援歌 !!　　頑張りすぎず、時には声をあげて !!

お互いスクラム組んで　助け合ってこの難局を乗り越えましょう

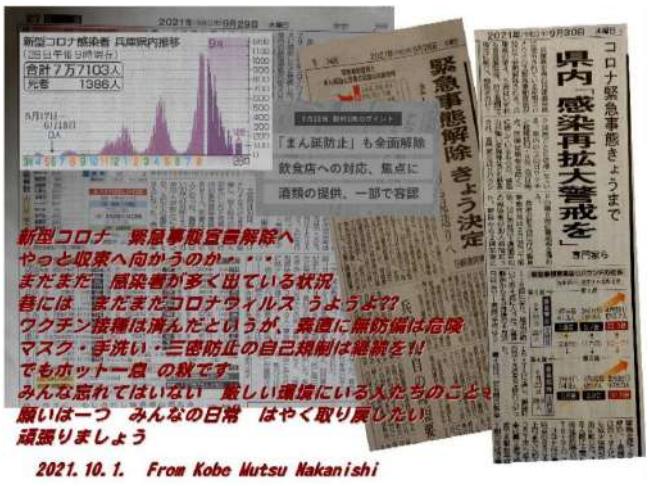
笑顔で逢えるのを　楽しみにしています

ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば

まだまた厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか　無理せず、元気に前向いてお過ごしください

God Be With You!!

2021.10.5.　　From Kobe　　Mutsu Nakanishi







妙法寺 車の里で　　車大歳神社の社殿崩落を守った車大歳神社の巨樹大楠　鎮守の森の大楠にもありがとう

踵骨折から約２ケ月９月始めに退院　街中での歩行練習の許可が出て、９ 月始めから街中での歩行練習に精を出す毎日。まだまだ　坂道やロングで歩くと足が痛くなるのですが、やっと足をかばうことなく歩けるように。

私の住む西神戸山麓バイパス妙法寺・名谷の住宅地は幾つもの丘が連なるので、坂道はなかなか手ごわいのですが、毎日の歩行練習の中で、ちょっとずつ足を伸ばし、おかげで　平坦な街中では、普通に歩ける時期に。気がつくともうすっかり初秋。

毎年初秋に西神戸、加古川東岸などの田園地帯に咲く秋の草花をめぐる稔りの里 walk。私の秋の草花を訪ねる秋迎え。なんとか歩行練習しながら近場の田園を巡りができました。



一番嬉しかったのは私の住むすぐ下の妙法市車集落の鎮守　車大歳神社のがけ崩れと社殿復興工事がほぼ完成して、社殿倒壊を守った崖の巨樹大クスノキがもられるようになった。

崖にガッチリ根を張りがけ崩れを最小限に食い止め、社殿全壊を守ったクスノキ。修復工事が始まって約２年　巨樹の根本を触っては「気」をもらうのですが、やっと工事がほぼ完成し、周辺整備も進み、崖下の妙法寺川辺からその巨樹全体が見られる。以前は巨樹全体を眺めるポイントがなかったのですが、崖にしっかり立って仁神社社殿を守った堂々とした姿が見て取れる。　本当にすごい　村の鎮守の守り神　時を同じくしての退院。本当にありがとうと。

すごいなあ・・　巨樹を眺める眼がまた一つ増えました。

また、なんとか今年も近くの田園地帯の秋の草花を巡る秋迎え。

例年にもまして美しく、秋の草花にもありがとう。少しづつ伸ばせば山も登れそう。長期戦　でも自信つきました。

街中であれば、もう普通に。　コロナもこのまま収まって、　早く普段の生活取り戻したいですね。

みんなに支えてもらって　ありがとう。

2021. 9. 18.　Mutsu Nakanishi

◎　Photo Album　真っ青な空　秋の草花が稔りの里を彩る里の秋巡り

毎年恒例　私の秋迎え　西神戸・東播磨の田園を彩る秋の風物詩

HP でも短いスライド動画を掲載して　みのりの里を飾る秋の草花を紹介しています

秋の草花　花言葉のキーワードは「思い出・思い出」でもその思いはひとそれぞれ

秋の夜長　ゆったりと　BGM を聞きながら　思いにふけるのも　激動の今心休めになるかも



私の秋迎え　今年もスライド動画にもして、秋の夜長を楽しんでいます









<フジバカマ>



藤袴の花言葉
「ためらい」「躊躇」「遅れ」、「あの日を思い出す」
藤袴の咲き方から、花言葉が生まれたという

<ヒガンバナ>



彼岸花の花言葉「情熱」「独立」
「想うはあなた一人・また会う日を楽しみに」
「悲しい思い出」「再会」「あきらめ」

<ソバ>



蕎麦の花言葉気
「懐かしい思い出」

それぞれの花言葉にも思い入れいっぱい　人それぞれ

◎　今後の和鉄の道•Iron Road 更新維持について

今回の HP の更新も含め、最近は神戸を中心とした私の風来坊 walk が主に。私にとってはその年ごとの行動記録の財産なのですが、ライフワーク目的が随分変わっていますが、続ける中で価値も生まれるだろうと。
勝手な解釈しています。

HP　当初の取り組み目標だった製鉄遺跡探訪を中心とした　たたら製鉄　和鉄の道　鉄のルーツ探訪。
約 10 年にわたる愛媛大村上恭通教授らのユーラシア大陸鉄の電波の道探求の研究成果シンポに聴講参加させていただき、教えてもらった人工鉄の起源から日本への伝播の道(Iron Road)を自分なりにまとめをして一段落に。また、鉄のない時代「日本の縄文」の世界遺産登録が決定され、こちらも一区切り。
私の HP もほぼ幕を閉じてもいいかなぁ‥‥と漠然と。

和鉄の道•Iron Road 今一番の興味は、このポストコロナの時代　地球温暖化の課題解決が急務になる中で、炭酸ガスを大量に放出する近代製鉄業が突きつけられた大逆風。
日本の鉄鋼は新しい時代へ道を切り開けるのか‥‥‥
鉄の惑星地球の上で　幾多の苦難を乗り越え人類繁栄の道を切り開くパートナーであった「鉄」
ポストコロナの時代と鉄
自分ではもう　何も提供できませんが、鉄の底力を信じつつ、大きな興味を持ってこの和鉄の道•Iron Road から眺めてゆきたいと。ご了解ください。また、歳老いて　毎月更新する力なく、不定期随時更新でこのホームページを進めてゆくつもりです。頭　気力は衰えつつありますが、興味•好奇心はまだまだ旺盛　勝手気ままな風来坊
そんな気分でもうすこし、この HP を進めてゆきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。
なんといっても　まずは　コロナが収束し、一日も早く　安定した穏やかな生活　生活基盤が確立できますようお互い頑張りましょう。

◎経済評論家　内橋克人さんご逝去

今の行き過ぎた市場中心主義経済に古くから警鐘を鳴らし続け、人重視の経済への転換を主張し続けた経済評論家内橋勝人さんがこの 9 月に逝去され、残念でなりません。
私の HP の道にも何度もご紹介させていただいた内橋克人さん。　行き過ぎた市場経済主義に警鐘を鳴らし、人間重視の視点を貫かれた。
おりしも季節は夏から秋へ。近くの西神戸や加古川西岸の田園では秋の草花が咲き乱れ、素晴らしい郷景色。
薄ピンクの小花をいっぱいつけて群生するショウジョウバカマ　実りの里の田の畔を真っ赤に縁取るヒガンバナ
そして　岡に挟まれた狭い傾斜地前面を真っ白に染めるソバの花
西神戸　秋迎えの花　花言葉をしらべるとみんな「想い出　思い出」につながっている。
ことしはいつになく美しい秋景色
思えは内橋克人さんも神戸の人　内橋克人さん手向けの秋景色とも。
また秋迎えごと　花を見ると内橋さんを思い出すだろう
God be with You!!　　ほんとうにありがとう　いまはやすらかにと

2021.10.5.　HP 10 月更新を終えて　ページを眺めつつ　　Mutsu Nakanishi

【2021年10月　From Kobe】

常に現場に立ち、自分の眼で確かめ、権威におもねず、攻められる側に身を置く視点

「現場・人間主義」を貫いた巨星

「経済評論家　内橋克人氏　逝去」の訃報に接して 懐い出すままに

2021.9.5.　　Mutsu Nakanishi


内橋克人さん死去

人重視の経済に信念

評伝　市場原理主義に警鐘

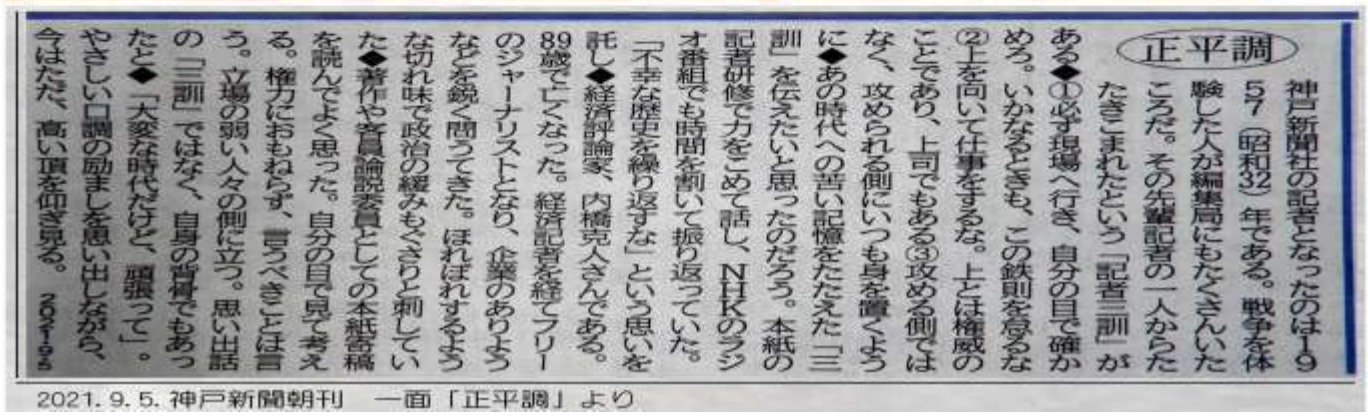

追悼

神戸新聞

2021年9月5日 日曜日

内橋克人さん死去 89歳

本紙客員論説委員 評論家、共生経済提唱


正平調

神戸新聞社の記者となったのは1957（昭和32）年である。戦争を体験した人が編集局にもたくさんいたころだ。その先輩記者の一人からたたきこまれたという「記者三訓」がある◆①必ず現場へ行き、自分の目で確かめろ。いかなるときも、この鉄則を怠るな②上を向いて仕事をするな。上とは権威のことであり、上司でもある③攻める側ではなく、攻められる側にいつも身を置くように◆あの時代への苦い記憶をたたえた「三訓」を伝えたいと思ったのだろう。本紙の記者研修で力をこめて話し、NHKのラジオ番組でも時間を割いて振り返っていた。「不幸な歴史を繰り返すな」という思いを託し◆経済評論家、内橋克人さんである。89歳で亡くなった。経済記者を経てフリーのジャーナリストとなり、企業のありようなどを鋭く問うてきた。ほれぼれするような切れ味で政治の緩みもぐさりと刺していた◆著作や客員論説委員としての本紙寄稿を読んでよく思った。自分の目で見て考える。権力におもねらず、言うべきことは言う。立場の弱い人々の側に立つ。思い出話の「三訓」ではなく、自身の背骨でもあったと◆「大変な時代だけど、頑張って」。やさしい口調の励ましを思い出しながら、今はただ、高い頂を仰ぎ見る。（2021.9.5）

2021. 9. 5. 神戸新聞朝刊　一面「正平調」より

高度成長期の行き過ぎた社会・経済をいつも現場・人間主義の視点で　その行き過ぎに警鐘を鳴らし続けた経済評論家。　内橋克人さんが９月１日逝去ょされたと５日朝の神戸新聞一面に大きく掲載された。

私にとっては　面識はありませんが、忘れてはならぬ人の一人。

穏やかな語り口で、その時期 時代に応じ経て　ゆっくりわかりやすく語りかけ、「今　なにをなすべきか・・・」と教えてもらった珠玉の言葉の数々。　私にはすっと頭に・・・・。

ややもすれば、体制批判や中央・リーダー層のゆきすぎをに警鐘を鳴らす視点から、中央からは遠ざけられてきたが、その視点・まなざしは常にブレることなく、真正面　ポイントをつく。

その提言は　現在のポストコロナの新しい時代の幕開けにも一層輝きを増している。本当に惜しい人だった。

中央で働いてほしかったなぁ・・・・と。

私にとっては会サラリーマンの壮年期　最も影響を受けた人の一人かもしれません。

高度成長期の製造現場の技術屋たちを取り上げた「匠の時代」の著作に出会ったのが最初、

単に脚光を浴びる成功物語として描くのではなく、現場で奮闘する技術屋ひとりひとりの姿にまで、目を向けて困難に立ち向かってゆく技術者の姿・そしてその姿勢に共感しつつ、教えられることが多かった。

内橋克人氏が神戸の人で神戸新聞の記者が出発点だったことを知ったのはずっと後年ですが、其の時々目にする評論やラジオから流れる言葉一つ一つにうなずき、楽しみだった。
毎朝６時40分NHKラジオのニュース番組▽マイ！Bizにスイッチを入れ、今日の出演者は???と。
内橋克人氏の評論が聞けると其の日はラッキー。　ラジオから流れる一つ一つの静かな言葉に頷くのが楽しみでした。
私のホームページの「神戸便り　From Kobe 」にも勝手ながら、何度も登場してもらって紹介してきました。
いま　振り返ると高度成長期から現在まで、悩んだときの道しるべ　　随分世話になってるなぁ・・・。
やさしさがほとばしる新聞に掲載された写真のお姿　ほんとうにありがとう
はただ安らかに天国で憩われますよう　　合掌

2021.9.5.　　From Kobe　　Mutsu Nakanishi



内橋克人さん死去

人重視の経済に信念

評伝

市場原理主義に警鐘

神奈川県鎌倉市の自宅でインタビューに応じる内橋克人さん＝2010年7月

神戸新聞の経済部記者時代の内橋克人さん＝1964年

７月16日早朝　ＮＨＫラジオ朝一番　ビジネス展望

『働き方の多様化とは何か』内橋克人　　2013.7.16.

内橋克人さんのビジネス解説　実に明快分かりやすい解説に
私には一番すっと入ってくる話になるほどと。

◎　多様な働き方・雇用・労働の多様化「働き方の多様化」と「働かせ方の多様化」は違う

◎　正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。

「日本ではこれが、ごっちゃにされて　都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。
同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、
雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。
正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、
いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバル　スタンダードが
非正規雇用を増やすことだとの錯覚を日本では植えつけられているが、
けっしてそんなことはない　」

と欧米の具体的な事例をひいて言う。

◎　例えば、『オランダモデル』。の例示

同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。
均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の２種類しか労働は存在しない。

前記の文を書きながら、私のホームページ「和鉄の道・Iron Road -神戸便り from Kobe」に掲載紹介してきた内橋克人氏の記事をもう一度読み返しました。
今も変わらぬ輝きのある内橋克人氏の評論・言葉。
バラバラに掲載していましたので、主要記事をリストアップ。
このコロナ禍の中　時代が大きく変わろうとしている日本の社会・経済
みなさまにとっても参考になればとリストアップしました。

和鉄の道・Iron Road　－2012年の初めにより　内橋克人氏「100年後へのメッセージ」
https://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf

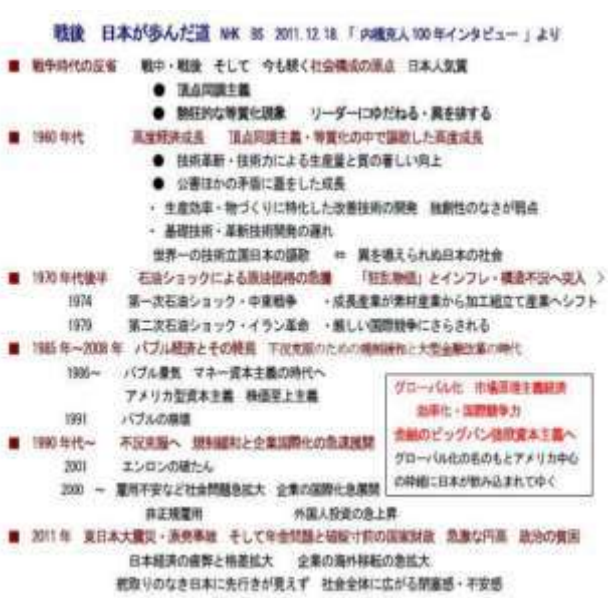
《内橋克人氏の提案する自立自給経済の創生》

【from Kobe　2012.1.1.　http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf より】

被災地だけでなく　日本の疲弊がますます露わに　人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して　新しい日本作りに踏み出そう
もう　気がつこう　マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
国際マネー主義から脱して　市場主語から人間主語へ
2011年12月18日　NHK BS 内橋克人　100年インタビューより

賢さをともなった勇気を持って　頂点同調主義から脱出　市場主義から人間主語へ
矛盾を解決することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生





現代の日本人に切々と訴えかけた　内橋　克人氏の「１００年後へのメッセージ」
NHK.BSプレミアム　２０１１年12月18日（日）放送
日本人は賢さを伴った勇気を持って行動しよう！－るいネット(ruijp)　2011/12/19
http://www.ruijp/ruinet.html?i=200&c=400&m=259697　より採取採録

○「日本人は一人一人が考え、しかっりと自分の足で立つことが出来なければ１００年後も変わらない」
○「戦前、戦後、お上に寄って立つ考えは変わっていない」
○「人間が紙くずのように捨てられる今の社会を変えなければいけない」
○「市場原理至上主義経済から人間が主語である経済社会に変えなければいけない」
○「日本人には賢さを伴った勇気が必要」

ホームページ「和鉄の道・Iron Road - from Kobe」に掲載紹介してきた内橋克人氏の記事リスト

◎和鉄の道・Iron Road　- 2012 年の初めにより

内橋克人氏「100 年後へのメッセージ」

https://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf

◎和鉄の道・Iron Road　From Kobe 2012 年１月

厳しさを力に　経済評論家　内橋克人氏１００年インタビューに共感して　by Mutsu Nakanishi

https://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/2012mutsu/fkobe1201.pdf

参考添付　内橋克人 NHK BS 2011.12.18. 放送 「内橋克人 １００年インタビュー 」 視聴メモ

◎和鉄の道・Iron Road　From Kobe 2013 年８月より

あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮

NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説を紹介

創造性の欠如した今の時代に異常気象にだまし絵をダブらせ今一番自分 にすっと入る

https://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf

◎和鉄の道・Iron Road　From Kobe 2013 年９月より

新書 藻谷浩介・NHK広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

今 日本で一番求められている地域を元気にする

日本再生への道「里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

https://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1309.pdf

◎和鉄の道・Iron Road　From Kobe 2018年12月より

日本の行く先がおもいやられる師走　数が頼りの薄っぺらな社会からの脱出へ 若者たちへの思いが募る

こんな思いを代弁して、神戸新聞 内橋克人氏ほかの評論にも

https://www.infokkkna.com/ironroad/2018htm/2018mutsu/fkobe1812uchihashi.pdf



朝日新聞　2021年(令和3年)9月8日(水)　13版　文化　22

闘う主張　現場の声支えに

経済評論家・内橋克人さんを悼む

寄稿 金子勝（立教大学大学院特任教授）

新自由主義の流れに警鐘

内橋克人（うちはし・かつと）さん。1日死去、88歳＝2014年撮影

正平調

神戸新聞社の記者となったのは1957（昭和32）年である。戦争を体験した人が編集局にもたくさんいたころだ。その先輩記者の一人からたたきこまれたという「記者三訓」がある◆①必ず現場へ行き、自分の目で確かめろ。いかなるときも、この鉄則を怠るな②上を向いて仕事をするな。上とは権威のことであり、上司でもある③攻める側ではなく、攻められる側にいつも身を置くように◆あの時代への苦い記憶をたたえた「三訓」を伝えたいと思ったのだろう。本紙の記者研修で力をこめて話し、NHKのラジオ番組でも時間を割いて振り返っていた。「不幸な歴史を繰り返すな」という思いを託し◆経済評論家、内橋克人さんである。89歳で亡くなった。経済記者を経てフリーのジャーナリストとなり、企業のありようなどを鋭く問うてきた。ほれぼれするような切れ味で政治の緩みもぐさりと刺していた◆著作や客員論説委員としての本紙寄稿を読んでよく思った。自分の目で見て考える。権力におもねらず、言うべきことは言う。立場の弱い人々の側に立つ。思い出話の「三訓」ではなく、自身の背骨でもあったと◆「大変な時代だけど、頑張って」。やさしい口調の励ましを思い出しながら、今はただ、高い頂を仰ぎ見る。 2021・9・5

2021. 9. 5. 神戸新聞朝刊　一面「正平調」より

2018. 11. 29.　神戸新聞（1・2面掲載）
「針路21」欄　内橋克人氏評論　整理転載

「安倍外交」の実相　針路21

目立つ内外の食い違い

内橋　克人
（経済評論家）



国を危うくする言い繕い

時の政権にとって「首脳会談」は効果絶大なパフォーマンスの場である。安倍首相とトランプ大統領との会談はすでに8回、プーチン大統領とは25回に及ぶ。

各国トップと親しく握手を交わすシーンが国民の目に焼きつけられ、「外交の安倍」がすり込まれる。米国首脳との“蜜月ぶり”演出の成果は支持率に響く。

その安倍外交に際立つ三つの特徴がある。まず首脳会談で何が話し合われ、何が合意されたのか、会談後に明かされる両首脳の発表に食い違いが目立つことだ。「日米通商交渉入り」をめぐるトランプ氏との会談、北方領土返還をめぐるプーチン氏との会談。いずれも直後に明かされた合意の中身に両首脳間で隔たりが大きい。

第二にそれら外交パフォーマンスには莫大な用意される。9月末、国連総会後の記者会見でトランプ氏は「日本はすごい量の防衛装備品を米国から買うことになった」と明かした。が、安倍首相自身はいまだ黙して語らず、だ。

第三に国会で重要法案審議中であれ、お構いなく足しげく海外に出向く。経済界首脳の大集団が“お供”する。

「外交の安倍」は何を生んだのか。冷静な総括が求められる時がきている。

国会での首相発言に合わせて事前、事後に新しい言葉と文脈がひねり出される。森友・加計問題では公文書まで改ざんされた。同じ手法の“使い回し”が、国際交渉の場で常態化すれば、日本という国の信用が傷われかねない。いま話題の「日米通商交渉」入りは「物品協定」（TAG）なのか、それとも「自由貿易協定」（FTA）を目指すものか。日米間で深まる認識格差が典型例といえる。

前者ならば農産物、工業製品など「モノ」の輸出入についての限定交渉であり、後者となれば投資から流通、金融、通信、サービスなど広範囲にわたる包括的通商交渉となる。それを多国間ではなく日米2国間で取り決めるというのだ。

今月9日の安倍首相と来日中のペンス米副大統領との共同記者会見。ペンス氏の発言をめぐって日本のメディアは混乱した。同氏の発言をFTAと訳して報道したNHKニュースはすぐさま訂正を迫られた。「（ペンス氏は）FTAとはいっていない」と日本政府は強弁する。

「Trade Agreement on goods」、晩にしてTAG。「日本製・造語」である。安倍首相が繰り返す「自由貿易協定（FTA）とは全く異なる」との発言に合わせて「つくり出された」。ちなみに記者会見でのペンス氏発言は「Bilateral Trade Agreement」（2国間協議の意）というものだった。

しかし、同氏は来日前後、自らのツイッターで「Free Trade Agreement」、すなわち広義のFTA交渉がこれから日米間で始まるのだとアップしている。

TAGとは国内向けの造語であり、それをムリヤリ通せば、さらなる齟齬が待ち構える。すなわち米国の「自動車」が世界貿易機関（WTO）加盟国のすべてに襲い掛かることになるからだ（WTO協定「第1条第1項＝最恵国待遇」の原則）。いずれかの国に与えた最も有利な待遇を、他のすべての加盟国にも与えなければならない、というもの。

唯一の例外規定がFTAなのであり、筆者はG日26日（日本時間27日未明）の首脳会談直後からその旨指摘してきた（NHKラジオ、農民新聞＝10月1日号など）。APP通信はその日のうちに「FTA交渉で日米合意」と報じている。

自動車への報復措置の発動がトランプ流ブラフ（脅し）の手裏剣だったという。

まずはTAG、次いでFTA――国内世論対策を裏の狙いとする安倍外交の二段階分離方式である。日本国内で「食い違いあり」とあせて、その実、ひそかな「合意」が形成されている、とも言えよう。国民の「知る権利」と「安全保障の秘密保護」の両立をうたう「ツウネン原則」の再確認が、日米国政府の緊急課題である。

（うちはし・かつと＝評論家）

こうした「食い違い」はプーチン大統領との首脳会談においても顕著だった。

「日本の安倍首相が先に握手してきた」とプーチン氏は国民メディアを前に口にした。歯舞、色丹2島の先行返還と合意した、というものだ。しかし、安倍首相は「あくまで4島だ。2島先行返還ではない。方針は変わっていない」と強弁を続ける。

微妙な各国評論と異次元の“言い繕い”見え、巧みな「言い繕い」をひねり出すのか。国の内外で使い分ける外交手法は国家的リスクをも伴う。国民の「知る権利」と「安全保障の秘密保護」の両立をうたう「ツウネン原則」の再確認が、日米国政府の緊急課題である。

（うちはし・かつと＝評論家）

「安倍外交」の実相　針路21

経済評論家　内橋 克人氏の経歴（1932年７月２日 生まれ ）。

兵庫県神戸市生まれ。兵庫県立星陵高等学校、神戸商科大学（現兵庫県立大学）商経学部卒業。神戸新聞記者を経て、1967年よりフリーとなる。

日本の高度経済成長を支えた現場の技術者たちを活写した『匠の時代』で脚光を浴び、一方で『「技術一流国」ニッポンの神話』において技術立国で向かうところ敵なしと言われていた日本経済が大量生産・大量消費を前提とした量産効果に依存しているという弱点を抱えていることを指摘。主流の技術評論家や経済評論家の楽観論を批判した。また、バブル崩壊後もよく唱えられている「改革」が剥き出しの市場原理主義に則っていて社会的費用を弱者に転嫁しかねないと指摘、アメリカ流の聖域なき構造改革に厳しく警鐘を鳴らし、その対抗思潮をいち早く展開した。

参考　インターネットで見つけた　内橋克人氏のメッセージと著作抜粋リスト

現代の日本人に切々と訴えかけた　内橋　克人氏の「１００年後へのメッセージ」

NHK.BSプレミアム　２０１１年１２月１８日（日）放送

日本人は賢さを伴った勇気を持って行動しよう！ - るいネット (rui.jp)　2011/12/19 より

http://www.rui.jp/ruinet.html?i=200&c=400&m=259697　より採取採録

番組のエンディングでは、お一人で視聴者に切々と語り掛け、心のそこからの訴えでした

○「日本人は一人一人が考え、しかっりと自分の足で立つことが出来なければ１００年後も変わらない」
○「戦前、戦後、お上に寄って立つ考えは変わっていない」
○「人間が紙くずのように捨てられる今の社会を変えなければいけない」
○「市場原理至上主義経済から人間が主語である経済社会に変えなければいけない」
○「日本人には賢さを伴った勇気が必要」

内橋克人氏が出版されている著書 <1>　出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』より抜粋

『原発への警鐘（講談社文庫）』は１９８６年
『「会社本位主義」をどう超える新しい企業社会のパラダイム』は１９９２年
『隗より始めよ(カッパ・ホームス) 日本企業の生存条件』 は１９９２年
『破綻か再生か日本経済への緊急提言』は１９９４年
『共生の大地（岩波新書） 新しい経済がはじまる』は１９９５年
『経済学は誰のためにあるのか市場原理至上主義批判』は１９９７年
『規制緩和という悪夢』は２００１年
『「人間復興」の経済を目指して』は２００２年
『「共生経済」が始まる（NHK 人間講座） 競争原理を超えて』は２００５年
『共生経済が始まる 世界恐慌を生き抜く道』は２００９年
いち早く新しい時代への提言を書かれています。

参考　著書一部抜粋 <2>　上記<1>のリストと一部重複しています

『共生経済が始まる 世界恐慌を生き抜く道』内橋克人　朝日新聞出版 2009/3
『〈節度の経済学〉の時代（朝日文庫） 階層化社会に抗して』内橋克人　朝日新聞　2006/05
『「共生経済」が始まる（NHK 人間講座」 競争原理を超えて』内橋克人　日本放送出版協会 2005/02
『「人間復興」の経済を目指して(朝日文庫)』城山三郎/内橋克人　朝日新聞（城山三郎と対談）　2004/10
『〈節度の経済学〉の時代市場競争至上主義を超えて』内橋克人　朝日新聞　2003/12 I
『「人間復興」の経済を目指して』城山三郎/内橋克人　朝日新聞 2002/05 I
『規制緩和という悪夢（文春文庫）』内橋克人/グループ2001　文藝春秋 2002/01
『破綻か再生か(講談社文庫) 日本経済への緊急提言』内橋克人　講談社 2001/11
『経済学は誰のためにあるのか市場原理至上主義批判』内橋克人　岩波書店 1997/07
『規制緩和という悪夢』内橋克人/グループ2001　文藝春秋
『共生の大地（岩波新書） 新しい経済がはじまる』内橋克人　岩波書店 1995/03
『破綻か再生か日本経済への緊急提言』内橋克人　文藝春秋 1994/02
『隗より始めよ(カッパ・ホームス) 日本企業の生存条件』内橋克人　光文社 1993/11
『「会社本位主義」をどう超える新しい企業社会のパラダイム』内橋克人　東洋経済新報社 1992/06
『原発への警鐘（講談社文庫）』内橋克人　講談社 1986/09
『新・匠の時代（インターフェロンから核融合まで） 2』内橋克人　サンケイ　1982/02
『新・匠の時代（「生命の海」を拓く） 1』内橋克人　サンケイ　1980/09

【 From Kobe 2012年1月 】

2012 年のはじめに 厳しさを力に

by Mutsu Nakanishi

2012 年が平和で穏やかな年であるように願っています



被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を

「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう

もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ

国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011 年 12 月 18 日 NHK BS 内橋克人 100 年インタビューより

急激な高齢化社会が進む中 米国を中心とした体制の中で 国際マネーと市場経済に翻弄され続けた一年。
地方は疲弊し、政府は膨大な財政赤字に手を打てないまま、雇用不安と年金問題も深刻さを増す。
そんな閉塞感漂う日本に、東日本大震災と原発事故が追い討ちをかけ、後半には超円高がさらに不況と雇用不安を増す。
また、行き着くところまで来た破綻状態の財政赤字が先行き経済に大きくのしかかり、社会全体を揺さぶり続けている。
稚拙な政治は相変わらず、財界・金融と中央中心 人よりも市場・企業相手では難局克服の道が見えない。

「日本だけでなく 世界はどこも同じ????」と信じていたが、ふと気がつくと 景気のよい新興アジア諸国ばかりでなく
ヨーロッパのドイツ・北欧諸国の好景気 そしてアメリカも景気回復基調にある。

「政府やマスコミは一般世論 われわれの感じている社会を代弁している」とはとても思えぬ中にいる。
何のことはない一番あおりを食っているのは日本。 さらに次は「円」が国際マネーの標的になる可能性があるという。

他人事のように思っていた非現実の厳しい現実が自分の目の前にひろがり、呆然と立ちすくんで、
ふと気がつけば、弱者の群れの中にいる自分。 そんな格差社会が猛烈な勢いの中でひろがっている。
そんな現実が被災地に浮き彫りされている。 社会の荒波の中にただ流されてゆくのみか・・・・・。
考えて見れば、日ごろ見るテレビの中に広がる世界の薄っぺらなこと 何の理念も持たず、考える道筋すら放棄。
経済評論家内橋克人氏が警鐘を鳴らす「**頂点同調主義・熱狂的な等質化**」をあおっているだけではないのか・・と。

今年は この現実をなんとしても みんなで乗り越えてゆかねばならぬ厳しい一年である。
一番活力のあった「高度成長の時代」の中核を担い、今度は急速に進行する老齢化社会の中心にいる私たち団塊の世代には、
「本当に今の社会が腑に落ちない」「どこで どうボタンを掛け間違えたのか」
「でも なんとか 方策はないのか・・」と考えるのですが、「マスコミや政治の説く対応に対抗できる知恵を持ち合わせていない」のが悔しい。

昨年 12 月 18 日 NHK BS で 「匠の時代」の著者 経済評論家 内橋克人氏の「100 年インタビュー 」放送があった。
常々朝の NHK ラジオ 朝一番「ビジネス展望」の番組で 常に社会弱者に眼を向けつつ、現在の経済・社会矛盾をわかりやすく解説し、一番自分の考えにあっていると感じている人である。
約1時間半 戦後から現在まで 国際化の波に現れながら成長してきた日本経済・社会の光と影を時代を追って、本当にわかりやすく丁寧に解説指摘し、今これから われわれは何をすべきか・・・日本の未来に何が必要か・・・を提言。
テレビにかじりついて1時間 画面に移される図にデジカメを向け、メモを取りながら見入っていました。

決して高ぶらず、穏やかな語り口ながら、今の社会への強い怒りと悲しみが渦巻き、声を詰まらせ、日本や世界の現実への警鐘や将来のあり方を視聴者に切々と語り掛けた。
私には「我々 団塊の世代が抱いてきた『生き方への疑問』に丁寧に答えてもらった」という気でいっぱいでした。

最近　一番感激したインタビュー　経済番組でした。

放送前　何度か「100 年インタビュー」の宣伝を見ましたので、通常の NHK 番組のごとく　再放送があるかと思ったのですが、いまだに　再放送のスケジュールなし。意図的な何かがあるのかも・・・・・

内橋克人氏　NHK.BSプレミアム　「100年インタビュー」2011年12月18日（日）

現代の日本人に切々と訴えかけた100年後へのメッセージ

○「日本人は一人一人が考え、しかっりと自分の足で立つことが出来なければ100年後も変わらない」
○「戦前、戦後、お上に寄って立つ考えは変わっていない　・　頂点同調主義・熱狂的な等質化」
○「人間が紙くずのように捨てられる今の社会を変えなければいけない」
○「市場原理至上主義経済から人間が主語である経済社会に変えなければいけない」
○「日本人には賢さを伴った勇気が必要」

るいネット　勝寛舟氏（徳島　）のまとめ　　日本人は賢さを伴った勇気を持って行動しよう！

http://www.rui.jp/ruinet.html?i=200&c=400&m=259697

番組を見てもらうのが筋なのですが、再放送がないので、内橋克人氏の思いを収めた私のデジカメ画像とメモをそのまま掲載させていただき、本年　年始め　一年を送るいましめとしたいと思っています。

皆様にはいかが映るでしょうか・・・・・

下記は　1.　規制緩和と市場主義がもたらした企業収益の分配構造の変化　と 2. 今後の日本がとるべき道

一番私が知りたかった事の図面で、日本全国を本当にギスギスした本当に厳しい社会に変質させてしまった。

当時　財界・金融に迎合した政権の責任は思い。

以下　私の　2011 年 12 月　NHK BS　「内橋克人　100 年インタビュー」の受け止めのまとめです。

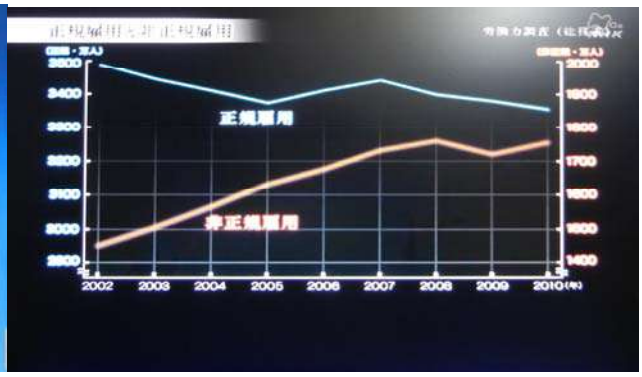
1. 1900 年代後半以降　国際競争・市場主義と規制緩和　が「働く」をどう変えたか

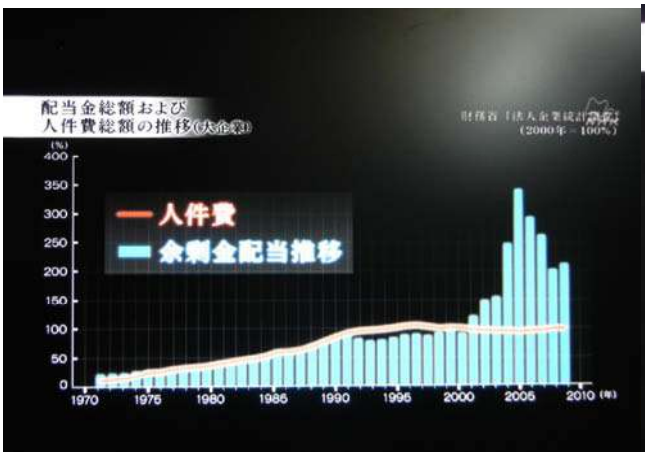
国際マネー資本主義経済に翻弄される日本が浮き彫りに

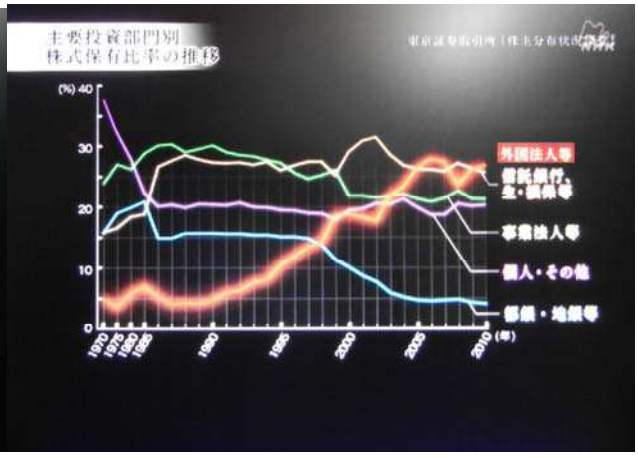
激烈な競争の導入と格差の増大　　企業・金融は国家を超えてゆく

国益と国民益の乖離









経済成長期からずっと日本経済を支えてきた「富める者が富めば、貧しい者にも自然に富が浸透（トリクルダウン）する」とする「トリクルダウン効果」の枠組みは 1990 年後半から完全に崩れ去っている。2000 年以降企業収益は国民に還元されず、海外へ流出している。国際企業の原理からは至極当然である。

したがって、国際競争力・市場主義を楯に企業・金融優遇の政策では日本国民の生活は安定化しないし、国・国民の復興はなしえない。企業は国境を超え成長　収益は株主・外国人投資家に。国益と国民益の乖離がいちじるしい。

努力しても報われない社会　一人の勝者のために９９人が敗者の社会が進行しつつあることに強い怒り。

今　頂点同調では生活は守れない　自らの声を挙げよう

2. もうひとつの経済学「理念型経済学　−市場主語から国民主語の経済−」の提唱

矛盾を解決することで、成長を生むことで「マネー資本主義に対抗する経済

これらの自立・自給がないと　国際マネーの餌食となる

国際企業・金融依存から脱し、日本の社会の自己矛盾の源　食糧・エネルギー・高齢化〔介護・医療〕の分野で

FEC 自立・自給圏経済 を構築してゆく以外に、新しい日本の道はない。



- 自給自立型農業の構築　　「ゆず」栽培から加工で30億円規模に成長した高知県馬路村
- 自然・再生エネルギーでエネルギーの自立
  自給率数パーセントが市民共同発電など自然・再生可能エネルギーで自給率200パーセントを達成したデンマーク
- 地域住民による自給・自立の介護の機構　　介護・医療は今やビジネス構築の必要な先端産業
  被災した釜石には自給圏構築が芽生えている





- 頂点同調から脱して声をあげよう
- 賢さを伴った勇気を

市場主語から国民主語の自給圏経済構築へ

この内橋克人さんの話　震災を受けた東北の復興には町の核となる　神社と寺　そして文化(祭り?)の整備が欠かせないという「東北学」の赤坂憲雄氏の話　そして私のよく使う「縄文帰り −縄文人の知恵−」の話と根は一緒だと感じています。

戦後　日本が歩んだ道　NHK　BS　2011.12.18.「 内橋克人 100 年インタビュー 」より

■ 戦争時代の反省　　戦中・戦後　そして　今も続く社会構成の原点　日本人気質

- 頂点同調主義
- 熱狂的な等質化現象　　リーダーにゆだねる・異を排する

■ 1960 年代　　高度経済成長　　頂点同調主義・等質化の中で謳歌した高度成長

- 技術革新・技術力による生産量と質の著しい向上
- 公害ほかの矛盾に蓋をした成長

・ 生産効率・物づくりに特化した改善技術の開発　独創性のなさが弱点

・ 基礎技術・革新技術開発の遅れ

世界一の技術立国日本の謳歌　　⇔　異を唱えられぬ日本の社会

■ 1970 年代後半　　石油ショックによる原油価格の急騰　　「狂乱物価」とインフレ・構造不況へ突入 ＞

1974　　第一次石油ショック・中東戦争　　・成長産業が素材産業から加工組立て産業へシフト

1979　　第二次石油ショック・イラン革命　　・厳しい国際競争にさらされる

■ 1985 年～2008 年　バブル経済とその終焉　不況克服のための規制緩和と大型金融改革の時代

1986～　　バブル景気　マネー資本主義の時代へ

アメリカ型資本主義　株価至上主義

1991　　バブルの崩壊

■ 1990 年代～　　不況克服へ　規制緩和と企業国際化の急速展開

2001　　エンロンの破たん

2000　～　雇用不安など社会問題急拡大　企業の国際化急展開

非正規雇用　　外国人投資の急上昇

グローバル化　市場原理主義経済
効率化・国際競争力
金融のビッグバン強欲資本主義へ
グローバル化の名のもとアメリカ中心の枠組に日本が飲み込まれてゆく

■ 2011 年　東日本大震災・原発事故　そして年金問題と破綻寸前の国家財政　急激な円高　政治の貧困

日本経済の疲弊と格差拡大　　企業の海外移転の急拡大

舵取りのなき日本に先行きが見えず　社会全体に広がる閉塞感・不安感

〔　新しい日本　新しい経済学の構築　〕

賢さをともなった勇気を持って　頂点同調主義から脱出　市場主義から人間主語へ

矛盾を解決することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生





理念型自給経済
その芽はすでにある
FEC 自給圏の創生

- 高知　馬路村　ゆずの生産・加工で 30 億円/年
- デンマーク　自然再生エネルギーで電力自給率数% →200%へ
- デンマーク　高齢者社会の拡大の中　介護・医療の市民・地域ビジネスの構築

参考　内橋克人　NHK BS　2011.12.18. 放送

「内橋克人　100年インタビュー　」　視聴メモ　by Mutsu Nakanishi

経済評論家　内橋克人　NHK 100 年インタビュー2011. 12. 18.　の　内容受け止め　by Mutsu Nakanishi









日本が高度成長を達成し、
技術立国日本を謳歌した時代から、
技術立国にかげりが出始める時代・
国際市場競争・金融の
マネー資本主義の時代へ
エンジンは頂点同調主義・熱狂的等質化現象
戦中からの日本人像がそのまま引き継がれ、
日本の経済成長の原動力になってゆく。
幅の広い中産階級が形成され、国民は小市民意識に沸く
国民益と国力が一致との幻想に浸る時代



国際化の波の中　経済立国日本に酔いしれ、その矛盾や実像に目を向けることなく輝く明日の日本を信じきっていた時代である
日本人の特質　頂点同調主義・熱烈な等質化現象のもとで、高度成長を遂げ、それぞれが益を実感できた時代である
１９８０年代　オイルショックとマネー資本主義の台頭・企業の厳しい国際競争激化の中で
日本繁栄の時代はもろくも崩れ去り、厳しい現実に去らされる時代がやってきた。



国際競争・市場主義と規制緩和
マネー資本主義経済に
翻弄される日本が浮き彫りに
激烈な競争の導入と格差の増大
企業・金融は国家を超えてゆく
国益と国民益の乖離

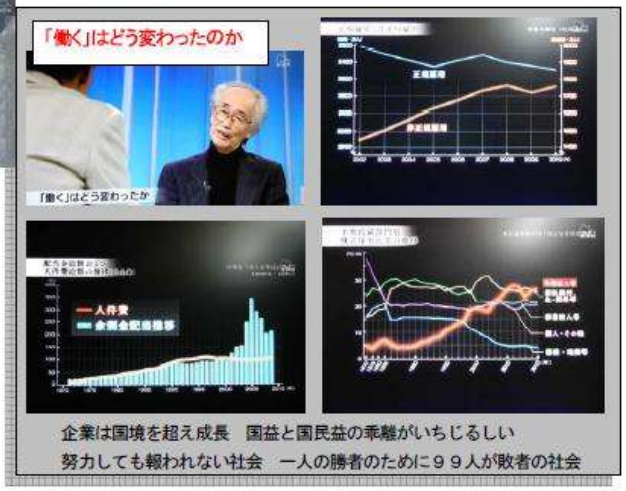








言業の本質を明確にしない
まま規制緩和が進み
社会・労働の変質が起こる。
勝者は誰か・・・・



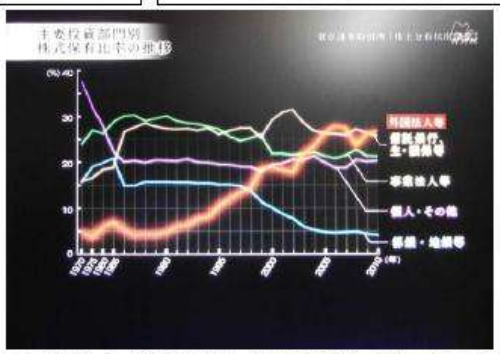
企業は国境を超え成長　国益と国民益の乖離がいちじるしい
努力しても報われない社会　一人の勝者のために９９人が敗者の社会



マネー資本主義 と ビッグバン・アプローチ
強欲資本主義の席巻
市場経済への移行は全面的かつ短期間のうちに実現されなければならないとする考え方
頂点同調の日本、なすすべもなくIMFを中心とするアメリカの支配体制の中に組み込まれてしまった。
〔パックス アメリカーナ〕

トリプルダウン効果
「富める者が富めば、貧しい者にも自然に富が浸透(トリクルダウン)する」とする政治思想「金持ちを儲けさせれば貧乏人もおこぼれに与れる」と主張することから、「おこぼれ経済」とも通称される。
この流れが閉ざされていることを法化無理したままで 規制緩和が進行し、社会不安・労働の変質が急速に進む





経済成長期からずっと日本経済を支えてきたトリクルダウン効果の枠組み今完全に崩れ去っている。

2000 年以降企業収益は国民に還元されず、海外へ流出している国際企業の原理からは至極当然であり、これに頼っても日本国民の生活は安定化しない

今 頂点同調では生活は守れない自らの声を挙げよう

トリクルダウン効果の枠組み今完全に崩れ去っており、 現在の国際競争力・市場主義を楯に企業・金融優遇の政策では国・国民の復興はなしえない。

震災 & 原発事故から見えた日本



頂点同調にまかせると 震災復興の名を借りた 惨事便乗型資本主義の復興が進む危険
淡路阪神代震災でも見られた人不在の復興の推進 箱もの〔建物ほか〕・筋もの〔道路ほか〕

もうひとつの経済学「理念型経済学 −市場主語から国民主語の経済−」の提唱
矛盾を解決することで、成長を生むことで「マネー資本主義に対抗する経済 これらの自立・自給がないと 国際マネーの餌食となる





トリクルダウン効果の枠組み今完全に崩れ去っており、 国際競争力・市場主義を楯に企業・金融優遇の政策の中で 国民の閉塞感と不安感はぬぐえない。
国際企業・金融依存から脱し、特に 現日本の社会の自己矛盾を生んできた源 食糧・エネルギー・高齢化〔介護・医療〕の分野で自立してゆく以外に、新しい日本構築の道はない。

- 自給自立型農業の構築
「ゆず」栽培から加工で30億円規模に成長した高知県馬路村
- 自給率数パーセントが市民共同発電など自然・再生可能エネルギーで自給率200パーセントを達成したデンマーク
- 介護・医療は今やビジネス構築の必要な先端産業



「理念型経済学 −市場主語から国民主語の経済−」の構築の実現は可能
矛盾を解決することで、成長を生むことで「マネー資本主義に対抗する経済
これらの自立・自給がないと 国際マネーの餌食となる



- 頂点同調から脱して声をあげよう
- 賢さを伴った勇気を

市場主語から国民主語の経済構築へ

〔参考〕　NHK100年インタビューと同じ論旨の記事が　2012.1.8.朝日新聞に掲載されました

2012年1月8日 日曜日　朝日新聞朝刊13面

再生 日本政治

貧困の多数派 歯止めを

経済評論家 内橋 克人さん



うちはし・かつと　1932年生まれ。神戸新聞記者を経て経済評論家。90年代から一貫して市場原理至上主義、新自由主義的改革に警鐘を鳴らしてきた。主な著書に「悪夢のサイクル――ネオリベラリズム循環」「共生経済が始まる」など。（相場郁朗撮影）

――現代日本の問題点はどこにありますか。

「日本社会でも新たな階層が生まれてきている。国民皆年金など基礎的な社会保障からさえも排除された人たちが多数派となる『貧困マジョリティー』だ。グローバル化やマネー資本主義が進み、非正規雇用が増えて中間層が崩壊する社会の到来は、危険な時代への予兆ではないか」

――貧困マジョリティーの特徴とは。

「米国はじめ国内外の最強の秩序形成者に抵抗する力もなく、生活に追われて政治的な難題に真正面から対峙（たいじ）するゆとりもない。同時に、精神のバランスを維持するために『うっぷん晴らし政治』を渇望する。政治の混乱を面白がり、自虐的に、極めて反射的に、表面的に評価して、選挙権を行使する。大阪市の橋下徹市長の『ハシズム現象』も貧困マジョリティーの心情的瞬発力に支えられている面が大きい。『地方公務員は特別待遇を受けている』とバッシングし、閉塞（へいそく）状況下の欲求不満に応えていくやり方だ」

――政治に対する閉塞感が国民の方向性を誤らせるということですか。

「『政治のリーダーシップ不足』と言われるが、民主政治を基盤とする国でのヒーロー待望論ほど異常なものはない。日本古来の『頂点同調主義』に加え、異議を唱える者を排除する『熱狂的等質化現象』が一体となる。『うっぷん晴らし政治』の渇望を満たそうとすれば、1930年代の政治が繰り返される。グローバリズムが生み出した『貧困ファシズム』の培地となりかねない」

――政治課題は山積しています。

「いまの政党政治は一挙に崩れる瀬戸際にある。今年は多くの国で政権交代が起き、政治的に極めて流動化する。グローバル化の流れは変わらず、市場原理主義のもとで、貧困マジョリティーを生み出す『貧困の装置化』が進んでいる。消費増税によって、零細企業や地域経済を支えてきた地場産業は、価格転嫁できずにコスト引き下げを迫られる。所得税なら稼いだ人がたくさん納めるが、日本型消費税は貧困マジョリティーを増幅させる『貧困の装置化』の手段になる」

――環太平洋経済連携協定（TPP）についてはどうですか。

「これも同じ。米国の政権が代わっても、米シンクタンクは一貫して『投資の絶対的自由の保障』を求めてきた。日本がTPPに入れば、外資は日本政府を米国の経済法廷に訴えることができる。米企業はオーストラリアでの医薬品への公的補助でさえ『自由市場に反する』と問題視している。日本の国民皆保険制度も目の敵にしているが、これは豊かな人も貧しい人も、ひとたび体を害せば医師にかかることができる制度で、国民的財産、社会的共通資本だ。それが毀損（きそん）され、一部企業のビジネスチャンスになる。弱いところに社会的変動の影響が収斂（しゅうれん）する」

――日本の政治は何を目指せばいいですか。

「私は新たな基幹産業として『FEC自給圏』を提唱してきた。FはFood（食糧）。日本の穀物自給率は世界で124番目だが、食糧自給は国の自立条件で新たな産業も形成する。EはEnergy（エネルギー）。再生可能エネルギーとしてデンマークでは風力発電、太陽熱発電を推進し、エネルギー自給率が今では200％近い。日本は国策として原発に集中し、ほかの選択肢を排除した。CはCare（介護）。市場に任せるのではなく、社会による介護自給圏を形成すれば北欧諸国のように強力な産業になる」

「『うっぷん晴らし政治』ではなく、世界のモデルに目を向け、食糧、介護、エネルギーの自給圏を志向すべきだ。地味でもいいから、グローバル化の中で、それに対抗できる『新たな経済』を作ることが本当の政治の役割だと思う」

（聞き手・園田耕司）

【From Kobe 2013年8月 】

ひまわりの夏の便り



あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮

「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介

日本社会全体に言葉とはうらはら 創造性のない時代 異常気象にだまし絵をダブらせて

2013.8.1. by Mutsu Nakanishi from Kobe

一枚の絵が眺める人の心理状態によって 幾通りかの絵に見える絵を「だまし絵」といい、何回がこのだまし絵について触れたことがある。 「即物的に見た」といっても その見た人の心理状態によって、見えているものの危うさによく注意せねばならぬと。

先日 高校時代の仲間が自分の研究中の「哲学」についての著書を送ってくれたのですが、そんな難しい本など歯がたたぬだろうなぁ・・・・と気楽に読みはじめたのですが、面白い。

> 「哲学」「心」というのは、「本能」といった一面的なものでなく 人が生きてきた過程の中でそれぞれが作り上げたもの。したがって、「日本人の心」・「日本人の哲学」といっても 複層的なものとして捕らえるべきものだと。欧米の人の考え方も同じだ。

このことを頭に入れて思考することが大切と繰り返し数多くの実例を引いて述べられていた。

難しい内容は別にしてあれあれ・・・と。

「哲学って 揺るぎのない真理というか 確固たるひとつのもの」と思っていましたが、そんなものか。

難しいものと思っていましたが、案外私たちの身近な考えの中にあると気楽に思えたのは収穫。

また、「だまし絵」の見方と一緒やなぁ・・・・・と。

だまし絵をちらつかせての参議院選挙が終わって、自民党の圧勝。 また、政治の向かう価値観の急転が心配になる。小泉内閣の規制緩和・国際競争・グローバル化で一般庶民を窮地に追いやった人たちが、ブレーンとして復権し、 声高にアベノミックスを叫んでいるのにはもう沢山だと。

「だまし絵」を知っていて「見抜けなかった」と価値観を転換させた言い訳　言い逃れの隠れ蓑として、あまりにも多い「想定外」「経験したことがない」との勝手な納得。
これで物事を済ませてしまう風潮を作り出した人たちでないか・・・・。
言葉の遊びで切り抜けてしまう創造力の欠如が、数を頼み、「スピードだ　グローバルだ」と押し進んでゆく。
そんな累々とした失敗が、ここ数十年続き、ものづくり日本の遺産も働きもので勤勉な日本人の特質も見失い、格差の小さい社会ももはや過去のものになってしまって、　そこには理念も信念もないセツナに縛られた弱肉強食の競争社会まっしぐらである。だまし討ちに会わぬ創造的な社会形成が今ほど必要なときはない。

「想定外や経験したことがないのは異常気象だけでない」
社会みんなが、そんな言葉で思考を停止していると思える最近の社会状況。
親方日の丸・グローバルな大企業や銀行・金融がわれわれの生活を守ってくれるのだろうか・・・・。
きっちりとしたプログラムを打ちたてて創造的な展開を進めないと日本は益々おかしくなるのではないか・・・・
もう楽観的には見ておれぬところでのアベノミックス。「明日はわが身」が迫り来る。
「だまし絵」発想を打ち破らねば・・・・・。　さしずめ、それを見抜かねば・・・・・と。

そんなおり、7月16日早朝　ＮＨＫラジオ　朝一番　ビジネス展望　『働き方の多様化とは何か』
内橋克人さんのビジネス解説　実に明快分かりやすい解説に　私には一番すっと入ってくる話であるになるほどと。
◎　多様な働き方・雇用・労働の多様化　　「働き方の多様化」と「働かせ方の多様化」は違う
◎　正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。
「日本ではこれが、ごっちゃにされて　都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。
同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。
内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、
「　国際競争力をつけるようなグローバル　スタンダードが　非正規雇用を増やすことだとの錯覚を
日本では植えつけられているが、けっしてそんなことはない　」と欧米の具体的な事例をひいて言う。
◎　例えば、『オランダモデル』。の例示
同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。
均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。
まさにだまし絵のなぞ解き　いつもながら　私には一番納得できる筋道である。

今や　技術力・ものづくりが群を抜いているなど幻想に過ぎなくなっている日本。
創造力のない目先だけの金融中心の効率・大量生産・使い捨て経営が日本の物づくり現場を打ち壊してきたのはもう否定できない事実である。もっとほかにやる道はなかったかと自答するのですが・・・・
アベノミックスもまたぞろ　そんな反省もないグループの復権に見えて仕方がないのは私だけか??。
皆さんにはどう見えているでしょうか・・・・いずれにせよ、東京中心主義を脱却して　落ち着いた世に早くなってほしいものです。
参考1　昨年10月に全国を対象に実施された『今、日本人はどのような環境で働いているのか』調査では
パート・派遣などの非正規で働く人の数が、2043万人と、初めて2000万人を突破し、雇用全体に
占める割合も 38.2%、つまりほぼ4割程度に達していると聴く。
◎　２０年前に比べると、非正規で働く人の数は、ほぼ2倍にまで増えている。
◎　正社員だった人が転職するとその内40%以上が非正規で働かざるを得なくなっている。
◎　25歳～ 34歳の若者層では 、3人に1人以上の人が非正社員である。
高校や大学を卒業する時の厳しい就職環境を引きずったまま、働き続けざるを得ない。
こんな状況で雇用不安を感じない人たちって・・・・どんなグループだろうか・・・
政党公約だった非正規雇用をなくす方向は今やどこかで消えてしまっている。これもだまし絵だったのか・・・

【参考】　2013.8.23.　追加

「心の病　会社員２割増　」「心の病におびえて働く」

2013 年 8 月 22 日朝日新聞　大阪朝刊　1 面　＆ 3 面記事より



朝日新聞
8月22日 木曜日

心の病 会社員2割増
リーマン後3年 本社推計

「雇用不安」との指摘

心の病にかかるサラリーマンが増えている。大企業の社員約1600万人らが入る「健康保険組合」では、受診数が2011年度までの3年間で2割増えた。仕事のストレスが原因となる病気が大半。08年のリーマン・ショック後の景気低迷で、「企業のリストラが進み、雇用不安が広がった」との指摘が出ている。▼3面＝おびえて働く

厚生労働省がまとめた医療保険の利用状況調査から、働き手本人が心の病で通院や入院した件数をもとに、朝日新聞が推計した。財政難に陥り解散する健保組合が相次ぎ、全体の加入者数は年々減っているため、加入者1千人あたりの受診件数で比較。現在の調査方法になった08年度以降を対象とした。

心の病による受診件数はリーマン・ショックのあった08年度は1千人あたり延べ235件だったが、3年後の11年度は同280件と19%増。心の病以外の病気やけがも含めた受診件数は3年間で8%増え、心の病が全体の倍以上のペースで増えていた。

11年度の心の病の内訳は、うつ病などの「気分障害」が54%で最多。パニック障害などの「神経症性障害」と合わせて、長時間労働やストレスと関係が深い病気が8割超を占める。

世代別では40代が33%と最多で、30代も3割を超えている。20代と50代は10%台と少なく、働き盛りの年代で受診の多さが目立つ。

一方、中小企業の社員約2千万人らが入る「協会けんぽ」加入者1千人あたりの受診件数も、比較できる09年度と比べ9%多かった。健保組合の方が増えた割合が大きいのは、中小より大企業の方が受診をうながす態勢が整っているためとみられる。

精神障害による労災認定の件数は、10年度以降年間300件を超す高水準。関西大の森岡孝二教授（企業社会論）は「リーマン後、正社員の間でもリストラによる雇用不安が広がった。人が減るなかで多くの働き手が長時間働き、過労とストレスが高まっている」とみている。（牧内昇平）

サラリーマンの心の病が増えているのは、長時間労働やリストラへの不安、働き手をメンタルヘルスへの不安が襲っているためだ。本人にとどまらず、上司や同僚の周囲の不調のサインを見逃すことが大事だ。

心の病におびえて働く

「職場にばれたらクビかも」

仕事のストレス度は？

- 非常にたくさんの仕事をしなければならない
- 時間内に仕事が処理しきれない
- 一生懸命働かなければならない
- かなりは集中する必要がある
- 自分の部署内で意見のくい違いがある
- 自分の部署とはかの部署とはうまが合わない

（上記新聞記事の判読できる大きさへの拡大版を下に掲載しています）

********** 「心の病　会社員２割増」 **********



心の病 会社員2割増

リーマン後3年 本社推計

心の病にかかるサラリーマンが増えている。大企業の社員約1600万人らが入る「健康保険組合」では、受診数が2011年度までの3年間で2割増えた。仕事のストレスが原因となる病気が大半。08年のリーマン・ショック後の景気低迷で、「企業のリストラが進み、雇用不安が広がった」との指摘が出ている。▼3面＝おびえて働く

「雇用不安」との指摘

厚生労働省がまとめた医療保険の利用状況調査から、働き手本人が心の病で通院や入院した件数をもとに、朝日新聞が推計した。財政難に陥り解散する健保組合が相次ぎ、全体の加入者数は年々減っているため、加入者1千人あたりの受診件数で比較。現在の調査方法になった08年度以降を対象とした。

心の病による受診件数はリーマン・ショックのあった08年度は1千人あたり延べ235件だったが、3年後の11年度は同280件と19%増。心の病以外の病気やけがも含めた受診件数は3年間で8%増え、心の病が全体の倍以上のペースで増えていた。

11年度の心の病の内訳は、うつ病などの「気分障害」が54%で最多。パニック障害などの「神経症性障害」と合わせて、長時間労働やストレスと関係が深い病気が8割超を占める。

世代別では40代が33%と最多で、30代も3割を超えている。20代と50代は10%台と少なく、働き盛りの年代で受診の多さが目立つ。

一方、中小企業の社員約2千万人らが入る「協会けんぽ」加入者1千人あたりの受診件数も、比較できる09年度と比べ9%多かった。健保組合の方が増えた割合が大きいのは、中小より大企業の方が受診をうながす態勢が整っているためとみられる。

精神障害による労災認定の件数は、10年度以降年間300件を超す高水準。関西大の森岡孝二教授（企業社会論）は「リーマン後、正社員の間でもリストラによる雇用不安が広がった。人が減るなかで多くの働き手が長時間働き、過労とストレスが高まっている」とみている。（牧内昇平）

サラリーマンの心の病が増えている
健保組合に加入する働き手本人の、1千人あたりの延べ受診件数の合計。厚生労働省の「医療給付実態調査」をもとに推計

********** 「心の病におびえて働く」 **********

心の病におびえて働く

「職場にばれたらクビかも」

サラリーマンの心の病が増えているのは、長時間労働やリストラへの不安が、働き手をメンタルヘルス（心の健康）の不調に追い込んでいるためだ。本人によるケアはもちろん、上司や同僚が周囲の不調のサインを見逃さないことが大事だ。

▼1面参照

介護施設で働く東京都内の40代男性は2年前、うつ病と診断された。前の職場で、上司から毎日「辞めてくれ」と言われ、同僚のミスも自分のせいにされた。

疲れているのに眠れず、毎晩酒をあおった。台所で包丁を握って首にあてているのを、妻が泣きながら止めた。1年間の休職をへて今年3月、会社をやめた。

4月に介護スタッフとして再就職したが、いまも精神科に月1回通院し、抗うつ薬を飲んでいる。

前の職場で上司から叱られた場面を思い出し、1日に数回、気分が悪くなる。だが、職場では薬は飲めない。「うつ病の薬を飲んでいることが職場にばれたら、クビになるかもしれない。いつもビクビクして働いている」と語る。

サラリーマンの心の病が増えているのは、バブル経済崩壊後の1990年代から指摘する声もある。

過去30年ほどの医療保険の利用状況を調べた神戸大大学院の山岡順太郎研究員は「心の病の受診は90年代後半から増え、最近10年間で倍増した」と語る。

「自分の心と体との対話を、毎日心がけています」

うつ病を抱えながら、NPO法人で働く千葉県の50代男性は語る。

発症したのは、出版社で働いていた13年前。担当する雑誌や単行本の数が急に増え、毎日3時間ほど残業していた。帰宅後も仕事のイライラがおさまらず、不眠に悩まされた。病院で「抑うつ状態」と診断され、出版社を辞めた。

3年間の自宅療養をはさみ、2008年にNPO法人に再就職した。昼過ぎは体がだるくなるので、主な仕事は午前中にすます。「なんとか働いている状態。少しでもマシな人生を生きたい」と語る。

心の病が増えていることについて、山本晴義・横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長は「心の病への理解が広がり、受診の心理的ハードルが低くなった面もある」と分析する。

山本センター長によれば、ストレスゼロを目指さず、運動や余暇の時間をつくり、ストレスを解消する習慣づくりが大切という。本人が不調に気づかない場合は、上司や同僚が不調のサインを見逃さないことが求められる。（牧内昇平）

あなたのストレス度は？



- □ 非常にたくさんの仕事をしなければならない
- □ 時間内に仕事が処理しきれない
- □ 一生懸命働かなければならない
- □ かなり注意を集中する必要がある
- □ 自分の部署内で意見のくい違いがある
- □ 自分の部署とほかの部署とはうまが合わない



東京医科大「職業性ストレス簡易調査票」から抜粋。中央労働災害防止協会のホームページで自己チェックできる
http://www.jisha.or.jp/web_chk/strs/index.html

7月16日早朝　NHKラジオ朝一番　ビジネス展望

『働き方の多様化とは何か』内橋克人　2013.7.16.

内橋克人さんのビジネス解説　実に明快分かりやすい解説に

私には一番すっと入ってくる話になるほどと。

◎　多様な働き方・雇用・労働の多様化「働き方の多様化」と「働かせ方の多様化」は違う

◎　正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。

「日本ではこれが、ごっちゃにされて　都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。

同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、

雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。

正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、

いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバル　スタンダードが

非正規雇用を増やすことだとの錯覚を日本では植えつけられているが、

けっしてそんなことはない　」

と欧米の具体的な事例をひいて言う。

◎　例えば、『オランダモデル』。の例示

同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。

均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

新書　藻谷浩介・NHK 広島取材班

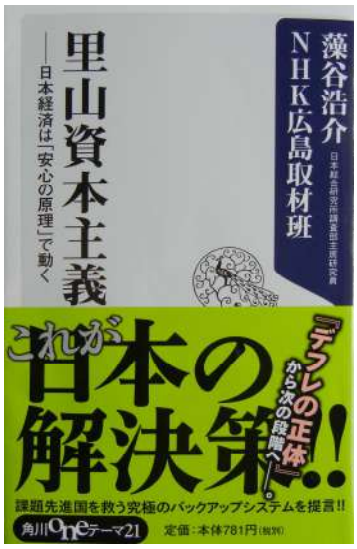
「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

今　日本で一番求められている地域を元気にする

日本再生への道「里山資本主義　& 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

2013.8.25.　　By Mutsu Nakanishi

「今　一番素直に自分の頭に入る」社会・経済論として何度か紹介した経済評論家内橋克人氏の論。内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」と趣旨をほぼ同じくする「里山資本主義」の具体的な構築論ならびに着々と推進が進む地域実践例が、この文庫本**「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」**に記されていましたので、ご紹介。



この本では「里山資本主義」の考え方や具体的な実践を「マネー資本主義」と対峙するのでなく、そのサブシステムとして構築推進することで、疲弊・過疎化から地方を再生し、日本経済変革の道が提案されています。

私の一番知りたかった具体的な地域自立自給経済圏の実践例をこの新書　藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で働く-」から、整理して紹介。

<< 内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」>>

「グローバリゼーション」「国際競争力」錦の御旗に大企業・大都市圏を中心とした中央集権的な「市場原理主義・金融マネー資本主義」「強欲資本主義」に警鐘を鳴らし続け、「市場主義から人間主語へ」の転換を求める内橋克人氏。

日本経済が大量生産・大量消費を前提とした量産効果に依存しているという弱点をいち早く指摘すると共に、「改革」が剥き出しの市場原理主義が社会的費用を弱者に転嫁しかねないと、アメリカ流の聖域なき構造改革に厳しく警鐘を鳴らし、「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済圏の創設を提唱する。

この自立自給経済圏とは　F（ﾌｰﾄﾞ）E（ｴﾈﾙｷﾞｰ）C（ｹｱ）をそれぞれの地域で自給する。

食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」にまで発展させて、地域の活性化を実現しようという考え方である。

《内橋克人氏の提案する自立自給経済の創生》

【from Kobe　2012.1.1.　http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf より】

被災地だけでなく　日本の疲弊がますます露わに　人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して　新しい日本作りに踏み出そう
もう　気がつこう　マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
国際マネー主義から脱して　市場主語から人間主語へ
2011年12月18日　NHK BS 内橋克人　100年インタビューより

賢さをともなった勇気を持って　頂点同調主義から脱出　市場主義から人間主語へ
矛盾を解決することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生

日本では新政権が発足しても、「アベノミックス」・「TPP」・「原発の推進」など経済対策・東日本大震災復興事業ひとつをとっても　中央集権的一辺倒の方向は相も変わらず、いまだに大企業･中央中心的なアメリカ流の「マネー資本」一辺倒。「実感のある豊かな生活を実現してくれる」との確信を持つ人がどれだけいるだろうか・・・・。

これら施策の果実を取り込んだごく一部の人を除き、格差は日増しに増大し、地方の疲弊はますます進み、その中身実

態が次々と垣間見えるにつれ､自衛の道を模索しつつも､無責任な楽観主義と社会不安･無力感の間をさまよっている。
　一方、特に震災地域の急速な生活復興や地方疲弊の脱却には　地域内での「マネー循環」が欠かせぬと思えるが、ここでも　地域外へのマネー流出を促す中央集権システムが顔を出しているという。
口で言うのはたやすいが、自立自給経済圏の創設の推進は難しい。なんとか　未来へつながる永続的な推進根業モデルが立ち上がらないと、これも絵に描いた餅になると・・・・・。
　まだ、日本の潮流にはなっていませんが､「マネー資本主義」から脱却した日本再生への新しいアプローチ道　が地方で始まっていることを記した　新書本　藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」を紹介。ご一読を。

2013.8.25.　From Kobe　by Mutsu　Nakanishi

新書　藻谷浩介・NHK 広島取材班
「　里山資本主義　-日本経済は『安心の原理』で動く-　」
内容　要約

1.「里山主義」　（新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」表紙横帯より）

かつて人間が手を入れてきた休眠資産を再利用することで､原価０円からの経済再生､コミュニティ復活を果たす現象。安全保障と地域経済の自立をもたらし、不安･不満･不信のスパイラルを超える。危機を超え未来を生む、すり潰されない生き方の提案として登場。

2.　里山主義による地域自立自給経済圏の実践を進める街の紹介

中国山地の山深いたたらの郷　岡山県真庭市と広島県庄原市（西城）

「里山資本主義」というネーミングに惹き付けられましたが、中国山地奥深い過疎地　岡山県真庭市やすぐ隣の広島県庄原市西城での　1.バイオマス発電を中心とした持続的な地域循環システム取組の話や 2.里山の雑木を燃料にした燃料効率のよい「エコストーブ」が「ストーブ」にとどまらず、原価ゼロの暮らし」のアイデアを次々と生む。
電気エネルギー消費の抑制や荒れ果てた農地･農業の再利用など地域自立の道を進める話。

- 真庭市の「バイオマス集積基地化」による地域持続型経済圏の推進
  真庭市の製材企業から出る「原価ゼロの資源」木屑を燃料ペレットに変えて、バイオマス発電・家庭燃料など熱燃料としてペレットを使うことにより､「発電」「製材」「ペレットボイラー」「ペレット生産」など地場産業を興す。
  現在　真庭市の消費エネルギーの 11%が木のエネルギーでまかなわれ、この数値はさらに上昇中
  地域の外へ金が流れ出るエネルギー収支が大幅改善し、地域活性化の源になっている。
- 庄原市西城　燃料効率 95%を超える家庭用「エコストーブ」の開発による森林エネルギーによる化石エネルギーからの脱却と原価ゼロ資源利用・里山再発見発想の町づくり

「バイオマス発電だけでは成立しないだろう」･「都会からやってきた人たちの気楽な田舎生活･スローライフの取り組みがしゃれた空気を街にふきこみはじめたのか・・・」などと懐疑的な目で読み始めたのですがさにあらず。
ペレット燃料の徹底的な活用。雑木数本で燃焼するエコストーブの高性能ぶりには目を見張る。都市から供給されねばどうしようもないと思っていたエネルギーがサブシステムとして自立し増加の道をたどっている。
「原価ゼロの暮らしとして　里山を食い物にしよう」というアピール。
この地の森林･製材から大量に出てくる原価ゼロ円の木屑などの資源をエネルギー資源に変える実践取り組みや、食料資源としての里山など、次々と実践アイデアを生みつつ、それが新たな産業・雇用を生んでゆく。
地域内エネルギー自給をめざす取組を軸に地域自立への道とその仕組みが示されてゆく。
過疎を逆手にとっての豊かな暮らしへ展開して行く取組が、行政も動かし、地域を変えてゆく。
外部に頼らずとも、持続的なシステムが着実に地域の中で育ち、地域を自立経済県に変化させ、街を活性化する。
こんな持続的な地域循環のシステムが過疎地に構築でき、地域を帰られる。それも　誰もが斜陽と思っている森・里山の資源を軸に・・・。外部からの金･産業・インフラを投入せねば地方の過疎化は食い止められぬとの思い込みが一気

に打ち壊され、懐疑的だったのが、吹っ飛んで「こんな継続的なエネルギー地域循環システムができるのだ」と・・・・・。

この本では、これらの実践は「世界経済の最先端」だといい、「この中国山地の奥深い過疎に悩む山郷での実践は突発的なものでないという。

江戸時代隆盛を極めたこの中国山地の「たたら製鉄鉄山」では、森･里山の資源を軸とした地域循環型の経済圏が 100 年以上持続して成立していた」ことを指摘する。そして、自立経済圏構築の継続性には「エネルギーの化石燃料からの転換」そして、「の森･里山のエネルギー資源の活用」に着目した構築がきわめて重要であると説く。

そういえば　たたらの里の森林資源ばかりでなく、砂鉄をとるために切り崩した里山の跡地が牧場・棚田となって、鉄山とともに地域経済に寄与していったことなども頭に浮かんでくる。

日本伝統の匠の技術としてしか語られることがなくなった「たたら製鉄」。その仕組みにスポットライトが当てられ、21 世紀型の新しい日本再生・「地域循環型自立経済圏」の構築実践モデルとして語られているのがうれしい。

中国山地のたたらの郷　真庭市や庄原市（西城）　その地域自立型エネルギーシステム構築を軸とした自立経済圏成功体験の底に「たたら製鉄　鉄山」があるという。

3.　海外にもある里山主義による地域自立自給経済圏の国「オーストリア」

オーストリアは日本と同じ急峻な山岳地帯を抱える国ながら、機械化された最先端の林業とペレット燃料を徹底利用したエネルギー政策に取り組む。

中でも国境の町・ギュッシング市では 1990 年にエネルギーの脱化石化を宣言し、木質バイオマスによる地域冷暖房やコジェネレーション発電によりエネルギー自立を実現させている。

しかし、バイオマス発電・ペレットなどはそもそも　本体の木材利用産業があって、そこからの大量の「原価ゼロ資源の供給」があってこそ成り立つ。

真庭・庄原の例にしても、現状「原価ゼロ資源木屑の供給」には限界があり、更なる広域地域経済圏の構築には「原価ゼロ資源木屑の供給」を可能とする「本体の木材利用」の産業の展開が不可欠。

国を挙げて「バイオマスによるエネルギー自立」を進めるオーストリアでは鉄筋コンクリートの強度に匹敵する建築木材として「集成製材」の利用を推進し、積極的に木造高層建築の推進に取り組む。

直角方向に張り合わせた集成材 CLT（クロス・ラミネイティッド・ティンバー）が無類の強度を発揮し、オーストリアやイギリスでは CLT を利用した 9 階建ての木造高層建築物まで登場しているという。

日本ではセメントが容易に入手できる日本で、今後木材の高層建築物への利用解禁されたとしても　一気に進むかどうかは未知数ではあるが、鉄筋コンクリートに代替できる木材の集成材が登場する時代にもなっている。

《「木質バイオマスでエネルギー自立を実現したオーストリア」の安定な経済　2011 年》

・失業率　EU の中で最低の 4.2%　　・一人当たりの名目 GDP 49688 ドル（世界 11 位）

・対国内投資額 前年比 3.2 倍の 101.6 億ユーロ　対外投資額 前年比 3.8 倍の 219.5 億ユーロ

この安定した経済をささえるのが、里山資本主義。

国を挙げて木材を徹底活用して経済自立することに取組み、その成果が上記の経済安定につながっている。

また、「脱原発」を憲法に記している国でもある。

日本では斜陽とみなされる林業・製材業には大型の先端機械設備などの先端技術が導入され、最新技術が支える先端産業となり、材木関連産業は今や国の重要な輸出産業。都市には木造の高層ビル建設が進み、街には　バイオマス発電の電気も併用供給され、家庭には熱効率のよいペレットボイラーがすえつけられ、これらと共に新しい産業と雇用が次々と生まれているという。

- **オーストリアの製材メーカー「マイヤーメルンホフ」社**では年間 130 立方メートルの木材の供給し、製材・加工からバイオマスまで手がけ、町では熱水パイプラインが通り、年間 6 万トンというペレット工場も持ち、町では　ペレットを快適に利用するオートメーションシステムが整っている。
- **「熱効率 90%を超えるペレットボイラー」**今ペレットボイラーの普及が急速に進みつつあり、これを軸にバイオマス周辺産業が地場で急速に発展し、多くの雇用も生まれている。
- **森林伐採と永続的森資源の管理**

「森林官と森林マイスター制度による徹底した森林保護･伐採の教育と林業実践」により、
林業は「持続可能な豊かさ」を守る術として　バランスの取れた森林の伐採と植林が進む。
森林はオーストリア有数の外貨の稼ぎ手　木材関連産業で年間 30～40 億ユーロの貿易黒字
となっている

内陸国オーストリアでは、まだ　エネルギー・電力を他国から輸入しているが、上記した木質バイオマスへの国を挙げての取組で、その輸入量も減じる方向にすすみ、「エネルギー自給」目前だという。

4.　里山資本主義に基づく地域循環型経済取組の広がりの紹介

地域の価値に気づき　地域に根ざした活動が違った価値を付け、広がってゆく
売れる秘密は「原料を高く買い　人手をかける」　そんなオンリーワン価値も生まれているという

1. 山口県周防大島の地場産業の果樹農業を活かしたジャム園の経営
   自分も地域も利益をあげる街に眠るアイデア・技術の掘り起こしによるオンリーワン化のジャム作り
2. 高知県大豊町の真庭モデル導入の試み
   高知県は地域収支を見ると林業は黒字なのに製材業は赤字。そしてエネルギーは圧倒的な赤。
   これを改善する取り組みで地域を掘り起こす。
3. 島根県の耕作放棄地を活用した放牧の取組
   食料自給率 39%の日本にひろがる膨大な耕作放棄地　この方基地の活用
   ヨーロッパでは　整然と整備された草地が美しい田舎の景観を作っているのに、日本では雑草生い茂る荒地化が進む。この差はなぜか・・不思議でしたが、牛の放牧が勝手に荒地を草原に替えてくれることを数年前に知りました。　この島根県の取組も遊休地での自然放牧が新しい価値を生む。
4. 島根県邑南町の移住女性による「耕すシェフ」レストラン。
   外へ市場を求めず、地域で食す　楽しみが新しい価値を生む
5. 鳥取県八頭町のホンモロコの養殖も耕作放棄地を活用した取組
   遊休地に里山にある水を引いて、商品価値のある「ホンモロコ」を育てる。

5.　まとめに変えて　　地域収支から見える持続自立型経済圏創設への取組

新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」はこの後　下記のような項がつづいている。

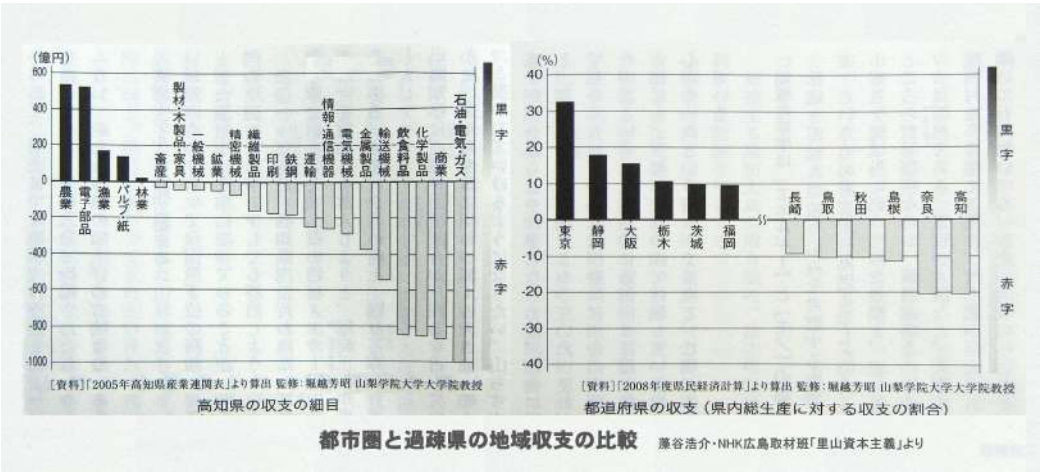
1. 里山資本主義の延長戦にある「無縁社会”の克服」取組み
2. 「スマートシティ」のシステム構築を検討する最先端プロジェクト
   最先端の取組は里山資本主義の取組と驚くほど一致している
3. 結び　里山資本主義の爽やかな風が吹き抜ける、2060 年の日本

私の一番興味のあった里山資本主義の実践活動の具体的な紹介もほぼ済んだので、今回はここで私の紹介の終わりにしたい。ご興味のある方は　ぜひ　「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の本で。

この本に書かれた内容は中央集権的「マネー資本主義」に警鐘を鳴らし続け、日本再生・地方再生の道を「自立経済圏創生」であると説く内橋克人氏の経済論と同根・共通で、力強く地方再生の道を進む地域が具体的に示されている。

右の図は「里山資本主義」の本に掲載されていた都市圏と過疎地の地域収支のグラフ。

都市圏と地方とで、地域収支の差が大きく、しかも　地域自立にはエネルギー・食料の収支改善そして強みとして農業・漁業・林業など地場産業の地域循環型産業



としての新しい取り込み展開視点が必要なことがよく分かる。
これに　今直面している「医療」を加えれば、まさに　内橋勝人氏がいう食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」に育てる CFE 自給圏の創設そのもの。

今までなにか始めても　すぐ国や大企業など中央に飲み込まれてしまいそうで、地方自立の立ち行く道に懐疑的でしたが、具体的な実践取組みが始まり、また、インターネットに書かれている自立取組例の記事を色々読むと地方の行政が、今までの取組とは別に　この里山主義の実践取組に気づきはじめ、新しい取組が始まっていることも知りました。
地産･地消さらに地方へ行って　観光･食事そして物産を買う楽しみにも。
ちょっとですが、地域を眺める目が深まりました。
地方が武器を持ち始めて新しい道を展開する。日本の先が明るく見えてくるにうれしい限り。

新しい日本再生の鼓動がそれぞれの特質を生かし、地に足が着いたオープンな取組がいたるところで始まれば、それが地方分権・地方再生そして東北再生への道へとつながってゆく。
政治家の選挙戦で見る地方分権論とは違う草の根地方分権論でもあると。

また、私の知る山深いたたらの里の取り組みが紹介され、それもこの里山主義が示す地域自立型経済圏として、たたら製鉄の遺産が紹介されていたのにもうれしくなって読みました。
そんな新書　　また、私の好きな内橋勝人氏の経済論に実践の道がついているのもうれしい。
ぜひ一読を。

2013.8.25.　from Kobe　by Mutsu Nakanishi





中国山地　たたら製鉄　鉄穴流しが作った棚田の景観　　右の写真は牛が放牧された休耕田

【参考】

1. From Kobe　2012.1.1.　内橋克人氏　100 年インタビュー抜粋

被災地だけでなく　日本の疲弊がますます露わに　人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して　新しい日本作りに踏み出そう
もう　気がつこう　マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
国際マネー主義から脱して　市場主語から人間主語へ
2011 年 12 月 18 日　NHK BS 内橋克人　100 年インタビューより

http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf

2.　From Kobe　2013 年 8 月　あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮

創造性の欠如した今の時代に異常気象にだまし絵をダブらせ今一番自分 にすっと入る
NHK 朝一番　ビジネス展望　内橋克人氏の解説を紹介
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf

【From Kobe 12月】収 録

日本の行く先がおもいやられる師走
数が頼りの薄っぺらな社会からの脱出へ 若者たちへの思いが募る
こんな思いを代弁して、神戸新聞 内橋克人氏ほかの評論にも

夏日まで飛び出す異常気象の中で迎える師走 なにか無力感ばかりがただよう12月のはじまり。
気象ばかりでなく、世の中の動きまでもがおかしい昨今、
日本はこれからどうなってゆくのだろうか・・・・。
現実に蓋をして、強がりばかり言っても、相手は見向きもしてくれず、ばらまく金もいよいよ底をつく。
想定外では済まされぬ激動の地球環境に国土はぼろぼろ。産業構造は大きく変化し、技術力も技術立国も昔の幻影 国を支え、生産を担う若者の姿もまた幻影。急激に高齢化社会 そして格差社会が進行中。
でも 不平不満の現実に眼をそらし、我が身を守ることに精一杯。
「明日は我が身」におびえながらも、今を追う。付け焼刃の取り繕いの取組ではどうにもならぬ日本の現実。
数が頼りの日本 政企業も官僚も日本の実態・現実をしっかり見定めよ。
日本はこれから、今成長期を迎える国々とどのように組して行くのだろうか・・・・・
とはいえ ぶつぶつ言っても 所詮 こちらも 打つ手を持たぬ後期高齢者。
成功体験 仲間意識にしがみついて「想定外」「付けを自己責任」と他人に付けを回して知らぬ顔 そんな老害リーダーに興味なし。若者たちの新しい国づくに託して、若者たちに託す。
11月29日神戸新聞 「針路21」欄に誰にも言えぬそんな思いをすかっと切りだす内橋克人氏の評論が掲載避けているので、 From Kobe 毎月のぶつぶつに変えて。ご紹介。
皆様には どううつるでしょうか・・・
来年は新しい若者の時代元年に舵を切ってほしい。
老害者たちは早くリタイヤせよとひとりぶつぶつ。

2018. 11. 29. 神戸新聞(1・2面掲載)
「針路21」欄 内橋克人氏評論 整理転載



「安倍外交」の実相 針路21

目立つ内外の食い違い

客員論説委員 内橋 克人

国を危うくする言い繕い

時の政権にとって「首脳会談」は効果絶大なパフォーマンスの場である。安倍首相とトランプ大統領との会談はすでに8回、プーチン大統領とは26回に及ぶ。

各国トップと親しく握手を交わすシーンが国民の目に灼きつけられ、「外交の安倍」がすり込まれる。米国首脳との"蜜月ぶり"演出の成否は支持率に響く。

その安倍外交に際立つ三つの特徴がある。まず首脳会談で何が話し合われ、何が合意されたのか、会談後に明かされる両首脳の発表に食い違いが目立つことだ。「日米通商交渉入り」をめぐるトランプ氏との会談。北方領土返還をめぐるプーチン氏との会談。いずれも直後に明かされた合意の中身に両首脳間で隔たりが大きい。

第二にそれら外交パフォーマンスには手土産が用意される。9月末、国連総会後の記者会見でトランプ氏は「日本はすごい量の防衛装備品を米国から買うことになった」と明かした。が、安倍首相自身はいまだ黙して語らず、だ。

第三に国会で重要法案審議中であれ、お構いなく足しげく海外に出向く。経済界首脳の大集団が"お供"する。

「外交の安倍」は何を生んだのか。冷静な総括が求められる時がきている。

国会での首相発言に合わせて事前、事後に新しい言葉と文脈がひねり出される。森友・加計問題では公文書まで捏造された。同じ手法の"つじつま合わせ"が、国際協議の場で常態化すれば、日本という国の信用が傾われかねない。いま話題の「日米通商交渉」入りは「物品協定」(TAG)なのか、それとも「自由貿易協定」(FTA)を目指すものか。日米間で深まる認識格差が典型例といえる。

前者ならば農産物、工業製品などの「モノ」の輸出入についての関税交渉であり、後者となれば投資から流通、金融、通信、サービスなど広範囲にわたる包括的通商交渉となる。それを2国間ではなく日米の2国間で取り決めるというのだ。

今月11日の安倍首相と来日中のペンス副大統領との共同記者会見。ペンス氏の発言をめぐって日本のメディアは混乱した。同氏の発言をFTAと訳して報道しNHKニュースはすぐさま訂正を迫られた。「(ペンス氏は)FTAとはいっていない」と日本政府は強弁する。

「Trade Agreement on goods」、略してTAG。「日本製・造語」である。安倍首相が繰り返す「自由貿易協定(FTA)とは全く異なる」との発言に合わせて「つくり出された」。ちなみに記者会見でのペンス氏発言は「Bilateral Trade Agreement」(2国間協議の意)というものだった。

しかし、同氏は来日前夜、自らのツイッターで「Free Trade Agreement」、すなわち真正銘のFTA交渉がこれから日米間で始まるのだとアップしている。

TAGとは国内向けの造語であり、それをムリヤリ通すには、さらなる難問が待ち構える。すなわち米国の「対日戦利品」が世界貿易機関(WTO)加盟国のすべてに適り巻かることになるからだ(WTO協定「第1章第1項=最恵国待遇」の原則)。いずれかの国に与える最も有利な待遇を、他のすべての加盟国にも与えなければならない、というもの)。

唯一の例外規定がFTAなのであり、筆者は9月26日(日本時間27日未明)の首脳会談直後からそう指摘してきた(NHKラジオ、農経新聞=10月1日号など)。AP通信はその日のうちに「FTA交渉で日米合意」と報じている。

自動車への高関税措置の発動がトランプ流ブラフ(脅し)の手真似だったという。

まずはTAG、次いでFTA—国内世論対策を真の狙いとする安倍外交の二段階分離方式である。日米両国で「食い違いあり」とみせて、その実、ひそかな「合意」が形成されている、とも官邸筋は筆者に明かした。農産品での大幅譲歩はもはや既定路線だ。

こうした「食い違い」はプーチン大統領との首脳会談においても顕著だった。

「日本の安倍首相が先に握手してきた」とプーチン氏は国民メディアを前に口にした。歯舞、色丹2島の先行返還で合意した、というものだ。しかし、安倍首相は「あくまで4島だ。2島先行論ではない。方針は変わっていない」と強弁する。

強烈な自己主張と臭覚本能が一見、巧みな「言い繕い」をひねり出すのか。国の内外で使い分ける外交手法は国家的リスクをも伴う。国民の「知る権利」と「安全保障の秘密保護」の両立をうたう「ツワネ原則」の再確認が、日本国政府の緊急課題である。

(うちはし・かつと=評論家)

「安倍外交」の実相 針路21

ご興味くだされば、上記内橋克人氏の評論 下記サイトにありますので 拡大してご覧ください。
URL: http://www.infokkkna.com/ironroad/2018htm/2018mutsu/fkobe1812uchihashi.pdf

2018年12月11日　神戸新聞　文化欄 書籍紹介　本谷有希子新著「静かに　ねえ　静かに、」

空虚な言葉が氾濫する社会　今を感じる違和感を作品に

空虚な言葉が氾濫する社会

本谷有希子さん新著

今感じる違和感を作品に



「旅の最中はキャーキャー楽しんでたので、一緒だった友人はショックを受けたみたい」と語る本谷有希子さん

きっかけは昨年、友人と行った海外旅行だった。期待した街の雰囲気と違う。友人ともぎくしゃくする。険悪なムードなのに、スマートフォンで撮った写真は楽しげだ。

「写真を見返しているとどんなつまらない場面でもポーズとか取って楽しそう。空っぽだって分かってるんだけど自分の脳内に快楽物質みたいなものが出ていて楽しい」

2016年2月の芥川賞受賞後、作家の本谷有希子さん（39）は書きあぐねていた。実際に体験した出産、育児という「当たり前に女性作家が書くだろう題材に全く手応えがなくて…」。そんなときに行った旅から「静かに、ねえ、静かに」（講談社）＝写真＝に収められた短編「本当の旅」を着想した。

40歳目前のハネケンは友人のヤマコ、づっちんとマレーシアに向かう。常にスマホで自分たちを撮影してすぐさま会員制交流サイト（SNS）で共有し、一緒にいるのにLINE（ライン）でも話す3人。旅でのちょっとしたトラブルや不快な要素が写真に写り込んだら削除する。深刻な危機が近づいてもラインでのんきに会話するだけ。

「見たくない現実が大きいほど、逃避する力も巨大になる。そのエネルギーを書きたかった」

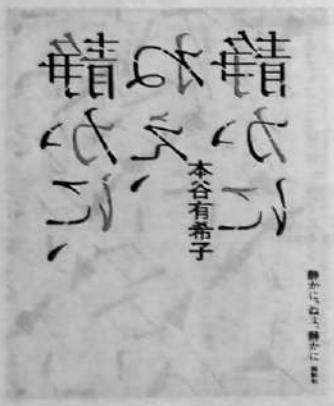
SNSに執着する3人とも仕事は不安定で貧しく、年齢も直視しない。ハネケンは「友人と楽しいことをシェアしたり、嫌なことにウケたりすることで、現実を僕らなりのいい感じに編集していける」と強がる。痛々しい彼らを本谷さんは執拗に描く。「どこかで自分だと思って冷ややかに葛藤を見ているから、容赦なく突き放して書ける」

ニュースで報じられる、事件や災害で亡くなった人のラインのやりとりへの違和感もヒントになった。「生死に関わる文面でもあっけらかんと明るくて、ネガティブなムードを持ち込ませない。送信の音も間抜けで全てのシリアスを除外する」

それでもラインは多くの人にとってコミュニケーションの中心だ。陰のない、明るく空虚な言葉ばかりが氾濫する私たちの社会。誰でも思わず「静かに、ねえ、静かに」と言いたくなるだろう。

収録された3作に共通するのは「持たざる者」のイメージだ。短編「でぶのハッピーバースデー」に登場するのは職を失ったばかりの夫婦。クリスマスパーティーのプレゼント交換に、夫は「なんの関係があるんだよ？」「そんなことが俺達の人生に」と怒る。滑稽でもの悲しい彼らの姿は、他人の記念日をSNSでのぞき見る、私たち自身のいびつさのようだ。

SNSに警鐘を鳴らしたのではなく、社会のありのままを描いただけだと本谷さん。「私の違和感すら1年後にはまひしていく。少しでもおかしいと感じられるうちに作品にしておきたかった」



文化消息

アジア図書館講習会「あなたも習ってみませんか！　ベトナム語一日入門（言葉と文化篇）」　19日19時、大阪市東淀川区淡路5の同図書館。ベトナムからの留学生らが増える中、ベトナムを理解するのが狙い。講師はベトナム出身のグェン・ティ・フェン・チャンさん。言葉や文化などを紹介する。1300円。定員20人（要電話予約）。同館☎06・6321・1839

ご興味くだされば、上記の記事　記サイトにもありますので　拡大してご覧ください。

URL: http://www.infokkkna.com/ironroad/2018htm/2018mutsu/fkobe1812motoya.pdf

fkobeR03
11.pdf

Kobe 2021 11月から師走へ 深まりゆく秋 神戸便り 】

深まり行く秋から冬へ 神戸の便り 2021.11.20.

収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています

我々一人一人 今何をすべきなのか・・・・・



コロナ禍も収束の兆しの中 神戸秋の便りをと思いながら、もう師走の足音がすぐそこに。
随分おくれていますが、遅ればせながら 深まりゆく2021 神戸の秋便り





紅葉した神戸わが町須磨 若草の丘・横尾道・名谷・妙法寺周辺で 2021.11.20.

神戸の街・山も真っ赤に色づき一機に秋色に。丘を真っ白にして野路菊の花が咲いて秋送り
コロナ禍も何とか収束の兆しが見えてきました コロナ収束はみんなの願い
はやく日常の生活を取り戻したいと気分も新た
前向いて!! と自らを奮い立たせています。

新型コロナウイルスワクチンの接種を２回終えた人の割合が人口の５割を超えコロナ禍も収束の兆し
緊急事態宣言も解かれ、街には少し活気が戻ってきた 11 月街路樹が色付き、街角にはほのかに金木犀の香りが漂い、気持ちも新た。
緊急事態宣言解除と共に With コロナ・ポストコロナの時代への動きも急加速
遅れに遅れたホームページ更新 神戸秋の便りを早くと思いながらも、もう師走の足音がすぐそこに。
特にトピックスありませんが、衆議院選挙・政権も交代。
毎日聞くコロナ感染者数も急減し、医療崩壊も何とか着実に緩和の方向。
まだまだ油断はできませんが、コロナ収束への道がチラチラと。
ホッと一息ですが、日本も世界も そして 巷の空気も一変して、「with コロナ・ポストコロナ」の言葉とともに、抜き差しならなくなっている地球温暖化の歯止め 低炭素社会実現への舵を切る。
このコロナによる命の危険とともに日常生活・経済・雇用が混乱している中で、すべて同時進行で勧めねばならぬ激動の時代の到来。まさに転換点。
なにか時代の転換点にいるとの予感。常に頭に重苦しくのしかかっている閉塞感・不安感がこれだ。
もう自分の時代ではないと感じることも多いのですが、とにかく 生き延びてゆかねばならぬ。他人任せに出来な田舎で、ひとりでは何も出来ない焦り。

仲間みんなでスクラムくんで　この激動の時代　前向いて、元気に生き延びねばと。
遅れに遅れたこの秋の神戸の秋便り。
皆さんにどう写っているかわかりませんが、思いつくまま　勝手な秋だよりです。



西六甲山上の縦走路から眺めた神戸の街・大阪湾の景観

平成 30 年間の時代を振り返って　平成 30 年の春　小林喜光氏の指摘
「国家の未来図が描かれないままの政治
　日本は心地よいゆでガエル状態　カエルはいずれ煮え上がる」
コロナ禍の中で見えてきた日本の状況はなにも変わっていない
今もそんな言葉が日本にも当てはまる
このコロナ禍の中で　今一度　この小林喜光氏の指摘を噛み締めよう

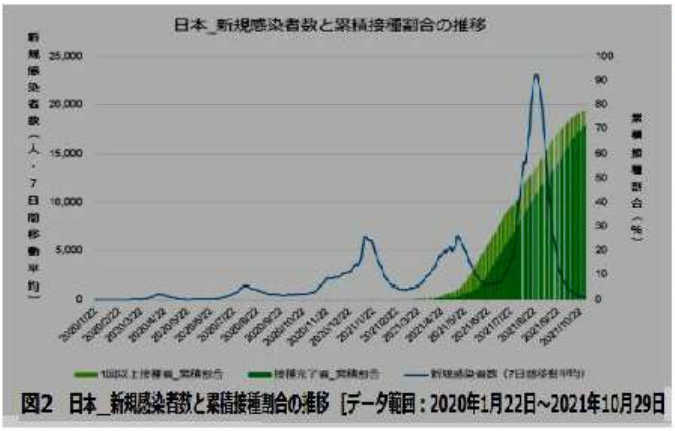


図2　日本_新規感染者数と累積接種割合の推移［データ範囲：2020年1月22日~2021年10月29日



コロナ禍も収束の兆しの中　コロナ収束はみんなの願い　はやく日常の生活を取り戻したいと
この間衆議院選挙もあり、菅内閣から岸田内閣へ政権も交代。
でも　なんともいえぬこの一票の軽さ。どんどん取り残されていると感じるやり場のない無力感
　緊急事態宣言解除後も状況は大幅に改善　落ち着いた推移に新感染者数そして重症患者数も激減へ
医療崩壊が叫ばれた医療現場もほっと一息　でも欧米や韓国では第６波流行の兆しも・・
落油断大敵　一機に緩めるわけに行かないが、落ち着いている今だからこそ、第６波への備えも含め、やるべきことを具体的にみんなが取り組まねばならぬ時代に。
また地球規模でみんなが取り組まねばならぬ低炭素社会実現のアブローチも待ったなし。
同時並行で、手を緩めるわけにゆかぬこの激動の荒波。
やること・思いはひとそれぞれ　でもあなた任せではどうにもならぬ。　我が身に必ず降りかかる。
さあ　どうすれば　よいのか・・・・・
with コロナとともに　保健所・医療現場の改善・日常生活・経済の再構築
言葉は判るのですか　またぞろ　中身が全く見えぬ状況が腹立たしい。

理由は明確ではないが、急激に新規患者数・重症患者数も激減。
医療崩壊と言われた病床逼迫の事態も大きく解消され、11 月にはいっても全国的に第6波の兆しもなく、穏やかな感染推移が続いている。この急激なコロナ患者数激減の理由は色々言われるが、明確な理由はわかっていない。
一方世界を眺めるとヨーロッパ・韓国など第六波が始まっており、日本でも気を許せぬ状況が垣間見えるが、厳しい自己行動規制や度重なる緊急事態宣言規制で、ずたずたになった日々の生活・経済・雇用の再建も急務。

with コロナ　コロナ対策と経済の再建が声高に叫ばれているが、
その実　全く中身が見えない政治。
なんでもかんでも ほうかむりの仲間政治から脱却しないと
それこそ日本は国際社会から見放され、最貧国へ成り下がる。
実例で言えば、いまや　日本は韓国だけでなく東南アジアの各国にも負ける所得水準に。
先進国が軒並み所得水準を 2.5 倍にのばしている中　日本のみが所得水準が伸びていない。
韓国や東南アジア諸国もまた軒並み所得準をのばしているのに・・・・・・
日本人だげか未だにそれを認識していない。
ぐるりと回りを見渡し、何も変わらぬホッとするが、
最近はなにか　おかしいぞと感じることも多々垣間見える。

２０１９年３月掲載の小林喜光氏の指摘した「心地よい、ゆでガエル状態」の言葉が頭をよぎる
◎　２０１９年３月に掲載紹介した小林喜光氏の指摘状態が今も続いている現状
経済同友会代表幹事　小林喜光氏　＜インタビュ＞記事　転記ご紹介
「平成の３０年間、日本は敗北の時代だった　敗北日本、生き残れるか
https://www.infokkkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf

小林氏はこう指摘する
心地よい、ゆでガエル状態なんでしょう。
日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感じない。　この辺でいいやと思っているうちに
世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。
カエルはいずれ煮え上がるでしょう
● 国家の未来図が描かれないままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。
今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。
周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない
米国などと違い、皆で楽しく生きていきましょうという空気が取り巻いて敗北を自覚しない。
運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから
無理もない

安倍政権が残した功罪は極めて大きい。
仲間・お友達政権　国際競争・働き方改革と称した大企業偏重の非正規労働の推進が中間層をなくし、
格差助長をまねき、今の社会全体をおおう閉塞・不安社会を作り出した。
まさに「心地よいゆでガエル」状況を演出。それが管政権にひきつがれてきた。、
新しい岸田内閣も with コロナ　コロナ対策と経済の再建が声高に叫ぶが、旧態依然　同じ体質か???
後手後手のコロナ対策が誰の眼にもミエミエだったのに、
れを教訓とした具体的な施策が組み込まれず。、
またぞろ　バラマキ実効性のない丸投げ対応が続く。　バラマキは即効でなければ・・・・・・・・

脱炭素社会・新しい産業創生と地域産業育成と大企業乗っかりの口先だけではどうにもならぬ。
激動の with からポストコロナへ　そしてもう抜き差しならぬ脱炭素社会で生き抜かねばならぬ日本
もう老害の政治・経済のリーダーたちや TV ニュースに期待無し。
早くリタイヤ願いたい。

若者たちは心地よいゆでガエル状態から目を覚まし、現状打破へ立ち向かえと
想いは人それぞれ　でも地球時代を生きる激動の今の時代
小林喜光氏の言葉をもう一度噛み締めてみたい
高度成長をもたらした田中列島改造論・池田所得倍増論の時代・安保に立ち向かった学生運動の時代

なにかそんな熱気溢れた時代の空気も懐かしい。
勝手な放言お許しください。　でも、後期高齢者の仲間入りして　見る世間も本当に狭くなりましたが、
確実に激動の時代はやってくる。
孤立せず　あなた任せにせず　スクラム組んで頑張らねばと

西神戸・東播磨　秋の風物詩　2021
深まりゆく秋の花だより　コスモス・秋のバラ・山腹を真っ白に染める野路菊

あまり良い出来ではありませんが、毎年ずっと掲載してきた西神戸・東播磨の秋の風物詩の花だより
ずっと動けずにいましたので元気に動き出せたことに、思いはひとしお
コロナ禍の中　ホッと骨休め　街を離れて心地よい秋の風を感じながらの神戸の秋の花巡り



足骨折で歩けなかった夏　　そして思い入れいっぱいの今秋　お許しください
深まりゆく秋　10 月 18 日コスモス満開の報に加古川西岸　里山の間に広がる田園地帯へ
久しぶりの原チャリ駆けての加古川市志方のコスモス畑へ

西神戸から東播磨の田園秋の風物詩　心地よい秋風にそよぐコスモスに　今年も出会ってきました。
前回最低点だった免許更新の認知症検査も仲間に教えてもらった虎の巻で無事クリヤー。
バイクにもまだ乗れるぞと。。
忘れかけていた小林旭の歌が聞きたくなって　小林バージョンの BGM B も作って 愉しんでます。
また、足踵骨折退院して約 3 ケ月　近くの横尾道や山麓バイパス沿いの丘の散策路など足慣らしの walk でやっと坂道も ok。日常生活には困らぬ状況に。
11.13.には　青な空キラキラ光る須磨の海　約 15000 歩ほどの山歩き walk。
須磨　高倉山-鉄拐山-旗振山　山上の散歩道を歩きました。
まだ長く歩くと少しアキレス腱が痛みますが、やっと山歩きができる状況に。
根っからの風来坊
まだまだ足も動くし、好奇心旺盛　仲間にも出会いたい。
また、一つ　嬉しい日常を取り戻せました。
本当に随分長かった・・・・・。今後とも　よろしくおねがいします。
　　2021.11.20.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

2021 私の秋送り 友を想い浮かべて　横尾山 山腹を真っ白にして咲く野路菊　2021.11.11.

11 月の半ば横尾山山腹にノジギクの花が咲きだすと丘に登り、
逝ってしまった仲間 先輩諸氏 知人を思い浮かべつつ、友を悼んでいっときを過ごす
今年はコロナ禍の中　想いはひとしお











■　**脱炭素社会についての新聞やインターネット記事もずいぶん多く掲載されるようになりました。**
今回は整理掲載出来ていませんが、お許しください。

ポスト Corona の時代への始動　もうタイムリミットに来ている脱炭素社会構築の激動の時代
其の中で、日本はどうなるのか　掛け声ばかりで、具体的な実践ロードマップやマイルストーントーンがなく取組現況がブラックボクスの計画など幾つぶち上げても意味がない。
「安全・安心・持続可能」と最後につければ、何でもかんでも具体的な説明責任を果たしたと思っている人もいる。一昔前の「IT・AI」と同じで、あまりにも付け焼刃。　胸には「持続可能な開発目標（SDGs」のバッジが躍っている。原料から製品まそして流通販売までトータルとしての脱炭素社会構築はあなた任せの記事も多い。
　気になるエネルギー源の根幹を担っている石炭火力発電や鉄鋼生産プロセスにおける脱炭素技術の取組。脱炭素せねばならぬ量が多いだけに、一期にとは行かず、減炭素量の取組との評価で　目に触れぬことも多い。
また　原子力の安全性も本当にどうにもならぬのか・・・・。
これらの分野で今取組んでいる地道な脱炭素・炭素排出低減の技術が成功すれば、
軽減できる炭素量が多いだけに世界の脱炭素社会構築にも大きな役割を演じることができる。
今回も幾つか眼にしましたが、まとめられませんでした。
また、日本やアジアとヨーロッパ・アメリカの取組に大きな相違　温度差を感じています。
最近　それに着目した記事も出回りだした。
地域に存在する事情を直視しないで、何でもかんでも西欧ではうまくゆかぬ現実にも着目せねばと。
そんな鉄鋼・電力・原子力の取り組みにも目を向けて　フォローしたいと思っています。
2021.11.20.　Mutsu Nakanishi

真っ青な空　キラキラ光る須磨の海　須磨　高倉山-鉄拐山-旗振山　山上の散歩道　2021.11.13.



西六甲山上の縦走路から眺めた神戸の街・大阪湾の景観





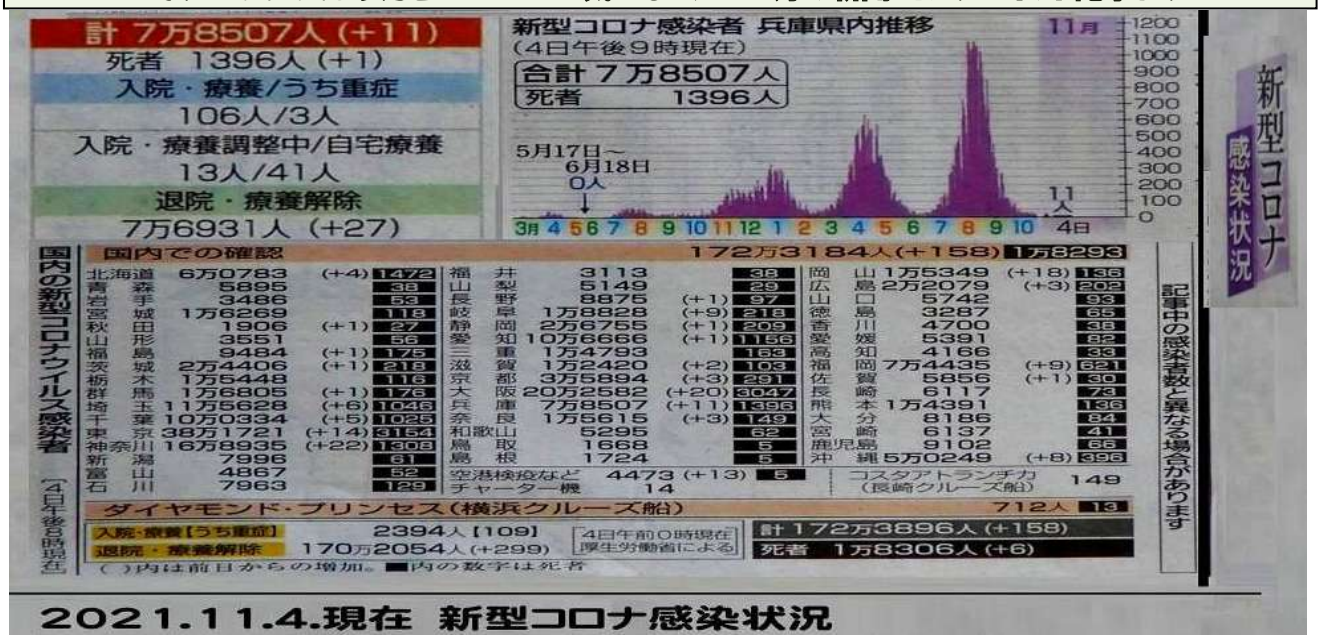




From Kobe　11月・12月初旬　深まり行く秋から冬へ　神戸の便り

収録　ポストコロナの時代の模索が始まっています　今何をすべきか

我々一人一人は今何を・・・・　**気になった11月の新聞・インターネット記事より**



緊急事態宣言解除後も状況は大幅に改善　落ち着いた推移に新感染者数　そして重症患者数も激減へ

医療崩壊が叫ばれた医療現場もほっと一息　　でも欧米や韓国では第６波流行の兆しも・・

落油断大敵　一機に緩めるわけに行かないが、落ち着いている今、やるべきことを具体的に

保健所・医療現場の改善・日常生活・経済の再構築へ

日本の弱点　コロナ禍のに医療崩壊・コロナ施策で見えた刹那的対策の破綻の数々。

本当に日本の指導層・社会組織は我々一人一人に寄り添ってくれせるのだろうか・・・・・・

明日は我が身の不安がついてまわる。裏と表で済まされては困る数々。

かっこいい言葉でその実　非正規の闇を無制限に広げてきた今の日本社会

当事者意識と実践の弱い硬直化した社会・経済指導層の若返り展開の中で、疲弊した日本の社会を立て直す基本は安定した雇用を軸にした社会構築を進めねば、日本は国際社会からも置いてきぼりになるだろう。

あまりにも現実を直視しない日本の社会。　コロナ禍で見えた現実に蓋をしてはならないと思います。

◎　「無症状に４人に１人が肺炎に」　和歌山県の追跡調査で極めてクリアーになった

自宅待機・ホテル隔離の　現実

“無症状の４人に１人が肺炎に”　コロナ感染者を追跡調査 和歌山

2021年10月29日 15時49分

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211029/k10013326721000.html

新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置をとっている和歌山県が第５波までの県内の感染者5000人余りを追跡調査した結果、検査の時点で無症状だった人の４人に１人がその後、肺炎になっていたことがわかりました。

県は無症状でも容体の変化に早期に対応できる態勢づくりが必要だとしています。

和歌山県は新型コロナウイルスの陽性者に対して全国で唯一全員を入院させる措置を続けていて、第５波までに県内の病院に入院した5169人の追跡調査を行いました。

その結果、

検査の時点で無症状だった人は1199人いましたが、このうち４人に１人に当たる331人がその後容体が悪化し、肺炎と診断されていたことが分かりました。

さらに肺炎になった人のうち76人は酸素の投与が必要となるなど中等症以上で、20人が死亡したということです。

県は変異ウイルスの影響などもあり当初は無症状でも容体が急速に悪化する危険性が示されたとして、容体の変化を早期に発見し対応できる態勢作りが必要だとしています。

2021年10月29日　NHKニュースより





コロナ対策を統括する和歌山県の野尻孝子技監は
「これから想定される６波に向けて診断時に無症状だからと油断せず、患者の重症化と感染拡大を防ぐため早い段階から保健所や医療が関わっていくことが重要だ」と話しています。

「症状の変化を把握できる態勢づくりなどが必要」

和歌山県は全国で唯一新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置を続けていて、無症状や軽症者を含めたすべての患者について病状の変化を追跡したデータを感染対策に活用しています。

今回の結果について和歌山県の野尻孝子技監は
「最初に無症状でもそのまま経過するわけでなく５日から１週間で肺炎を合併して急に悪くなる。　そういうことがあるので安心はできないということが網羅的なデータから浮かび上がってきた」と話しています。
そのうえで検査の際に無症状で自宅療養となった場合でも症状が悪化することを想定し、感染者側からの訴えを待つのではなく保健所側からも積極的に感染者に接触して、症状の変化を把握できる態勢づくりやコロナ病床の拡充を進める必要があると指摘しました。

◎ また第６波に向けた注意点として、
野尻技監は「ワクチンを２回接種した人が増えると無症状者や軽症の陽性者が増える可能性がある。無症状の人から医療機関や高齢者施設に持ち込まれて集団感染が起きるリスクも見据えて対応していくべきだ」と、注意を呼びかけています

インターネットより採取

折しも、アメリカ　バイデン政権は「インフラ整備に８年間で 220 兆円投入の計画発表」

ポストコロナの社会の経済の他立て直しに莫大な金をつぎ込み、全米州の基本インフラの整備を main 政策として打ち出した。
新しい産業を起こす基本インフラ整備と全米での雇用巻き起こし政策と見える。すごい規模だ。
バイデン政権は３月に新型コロナウイルスに対応した 200 兆円規模の経済対策を成立させていて
今回は第２弾の大規模な財政出動。
他国でも・・・・・
一方　日本では　未だに掛け声・丸投げの脱炭素社会とバラマキの財政出動政治の構図が続いている。
あなた任せの構図が頭に浮かぶ。
コロナが落ち着いている今だからこそ、しっかりと検証し、展開せねばならぬ。
ポストコロナで見落としてはならぬ具体的な検討視点とみえるのですが・・・・・
誰もが　こそこそ言ってきたことが、オープンにされた。
今しっかりと前向きの展開議論をせねばと思う。

2021.11.1.　From Kobe　Mutsu Nakanishi

正平調

所用でタクシーに乗った。運転手さんの声は心なしか弾んでいるようだった。新型コロナウイルスの感染者が激減していることに触れて「これがあと1週間続いたら、もう大丈夫やね」◆ちょっとじんときた。このまま収まるかも…そんな期待のはかなさを運転手さんだって知らぬわけはない。恐らくは感染者の一増一減に目を凝らし、日々を過ごしておられるのだろう。「大丈夫」と祈りながら◆それにしても、なんでこんなに減ったのか。ワクチン接種が進んだから。マスク着用など基本対策のおかげ。ウイルスの感染力が弱まった。謎の周期性。いろいろ理由は語られるが、本当のところは分からない◆「小春日和」。時候の言葉が浮かぶ。気象解説者、倉嶋厚さんの本によれば昔は「冬の愛想」といわれたそう。しばしの春を思わせる今ごろの穏やかな天気は、寒い冬からのささやかな贈り物でもあったらしい◆政府はきのう、コロナ「第6波」対策をまとめた。3回目のワクチン接種のほか、重症化を抑える飲み薬をできるだけ早く、多く確保し、入院病床も増やすという。現場で働く人たちの手当ても手厚く願いたい◆小春のうちに備えを急ぎ、冬の嵐を抜ければきっと本当の春が見えてくる。過去の失敗は、繰り返すまい。　2021.11.13

2021. 11. 13.　神戸新聞朝刊コラム「正平調」より

論現

被爆国たる日本の覚悟。核兵器廃絶の政策を

総合地球環境学研究所長
山極寿一



やまぎわ・じゅいち 1952年東京都生まれ。京都大学霊長類研究所長、アフリカの奥地で野生のゴリラの群れを観察。国際霊長類学会長、霊長類学者、日本学術会議会員を務め、自然と人類の関係に関心を広げる。75歳。

迎賓室の絵

実は、公開の1年ほど前に鑑賞の黒崎博さんが京都大学長だった私を訪ねてきた。京都大の正門から学徒兵が出陣していく様子を映画に撮りたいというのである。当時と今とで時計台も正門の様子も変わっているので、過去の復元は適さないと私は思った。しかし、彼は京都大出身だし、話を聞いているうちに学徒出陣が現代や未来の京都大と重なって見えてきた。

そのとき私の頭に浮かんだのは、時計台の迎賓室にかけられている1枚の油絵だった。学徒出陣を題材とする京都大出身の須田国太郎画伯の作品である。絵のテーマになったのは1943年の11月20日、大学のグラウンドに学生たちが召集されて出陣した時の様子である。

須田はその印象を「暮夕しきというものはみじんもない。墨一塊の中にうずくまる、あるべき形の発散である」と書き残している。この戦争による学生が入隊した文系の学生はその8割を超え、約2600人が戦没者として確認されている。

海外からやってくる訪問者がこの絵を見て、京都大はまた戦争を鼓舞しているのか、との質問をすることがあるという。そのたびに歴代の学長は、大学が兵士を育てる場であってはならないことを伝えるのだと答えるが、私もそれを深く心に刻んだ。だから、この映画には京都大の現在の正門から学徒兵が出陣していく姿が映っている。

絵のテーマになったのは1943年の11月20日、大学のグラウンドに学生たちが召集されて出陣した時の様子である。

今年は東京オリンピックの最中に広島原爆の日を迎え、閉会式の翌日に長崎原爆の日を迎えた。新型コロナウイルスによる感染症が未だ収束しない中で執り行われたこともあって、ひときわ静かな鎮魂の日であったように思う。

その広島原爆の日に合わせて、「太陽の子」という映画が封切られた。映画の内容は、太平洋戦争の末期に京都帝国大学の理学部で、原子核分裂を用いた爆弾の製造実験が行われていた様子を、ドキュメンタリー風のドラマに仕立てたものだ。

当時、この研究は陸軍の要請を受けて理化学研究所の仁科芳雄教授が、海軍の要請を受けて京都大の荒勝文策教授がそれぞれ進めていた。映画は荒勝研究室の学生を主人公にして、サイクロトロンを使った実験室の様子が戦況の変化とともに描かれている。

映画では、遠心分離機の建設に奔走した若き日の湯川秀樹や朝永振一郎ら物理学者たちの熱気が描かれている。しかし、次第に戦争による犠牲者は増え、国のための戦争を祝うようになる。それは、軍事と民間利用の境界が曖昧になりつつある現代でも、科学者が感じる葛藤ではないだろうか。

敗戦直前に学徒動員がかけられ出陣しなければならなかった若者たちの心に、どんな嵐が吹き荒れていたのか。海に飛び込んでそれを吐き出し、戦地へ赴いて帰らぬ人となる主人公の弟を演じた三浦春馬は、映画の後に自ら命を絶った。

原爆製造実験は広島への原爆投下で効果を示すことになった。荒勝研究室は閉鎖され、実験に使われた機材はすべて廃棄処分となった。映画は広島の原爆ドーム（旧広島県産業奨励館）や原爆資料館を訪れる主人公の姿で終了するが、現実はこれで終わりではない。京都大は医学部の湯川秀樹博士や理学部の荒勝教授の研究室、調査隊を編成し、被爆者の治療と原爆の影響調査に当たった。しかし、9月17日に襲った台風により土石流が発生し、調査隊の多くが巻き込まれて命を失ったのである。映画の中で戦争に参加しようとはやる学生を荒勝教授が押しとどめる場面がある。当時の教員は前途有望な若者たちを何とか未来に残そうとしたに違いない。

このたび広島出身の菅首相が誕生した。これは天の声かもしれない。武力を使わず、核兵器の廃絶を訴え、国際平和を先導していく政策を期待している。

神戸新聞朝刊 15 オピニオン
2021年（令和3年）11月11日 木曜日

明日への航跡

同時代を語る

文化人類学者、民俗学者

小松和彦さん 1



人間の喜怒哀楽、映す鏡

妖怪と日本文化

コロナ禍で大ブームとなった「アマビエ」、妻籠や「鬼滅の刃」、各地に伝わる民話など、私たちの身近には実に多くの妖怪がいる。国際日本文化研究センター（日文研）の名誉教授で、文化人類学、民俗学が専門の小松和彦さん（74）は、幅広い世代が親しみを持つ妖怪と日本文化との関わりを斬新な視点で読み解き、学問として確立した第一人者だ。妖怪研究は「人間研究である」と説く、その心は―。

「妖怪」とは何か。人知を超えた不思議で神秘的な存在、現象―だと小松さんは定義する。

日本には妖怪や怪異に関する語句が数百はあり、地方によって違う呼び名などを整理すれば3千種類くらいになるのでは、諸外国に比べて多いと思います。その理由は、例えば原因不明のシャカシャカという音が聞こえると、「小豆洗い」と名付け、新種の妖怪を創りだすから。また山国なので集落ごとの独立性が高く、各地の気候風土や産業と関わりのある妖怪が生みだされ、多様化した面もあるでしょう。

万物に魂が宿ると考えるアニミズムの思想も根底にある。中世の「百鬼夜行絵巻」などに、使い古しても神」と呼ばれる、古道具の妖怪たちが多数描かれています。新しい道具が生まれると、つくも神も増殖していく。こうして妖怪の種類が飛躍的に増えたのです。

近世になると、妖怪を恐れ敬うだけでなく、その物語や絵画を楽しむ流れが生まれてきたという。

怪談を楽しむ会が催され、化け物が登場する小説や絵本、妖怪図鑑も作られ、江戸などの都市住民を中心に広く浸透していった。現代でも、水木しげるさんの妖怪画などが国民的に親しまれていますよね。

一方、妖怪が「非科学的で、排除すべきもの」とされた時代もあった。

明治・大正期の哲学者、井上円了は、妖怪は人々を惑わす迷信だと指摘、合理的な啓蒙をするため、撲滅すべきと訴えました。しかし100年余りを経て、今は逆に妖怪があふれている。少し前にもJR西日本が、車両とホームの隙間への転落を防ぐ「スキマモリ」というキャラクターを下げていた。日々、増えていると言えるでしょう。

「妖怪研究は人間研究だ」と提唱してきた。

妖怪とは人間の豊かな想像力が生みだした「文化」なんですよ。警戒心や恐怖心を引き起こす出来事の、便利な説明装置として必要とされてきた、また悩みや執着、哀愁など、多様な感情が託された存在でもある。妖怪研究とは、そうしたものを生んだ人の心を見つめ、掘り下げていくことなんです。

例えば四谷怪談のような男女の怨恨の物語には、人間の性がにじむ。一方、酒呑童子伝説では、鬼を退治する側は権力者の源氏であり、そこから当時の世相が見える。

「妖怪研究は日本文化研究である」との持論も掲げる。

妖怪は人間の喜怒哀楽を映す鏡。それを読み解くことで、人々の営みや世界観、生活の様子などが明らかになる、重要な素材なのです。

大阪大学に着任した1983年ごろから関心が深まり、共同体の外にいる「異人」の研究などに取り組みました。けれども妖怪は、歌舞伎や能、文学や絵画、映画など、実に多様な分野に存在している。研究を進めるほど、ジャンルを超えて総合的に捉える必要があると考えるようになりました。そして97年、日本文化を国際的、学際的に研究する拠点である日文研に移った。同じ東雲キャンパスにあった国立民族学博物館（民博）の初代館長、梅棹忠夫先生が所長をされていた頃です。

（聞き手・新開真理）

◇次回は18日に掲載します。



「牛鬼」



「アジカプリ」

国際日本文化研究センターのデータベースに収録されている妖怪「手長蟲」の画像（いずれも同センター所蔵）

こまつ・かずひこ 1947年東京都生まれ。東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学。信州大学助教授、大阪大学教授を経て02年から国際日本文化研究センター教授。12年から20年まで同センター副所長。13年紫綬褒章、16年文化功労者。20年瑞宝重光章。著作に「妖怪学新考」「妖怪と日本人」「いざなぎ流の研究」などと最新刊は絵・わぎわいの大疫文化」。兵庫県猪名川町在住。

fkobeR03
12. pdf

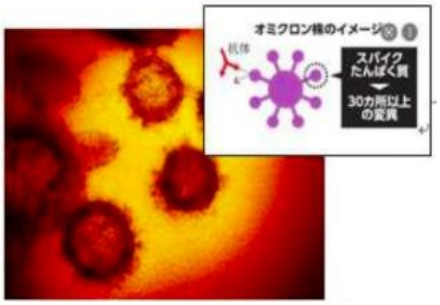
From Kobe 2021

Monthly Page 2020 12 月師走 From Kobe

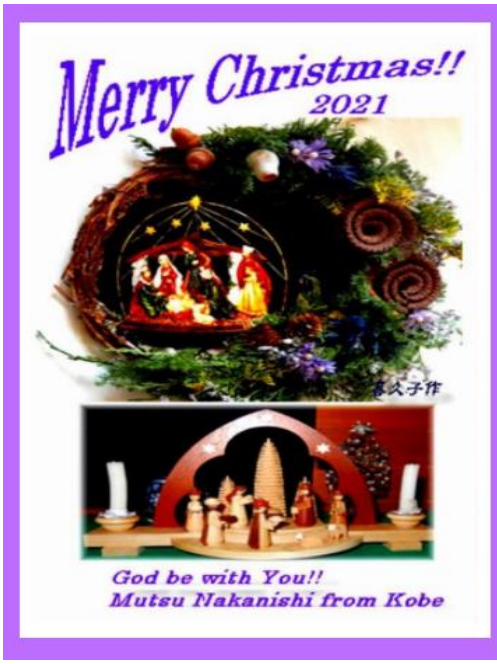








2021 年総括本年を振り返って







Merry Christmas!!　2021
2 みんなでスクラム組んで コロナ収束まで もうひとふんばり
みんなの 笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して

和鉄の道 HP お付き合いありがとうございます。来年もよろしく
God be with You!! も口癖に ポストコロナ 激動の変革の時代へ
来年が平和で穏やかな年でありますよう 祈っています

By　Mutsu Nakanishi　From Kobe



Merry Christmas !!　God be with You!!　2021クリスマスに

2021.12. 25.　Mutsu Nakanishi　From Kobe

高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」
大変革の新時代 幕開け
みんながみんな穏やかな暮らしが実現できるよう
みんなでスクラム組んで　新しい時代へ　第一歩　前向いて

政治家・マスコミの掛け声は心地よいが、
我が身に降りかかる過酷な産業・経済・社会の大変革時代の幕開け
令和の産業革命の新時代
どうすればよいのか　人任せではどうにもならぬ厳しい新時代　立ち位置をしっかりと

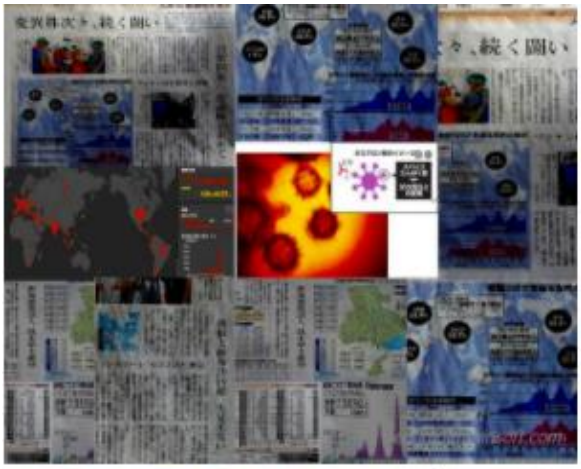
◎ **世界がこぞって舵を切る　カーボン　ニュートラル50　実現は切実な願い**
地球暴走の歯止め　CO2増加をみんなの力で止めよう
掛け声は心地よいが、我が身に降りかかる産業・経済・社会の大変革
今CO2 増加を食い止めねば地球は暴走　人類破滅の危機　生きとし生けるものみんなに
もう後戻りできぬターニング　ポイントに直面している今
「持続可能な開発目標（SDGs・「カーボン イーブン50」の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に　歯止めをかけて　持続可能な低炭素社会の実現へ
また　CO2排出量の多い大型高炉操業を続けてきた日本の鉄鋼業は生き残れるだろうか・・・・

◎ **コロナ禍で寸断された日常生活・雇用　経済の再建**
みんながみんな　命の危機に直面したコロナ禍
やっとみんなの自己行動節制・ワクチン接種等々でコロナ収束へ
ほっとしたのもつかの間　世界はイプシロン変異株が猛威を振るう第6波が大流行
検疫強化で遅延されてきた日本も　ついに今　市中感染が見つかり、流行化の危機
までのコロナより、感染力は数倍の感染力のイプシロン変異株
高齢者には厳しい。
でも　コロナ禍2年を乗り越えた経験・医療従事者の懸命なネットワーク
そしてワクチン投与もある
みんなの力で第6波を食い止め、取り戻そう　穏やかな日常を

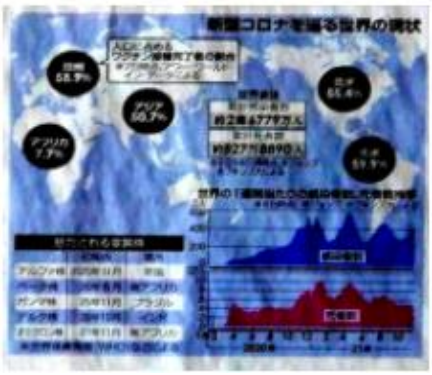
今年一年　いろんな思いが駆け巡る師走です

1. 今 みんながみんな 取り組まねばならぬ課題　2021 年総括本年を振り返って

みんなの力で第６波を食い止め、取り戻そう　穏やかな日常を
やっとみんなの自己行動節制・ワクチン接種等々でコロナ収束へ ほっとしたのも つかの間
世界で猛威を振るうイプシロン変異株 ついに今日本でも市中感染が見つかり、流行化の危機













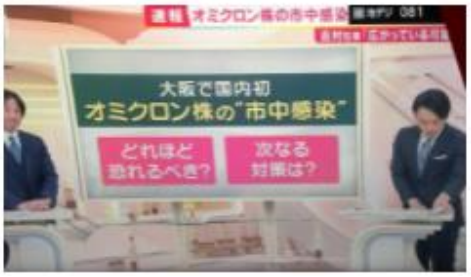




検疫で稼いだ時間、問われる第6波
オミクロン株市中感染

22日、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の市中感染が国内で初めて確認された。従来のデルタ株などと比べ、感染力が強いとみられるオミクロン株。今後、欧米のように拡大し、感染「第6波」の到来も懸念される。その日に備え、保健所や病院は状況を注視している。　◇在宅医療強化の必要性指摘





「持続可能な開発目標（SDGs・「カーボン イーブン 50」の達成が今世界の最大課題

気候変動による激甚災害に歯止めをかけて　持続可能な低炭素社会の実現へ

最近は産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表化が相次いでいる

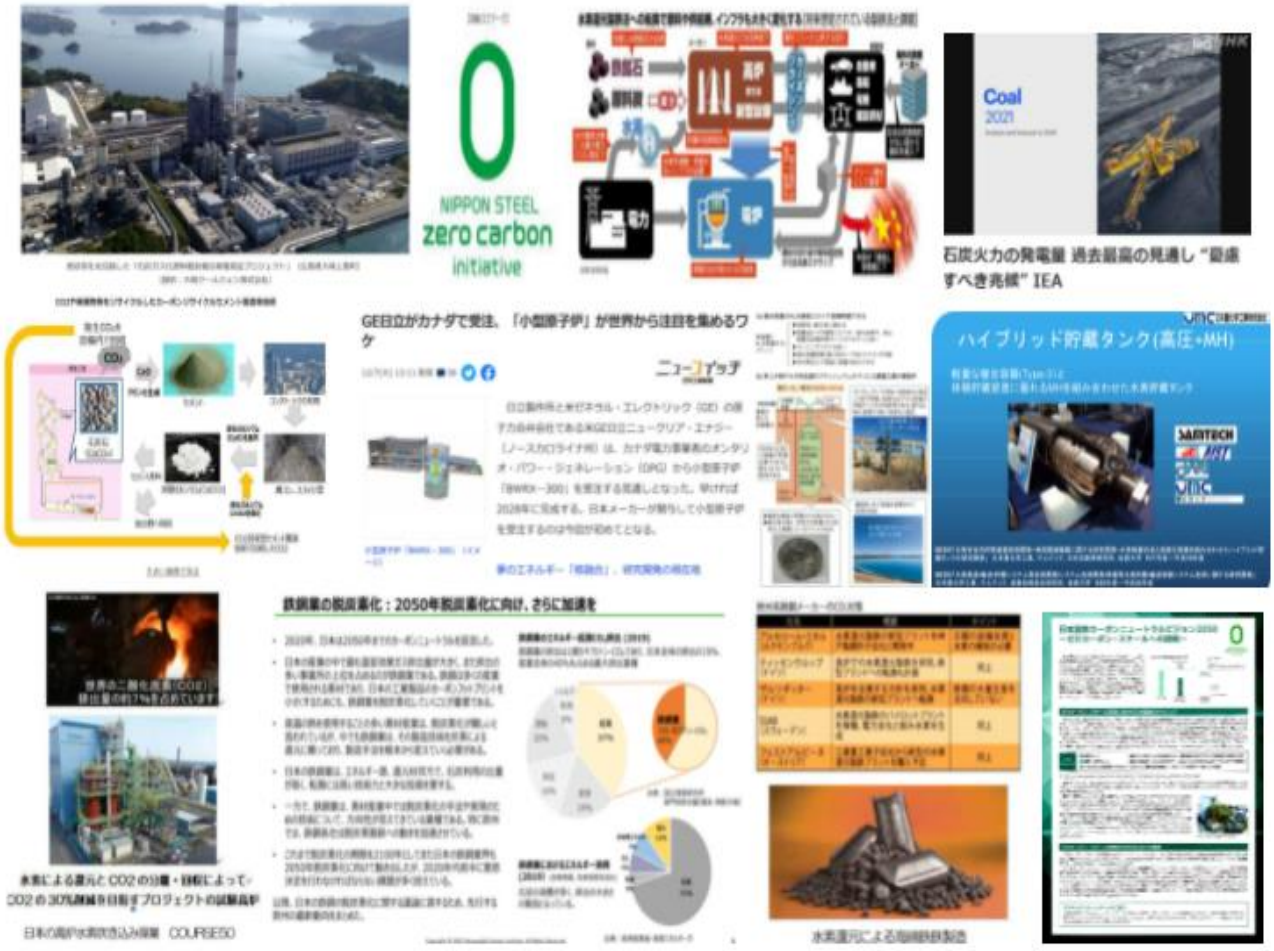
参考１和鉄の道２月 政府が策定した「2050 年カーボンニュートラル政府脱炭素社会を目指 14 重点項目」



参考２【動画】先行する欧州の化石燃料を使わぬ鉄鋼生産　インターネット Bloomberg　home page より

SSAB スウェーデンスティール（株）ほか鉄鋼三社の共同プロジェクト

https://www.bloomberg.co.jp/news/videos/2021-11-24/R32DADTOG1KW01



2. 2021年総括 コロナ禍の中で　home page 和鉄の道・Iron Road を振り返って

今日は目まぐるしく変わる天候とともに 西風我吹き荒れ　師走らしい厳しい寒さの神戸です。
神戸では例年12付きの風物詩、光のルミナリエが今年も中止され、寂しい限りですが、
やっと新型コロナも収束の落ち着いた動き。コロナ変異株「オミクロン」の流行の兆しはアルもののホット一息。
街もやっと明るさが戻りつつあります。油断大敵　マスクと行動の自己規制はかかせませんが・・・・
本年も勝手な風来坊「和鉄の道・Iron Road」にお付き合いいただきありがとうございました。
また　一年　相変わらずですが、コロナ禍の中　〝God be with You!!〟の言葉とともに
あっという間に1年が過ぎてゆく。つくづく日が経つのが早く感じる歳になったと。

新型コロナ収束に向かいホッとしていましたが、新たな変異株（オミクロン株）流行の兆し。
まだまた　気を緩めることなく頑張らねばと。　本当に我が身命の危険を身近に感じた一年でした。
早く穏やかな暮らしが取り戻せるようにと願っています。
振り返ってみれば　本当に色々あった一年、
home Page の中味も神戸籠もりの中で、厳しいコロナ禍の中で　なんとか明るく前向いて。
世は情報があふれるデジタル時代　電話も会合もネットでしかも見られる情報社会。
でも　はっと気がついてみれば、みんな仮想現実・非日常。　みんな今までと変わらぬというのですが、
自分ひとりが取り残されているとの不安感。
今ほど顔を突き合わせ、お互い生の会話のできるありがたさを感じたことはなし。仲間に出会いたいなぁと。
そんな中、温暖化による地球環境の激変化が切実・身近に　我が身に降りかかるようになって、待ったなし。
避けることの出来ない脱炭素社会構築へ全世界が舵を切る。
ポストコロナと脱炭素の時代　激変する時代に不安一杯。
みんながみんな穏やかな暮らしを取り戻せるのか・・自分はどうなるのか・・・

今一番　日本が取組遅れの厳しい現実に直面してる。
姿を見せぬ本当の現実がコロナ禍の中で　垣間見え隠れしはじめ、思いもかけず、我が身に降りかかる。
突破口を見いだせぬ日本に苛立ちを感じる様子がホームページ掲載の文面の随所にもありありと。
自分では何も出来ないと感じながら、後ろから今を考える年代になったとつくづく感じてきた一年でもありました。
毎朝見ている神戸新聞のトップ紙面コラム「正平調」にも上記一年の締めくくりとして、日本の状況につい手厳しい言葉が綴られていました。

神戸新聞　2021年12月19日朝刊　コラム「正平調」より「ナンバーワン」が泣いている

正平調

「ジャパン・アズ・ナンバーワン」という本が出版されたのは、1970年代の終わりである。日本はなぜ高度経済成長を遂げられたか、学ぶべきものは何か、米国の学者が書いた◆刺激されてか、日本研究が海外で盛んになった。こぞって探ったのは「ナンバーワン」の秘密だ。その様子を見て、ジャーナリスト田原総一朗さんは思ったそうだ。日本研究に足を踏み入れると、例外なく行きつくものが一つある。それは官僚、官僚機構◆田原さんも膨大な関への取材を重ねて本にした。「ジャパンー」と同じころだ。こんな話が著書にある。政治が安定しなくても国は大丈夫と財界人が言った。なぜなら「官僚と企業がしっかりしているから」と◆それほど信頼された官僚の仕事にほころびが目立つ。建設業界にまつわる統計に不正があった。それも8年間。3年前には毎月勤労統計で不正が発覚した。国家の体力を測る統計がこんな体たらくとは、情けない◆中国が経済力をつけたころ、国内総生産（GDP）値が水増しされていないかという疑惑があった。現に中国政府が地方の統計に水増しや誇張があったと認めたとき、ほらね、と冷笑するような気配を感じた◆もう、他国をあれこれ言えない。「ナンバーワン」が、泣いている。2021.12.19

まもなくこう1.17.阪神・淡路大震災記念日がやってくる。　そしてあのルミナリエの灯がついた時を忘れない。
否応なしにさらされる激変の時代の幕開けに、思いも新た。希望と期待をもって　頑張らねば・・・。
鉄鋼もがんばれ!!　がんばろう!!
自分の時代でないとの思いはありますが、しっかりとこの時代を前向いて・・

◎「鉄の惑星　地球」　人類の歴史の中で　難局に出会うたびに新たなイノベーションを巻き起こし、
新しい展開を切り開いてきた鉄。

長く取り組んできた「鉄の起源・歴史」を　本年春　まとめることが出来た「たたらの源流　鉄の起源　＆
ユーラシア大陸東遷の道」（愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ　聴講記録集成聴講記録）にも
そんな事象がいくつも記されている。
HP 開設以来 20 年を経過した年末には「私の和鉄の道・Iron Road」を整理して　眺め直す事もできました。
これからどんな姿になって、鉄がこの難局を切り開いてくれるのか　それも楽しみな和鉄の道です。
ポストコロナ　脱差炭素社会がどんな姿で登場するのか　明日の時代の平和で穏やかな暮らしに期待して。
本当にエポックメーキングな一年　和鉄の道・Iron Road 2021 でした。

◎　鉄とともに鉄のない縄文の世界にも惹かれ、ずっと HP への掲載取組をしてきた「日本の縄文」。

心優しき縄文人たちが約 1 万年の長きにわたる永続社会をつくってきた日本の縄文
コロナ禍の中で、長年の夢がかなって、ユネスコ世界文化遺産に登録されたのも嬉しいニュースでした。

◎　CO_2 排出ストップの厳しい操業携帯移行を迫られる鉄鋼

過酷化する地球環境に歯止めをかけるには待ったなし。CO_2 排出量の多い大型高炉操業への依存度の高い
日本の鉄鋼業は脱炭素社会構築の中で今一番厳しい立場に置かれている。
退場を願うと言う人達も数多く、長く鉄鋼の中で育ててもらった私にとっても、一番気になっている。
今数々の新しい高炉操業変革に取り組んでいる。それがこれから目に見えてくる。
必ずや日本の鉄鋼の歴史が新しい道を切り開いてくれると期待一杯。　鉄鋼ガンバレ!!と。

◎　私ごとですか、本年６月末　足踵骨折で約 20 年ぶりに入院生活。

足を地面につけられぬ厳しい正つの苦しさや入院高齢者が多いリハビリ病院の現実も知り、
元気で健康でいるありがたさもつくづく。
入院・神戸籠りの中で、アルバム整理を兼ねた断舎離。今までの道を振り返る良い機会に。
忘れかけていた数々の人たちや事柄との交流がありありと。
長くかかった整理ですが、自分の生き方を振り返りいい整理ができました。

◎　みんなに感謝です。

多くの知人や仲間にも助けてもらいながらも、孫たちも元気に成長。
本当に早く出あいたいなぁとの思いも強いです。
気がかりは　今年も多くの仲間・先輩・知人の訃報に接し、秋送りをしました。
もうそんな歳になつたんやと今の健康に感謝しつつ、から元気の毎日。
毎日　前向いて元気にと本当に一年ありがとうございました。
引き続きよろしくおねがいします。

まだまだ　好奇心もある。
お互い　気力をふりしぼって、この厳しいポストコロナの時代を前向いて。
引き続きよろしくおねがいします。
いつも勝手な神戸からの便り
お許しください。
みなさまにとっても　来る年が穏やかで
平和な年でありますよう
God be with You!!
また　元気に出会える日を楽しみにしています。
2021.12.17.夕
From Kobe　Mutsu　Nakanishi



◎ 今月の掲載トピックス

和鉄の道 home page　開設 20 年余「和鉄の道･Iron Road　Review」を作成
本年 11 月･12 月二インターネットで集めた「低炭素カーボンイーブン 50」資料も合わせて収集



約２０年続けてきた home page の総括「和鉄の道・Iron Road　Review」作成しました
毎年年が変わるごとに年次ファイルを作ってきましたが、あまりにも数多く、断片的な掲載記事ばかり。
掲載ファイルの整理を兼ねて、ずっと気になっていた時代を超えて流れる鉄の歴史を
HP の記事を抜き出して　和鉄の道総括の資料として集成しました。
鉄とはこんなもの　鉄の歴史や日頃眺める鉄とは違う側面を少しでも知ってもらえたら。。。。。と。
大きなファイル資料ですが、下記「和鉄の道 2021 12 月の HP」にリンク付きで掲載していますので
資料閲覧は下記資料のリンクリストがらご覧ください、
https://www.infokkkna.com/ironroad/2021htm/R0312.htm

また、長年聴講参加させていただいた愛媛大学村上恭通先生たちの 10 数年に渡る「鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道」探求プロジェクトの国際シンポ・成果報告会に毎年聴講参加させていただき、「愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ聴講記録集成聴講記録　鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」として
昨年末にまとめることが出来たことも契機になりました
かつてよく参考・引用転記させていただいた穴澤義功先生の「古代たたら遺跡の歴史」講演スライド集をインターネットで見つけ、ばらばらの資料整理の根幹に。主要資料として採録転記収録させていただきました。。
素人　誠に勝手な資料ですが、参考になればと。
また、本年 11 月・12 月二インターネットで集めた「低炭素カーボンイーブン 50」資料も合わせて掲載。
ポストコロナ　低炭素社会の構築の入口にいる今　令和の産業革命と言える大変革の時代がどんなふうに展開しいゆくのか　社会・産業変革の中で、日本の鉄鋼がどうなってゆくのかもしっかり眺めたいと。
大きな時代の変革点にある今　これからどんなふうに「鉄」の姿が変わって現れてくるのか興味津々です。

コロナ禍の厳しい師走ですが、新しい年に夢膨らませ、 来年もよろしくお願いします



困難の中に居られる方々にエールを!!
日々新た　今できることを　精一杯　無理せずゆっくりと
いつも　思いをはせています。
「忘れまい　忘れないで　仲間がいる
　暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
変えられるものを 変える「勇気」 .
変えられないものを
　受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
　ニーバーの祈り　より .



God be With you !!
from Kobe Mutsu Nakanishi

2022.2.1.作成　From Kobe 2021